掲載の洋服をさしあげます

10月の手芸とスタイル集

日本郵便局特別扱雑誌第一三六一号　昭和38年10月1日発行　美しい十代10月号（第6巻第13号）第1付録

■ もくじ ■

みんなでデート……3
♣ティーンの通学・通勤着
ジャンパースカートとベスト……6
♣秋から冬に流行する
セーターのおしゃれな着こなし……10
読書の秋の手芸集……15
便利でかわいいティーンのエプロン……18
ネグリジェには夢がいっぱい……20
スラックスの季節になりました……23
替えカラーと替えカフス……26
美しいポーズで乗りましょう……14
●秋のお買い物ガイド●
ニュースタイルの〈つとハンドバッグ……28
秋ものを出したとき……30
●おしゃれコンサルタント●
町かどのおやつタイム●●●●●拝見……32
初歩のかぎ針編み講座（第1回）
基礎知識とマフラ……34
表紙と口絵の洋服の作り方……39
「ジャンパースカートとベスト」の作り方……47

今月のお人形
「運動会」
製作・上村京子
作り方・裏表紙

＊表紙　洋服デザイン／西田武男　モデル／桜井浩子　撮影　本誌・谷津富夫

みんなでデート

秋のタウンウエア

秋の日のデートは、こんなスタイルで。楽しさも倍になります。

3～9ページの洋服をさしあげます。
本誌116ページをごらんください。

1 えりと胸当てに使った明かるい千鳥格子が若々しさを強調。ベルトは細めのほうが軽快です。用尺　ダブル幅2メートル10センチ　製品ミクラ

2 色どり美しい千鳥格子のツーピース。ボーリングなどにはこんな活動的なプリーツがピッタリ。用尺　ダブル幅2メートル80センチ　製品三愛

作り方は39ページ

モデル
太田雅子
品田奈津江
渡辺まさえ
大久保みどり

贈呈デザイン1

贈呈デザイン2

3 映画やお芝居には、こんなロマンチックなアンサンブルを。えりのししゅうが、はなやか。用尺ダブル幅2メートル50センチ　製品三愛

4 えりとスカートが共布のラフな気分で着るツーピース。用尺上着90センチ幅1メートル70センチ　スカート90センチ幅1メートル60センチ　製品三紫カーメット

5 いかにも十代らしい、チェックのブレザースーツ。金のボタンが新鮮です。用尺ダブル幅2メートル20センチ　製品三紫カーメット

6紺と白を効果的に使った清楚なワンピース。用尺 身ごろダブル幅1メートル20センチ スカートダブル幅1メートル80センチ 製品三紫カーメット

7じみな色が若さを強調しています。手編みのブレードとメタリックなボタンが印象的。用尺 ダブル幅1メートル80センチ 製品ローマ岩島

8十代のデートには、気どりのないこんなワンピースがマッチします。えりもとに造花を飾って。用尺 ダブル幅2メートル10センチ 製品三愛

贈呈デザイン8

贈呈デザイン7

贈呈デザイン6

協力 バッグ／かねまつ
くつ／ワシントン靴店

＊ティーンの通学・通勤着

ジャンパースカートとベスト

ジャンパースカートとベストは、組み合わせるブラウスやセーターで変化が楽しめますし、ちょっと肌寒い10月にはとても便利。あなたも通学・通勤着に一枚加えて、実用的なおしゃれをお楽しみください。

作り方47ページ

バッグ　好美屋

モデル　牧野ユミ

Ⓐ

贈呈デザイン9

Ⓑ

贈呈デザイン10

モデル　香山ユリ

Ⓒ

贈呈デザイン11

モデル　西谷通子

Ⓐ キモノ式の前打ち合わせが新鮮な感じ。知的なかたに。用尺　ダブル幅2メートル　デザイン　西田武男

Ⓑ スカートのボックスプリーツが活動的。用尺　ダブル幅1メートル90センチ　デザイン　小林治子

Ⓒ 開きんスタイルの変わり型。シャツブラウスに。用尺　ダブル幅1メートル30センチ　デザイン　小林治子

Ⓓ グリーンと白の千鳥格子。ポケットが機能的な感じ。用尺 ダブル幅 1メートル40センチ デザイン 米山ヒデミ

Ⓔ 渋い色どりのしま柄。ロマンチックなタイプのかたに。用尺 ダブル幅 1メートル20センチ デザイン 米山ヒデミ

Ⓕ こげ茶のジャージー。カッチリとしたベルトを……。用尺 ダブル幅 1メートル20センチ デザイン 西田武男

Ⓓ 贈呈デザイン12

Ⓔ 贈呈デザイン13

Ⓕ 贈呈デザイン14

モデル 穂高あさみ

Ⓘ
Ⓗ
Ⓖ
贈呈デザイン15
贈呈デザイン16
贈呈デザイン17

Ⓖ オレンジ色。ダブル前に並んだ小さなボタンがかれん。用尺 ダブル幅 1メートル60センチ デザイン 石川義子

Ⓗ くすんだ赤にベージュのチェックを斜めに扱って……。用尺 ダブル幅2メートル50センチ デザイン 高田賢三

Ⓘ ダークグリーンのベストに格子のスカートを。用尺 ダブル幅50センチ＋1メートル20センチ デザイン 石川義子

Ⓙ 甘いピンク。小さなベストがキュートな感じ。用尺 ダブル幅1メートル20センチ デザイン 高田賢三

Ⓚ 格子と無地を合わせた楽しいウエスタンルック。用尺 ダブル幅90センチ＋1メートル デザイン 金子 功

Ⓛ 渋い色どりの格子の、男の子っぽいスタイル。用尺 ダブル幅1メートル80センチ デザイン 金子 功

Ⓛ

Ⓚ

Ⓙ

贈呈デザイン18

贈呈デザイン19

贈呈デザイン20

秋から冬に流行する

セーターのおしゃれな着こなし

指導　渡辺和美（わたなべかずみ）

このページは、ことしの秋から冬に流行するセーターにちょっとおしゃれをくふうした、すてきな着こなしの紹介です。
ことしのセーターは、渋く落ち着いた色や、オーソドックスな型が流行……。あなたもお好みのデザインを選んで、じょうずなおしゃれを楽しんでください。

協力・キャラバン・ニット

2

モデル　牧野ユミ

1

モデル　宮川澄江

ペンダントでチャーミングに

色や型がよく、そのままでも楽しく着られるセーターには、アクセサリーをなにげない感じにつけるとチャーミングです。

2　ざっくりしたオレンジ色のそでなしセーター。木彫（きぼり）や金属（きんぞく）の大きなペンダントが似合います。

黒いセーターでポイントを

ラフな感じのセーターは、色にポイントをおいてラフに着こなすと若さが強調されます。

1　タートルネックの黒いプルオーバーとチェックのスカートが、ざっくりしたジャケットに調和してすてき。

スカーフで変化をつけて

スカーフを使うと、柔らかくやさしいムードが出てきます。

3 模様編みのあるまっ白のかわいいセーター。こんなセーターのときには、こまごましたアクセサリーはやめて、スカーフもこんなふうに。セーターそのものを生かしましょう。

4 ブルーの霜ふりにブルーのスカーフを三角に結んで造花のブローチを飾ったエレガントなスタイル

5 ローズ色のなにげないセーターですが、同系色のチェックか、しまの細長いスカーフを結ぶと、こんなに若々しくなります

モデル　香山ユリ

造花はこんなふうに

造花を効果的に使えるようになったら、あなたはおしゃれが身についてきたのです。

6 チャコールグレーのシックなジャケット。白いブラウスのえりもとに造花をなにげなく止めつけます。

6

モデル　村松美智子

7

リボンを結んで

リボンをあしらうと、じみなものでも不思議に明かるい若さが出てきます。

7 Uネックのグレーのセーター。ワイシャツに黒いリボンを結んで、清純で品のよい若さを出しました。

ネクタイで変化を

えりのある薄でのセーターには、タイを結んでごらんなさい。とてもいかします。

8 からし色の半そでセーターに、同色のはいったネクタイを大きくゆったりと結び、活動的なかわいらしさを。

8

モデル　柏木由起子

去年のセーターに手を加えて

10

9

さんざん着て、もうあきてしまったセーターでも、簡単に手を加えただけでまた、新鮮な気分で着ることができます。ここにそのヒントを二つお贈りしましょう。

9 えりぐりからすそにかけて、5㎜幅のテープの赤と紺を並べてミシンでおさえると、柔らかな感じから、スポーティな感じに早変わり。

10 小さな貝ボタンを8個、ダブルに並べただけでこんなに感じが変わりました。

手を加える前

美しいポーズで乗りましょう

指導 北原芳子

毎日の通学、通勤に利用する電車やバス、自転車に、あなたはなにげなく乗っているのではありませんか？　でも、乗り物にも、あなたをチャーミングに見せるポーズがあるのです。

バスの乗り降り

降りるとき、すその広がるスカートはステップにすそを引きずりがち。スカートの後ろを軽く押え、からだを少し斜めにすると美しいポーズになります。

乗るときは、腰をまっすぐ伸ばして活発に。タイトスカートの場合は、前を少しつまむように持つか、ステップが高ければからだを斜めにして。

ゆれる乗り物の中で

ゆれる乗り物の中で立っているとき、いちばん安定するポーズは、進行方向の足を前に出し、もう片ほうの足をやや後ろに引いた姿勢です。つり皮は、後ろに引いた側の手で持ちましょう。

自転車の乗り方

自転車のペダルには、足の先三分の一ぐらいをかけると、足もとが美しく見えますし、力も十分はいって疲れません。

学校の帰りには疲れて姿勢もくずれがち。でも、背中も腕もまっすぐ伸ばしましょう。それが美しいポーズの秘けつですし、疲れも少なくてすみます。

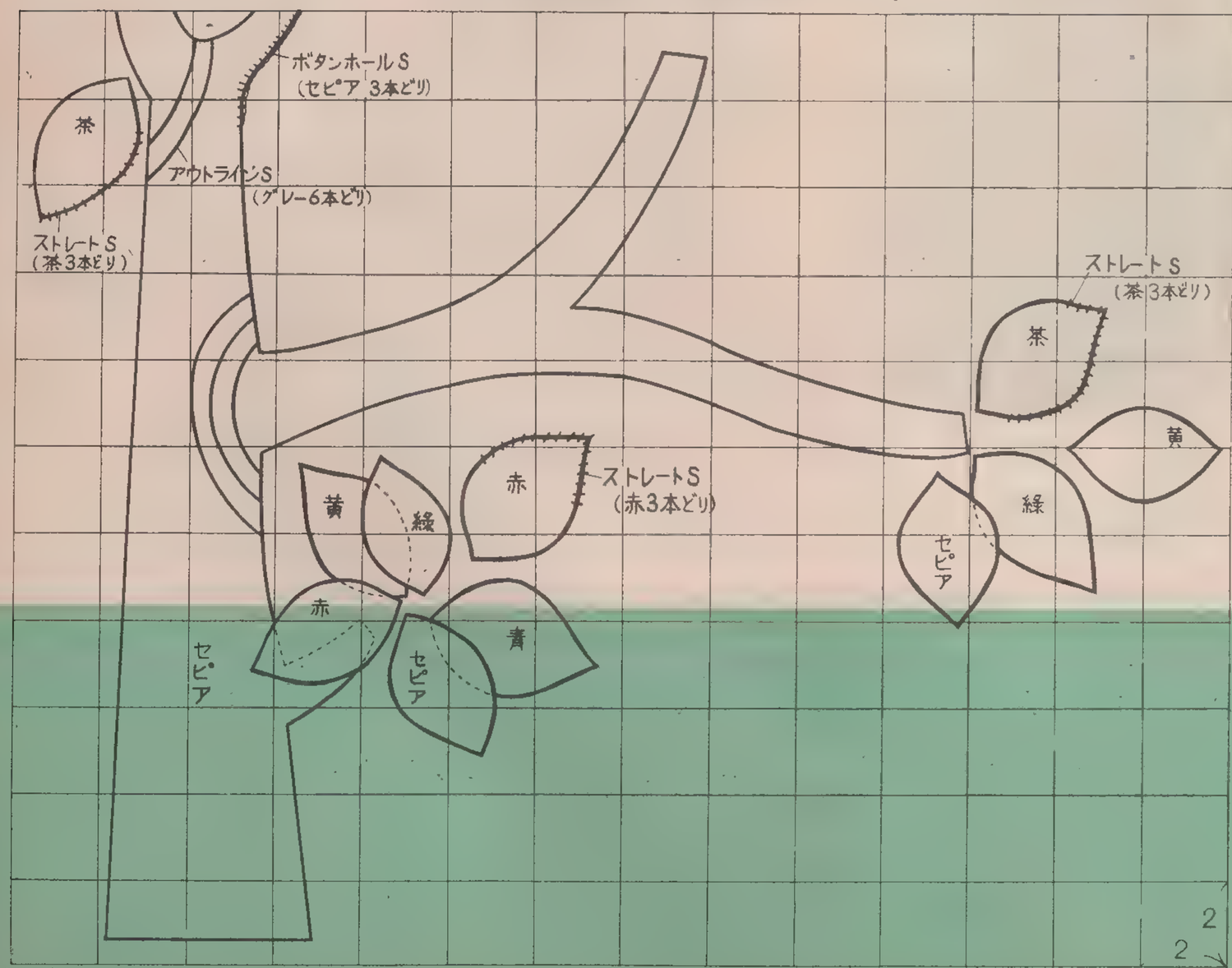
読書の秋の手芸集

秋の夜長、虫の声を聞きながら読書を楽しむあなたに、こんな手芸はいかが？　残り布を利用して、簡単に作れます。

製作　鈴木桂子

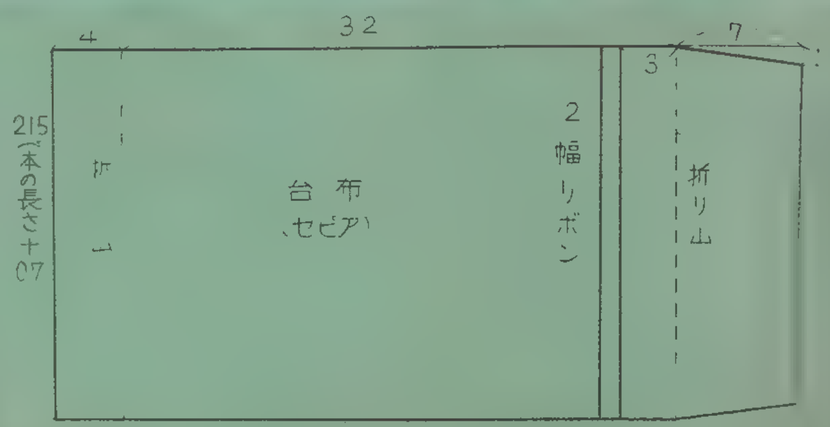
■ブックカバー　手持ちの残り布で、本にも秋の装いを。

材料　台布（ベージュ）24㌢×45㌢　フェルト（セピア、赤、黄、緑、茶、青）　25番ししゅう糸（セピア、グレー、茶、黄、赤、緑、青）　2㌢幅の黄のグログランリボン22㌢



モデル　渡辺まさえ

台布の周囲には、1㌢の縫いしろをつけて裁ちます。



レンガを使って、こんなユーモアあふれる動物のブックエンドはいかが？

材料　レンガ2個　布(紺コーデュロイ)90㌢×35㌢　扁平レーヨン糸(淡いブルー)　フェルト(ブルー、黄、こげ茶、赤、紫、オレンジ、グリーン)　白の並太毛糸　黒の25番ししゅう糸

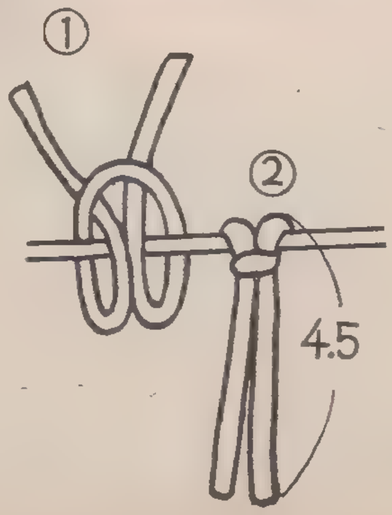
作り方　レンガに紺のコーデュロイをはり、尾は扁平レーヨン糸2本どりで三つ編みにします

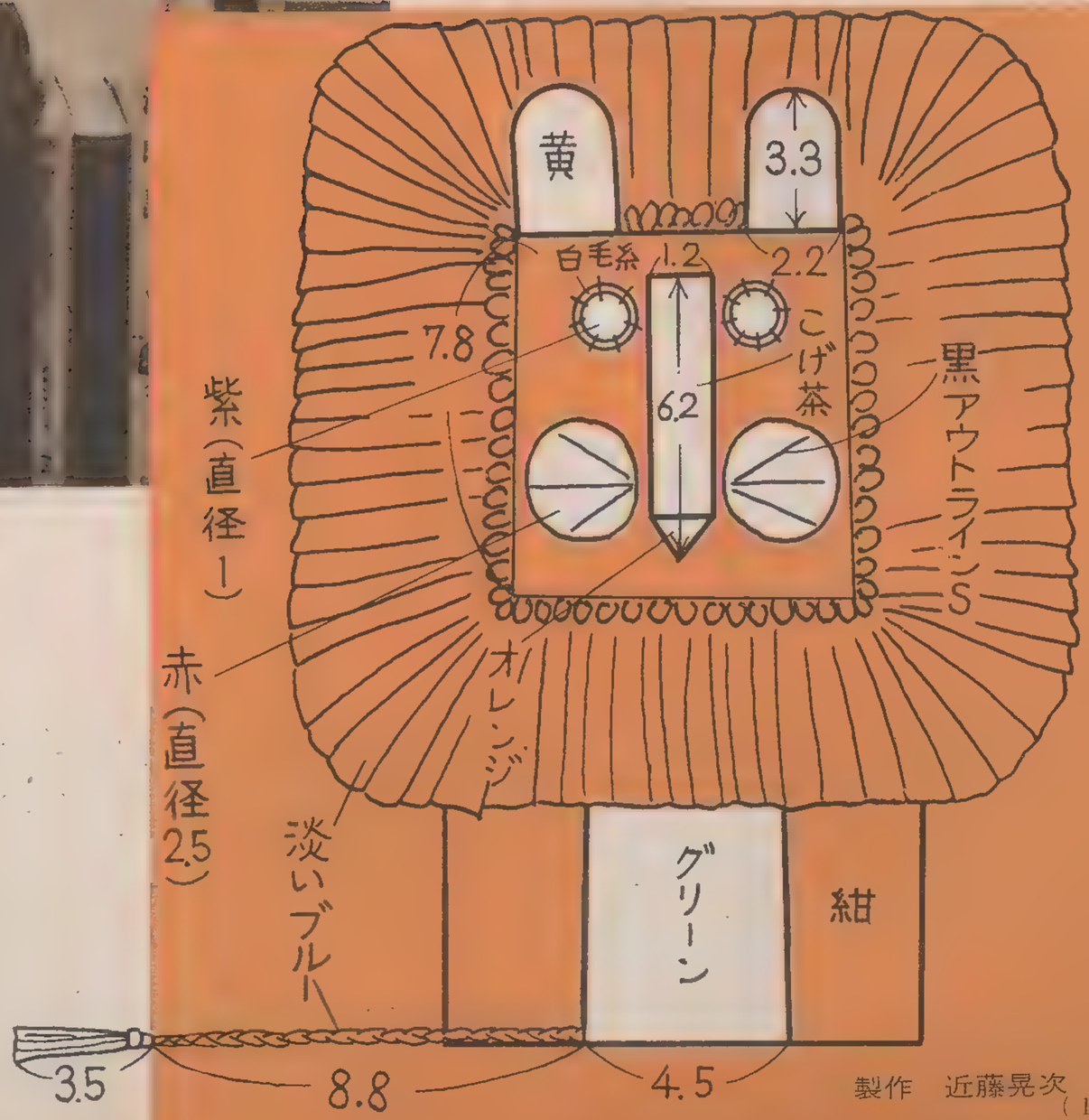
おへやのスタンドも衣替え、すっかりかわいくなりました。　製作　河原フミコ

材料　古いランプシェード　台布（白とピンクのギンガムチェック）　フェルト(紺、白)　8㍉幅の赤リボン

作り方　古いランプシェードに、台布をバイアスにしてかぶせ、上側にギャザーを寄せます。上下にリボンを飾り、紺と白のフェルトを左図の形に裁ち、のりではりつけます。

たてがみの作り方

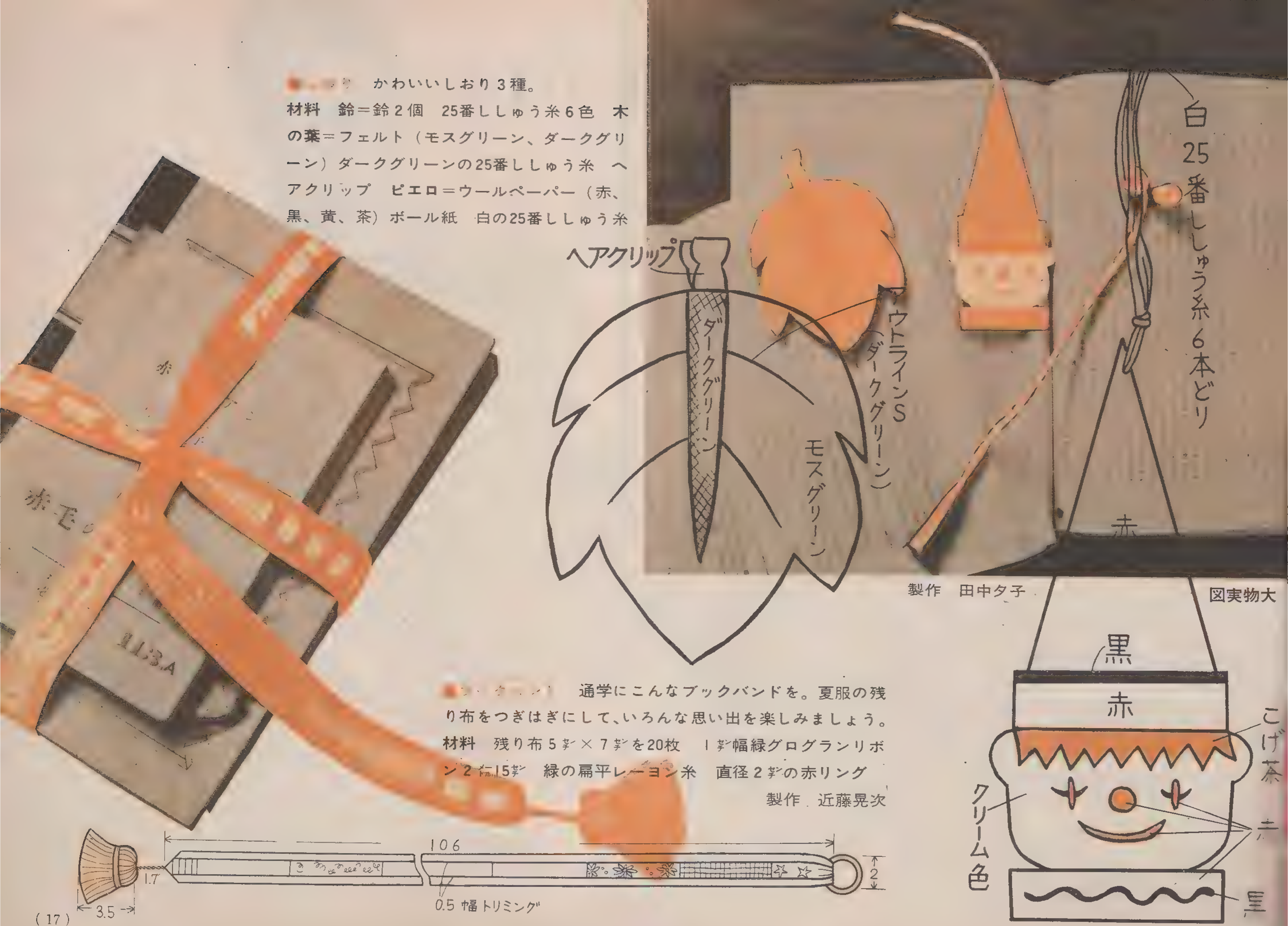




製作　近藤晃次

かわいいしおり３種。

材料　鈴＝鈴２個　25番ししゅう糸６色　木の葉＝フェルト（モスグリーン、ダークグリーン）ダークグリーンの25番ししゅう糸　ヘアクリップ　ピエロ＝ウールペーパー（赤、黒、黄、茶）ボール紙　白の25番ししゅう糸



製作　田中夕子

図実物大

通学にこんなブックバンドを。夏服の残り布をつぎはぎにして、いろんな思い出を楽しみましょう。

材料　残り布５㌢×７㌢を20枚　１㌢幅緑グログランリボン２㍍15㌢　緑の扁平レーヨン糸　直径２㌢の赤リング

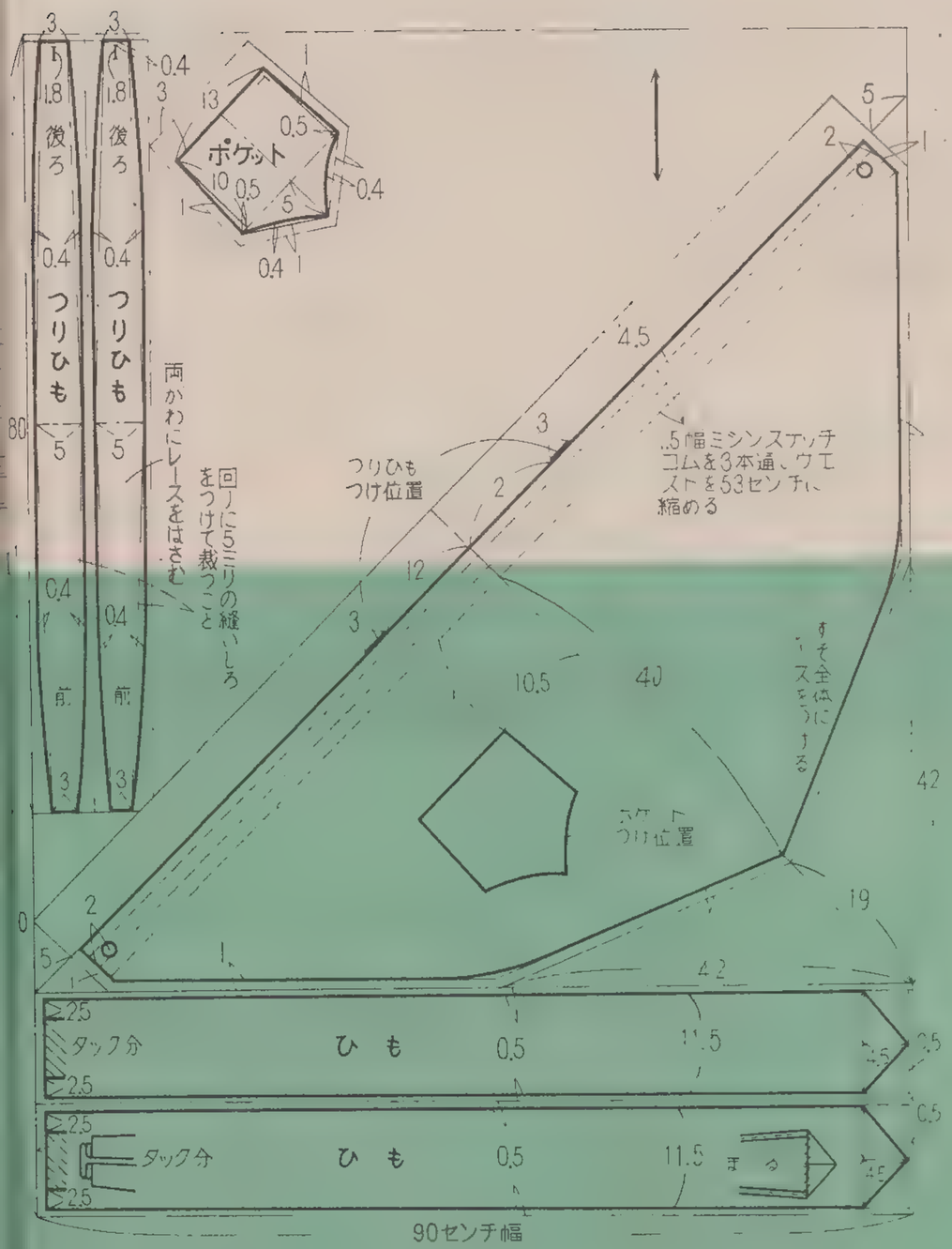
製作　近藤晃次

便利でかわいいティーンのエプロン

デザイン　石田慧子

学校で家庭科の調理の時間に、そして日曜日はお台所に……と、活躍するあなたのためのエプロンです。かわいらしく、お仕事に便利なように、しかも作りやすく、とデザインをくふうしました。

幅の広いつりひもが、十代らしくてかわいいデザイン。V型のすそのカットと白いレースが、あなたをチャーミングに見せてくれます。



モデル　浅野寿々子　酒井まゆみ

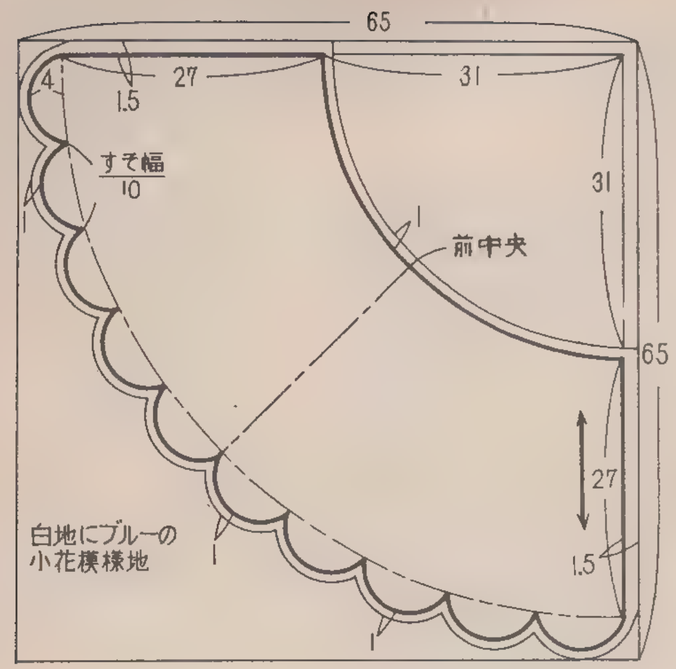
材料と用尺　花模様が散ったブルーと白のギンガムチェックを90センチ幅1メートル20センチ。白の綿レース1センチ5ミリ幅5メートル。ゴムテープ106センチ。直径1センチ5ミリのボタン2個。

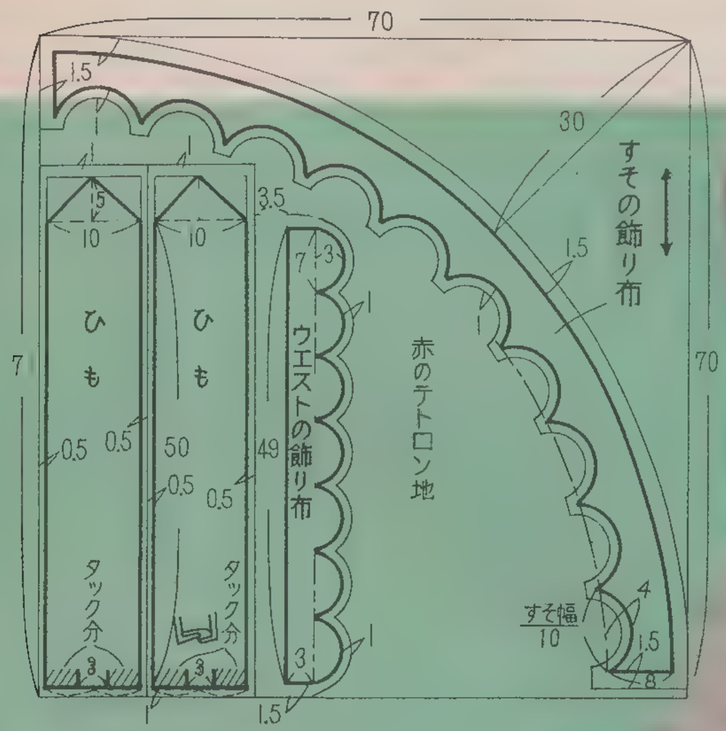
縫い方要点　すそにレースをつけウエストのミシンステッチをしてから、ゴムテープを通し、両端をひもといっしょに縫います。

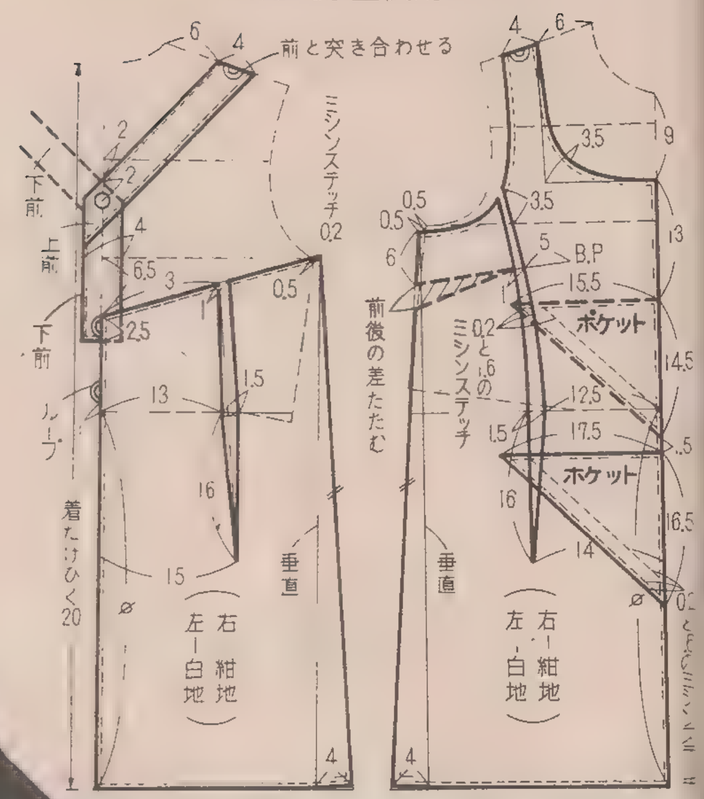
小花の散った白地もめんに赤のテトロンをあしらったデザイン。ウエストとすその半円型の切りかえがしゃれた感じ。

白と紺をじょうずに使った、ペンキ屋さんみたいなエプロン。二つ並んだ三角のポケットがユーモラス。

文化式原型使用







材料と用尺　白地にブルーの小花模様のもめんを65㌢×65㌢。赤のテトロンを70㌢[illegible]。

縫い方要点　すそとウエストの飾り布は、上からステッチで縫いつけます。

材料と用尺　白と紺の厚手もめんを90㌢幅で1㍍ずつ。直径2㌢の銀色丸型ボタンを3個。スナップ小1組。

縫い方要点　ステッチは白地には紺の糸、紺地には白の糸を使用。ポケットはつけ位置に置いて、ステッチで押えます。

ネグリジェには夢がいっぱい

秋の夜のチャーミングなおしゃれ……それはあなたのお好みでデザインを変化させられるかわいいネグリジェです。すこやかな眠りにお誘いします。

おちゃめな妖精を思わせるネグリジェは、まっ白のレースとピンタックがポイントです。〔応用〕えりとフリルをとってすっきりと。　デザインと画　伊藤幸雄

製図は全部、B～84　背たけ～37　背幅～35　そでたけ～52　着たけ～99

材料　ピンクのギンガムを90センチ幅3メートル30センチ。幅3センチの白の綿レースをつけ寸法の1.5倍。幅1センチのイミテーションパールのボタン5個。スナップ中2組。

えりにお花のししゅうがチャーミング。ラグランそでは、着やすくて最高です。〔応用〕スポーティな感じがお好きのかたは、ヨークをなくしてシャツふうに。　製品はワコール　デザインと画　高木　弓

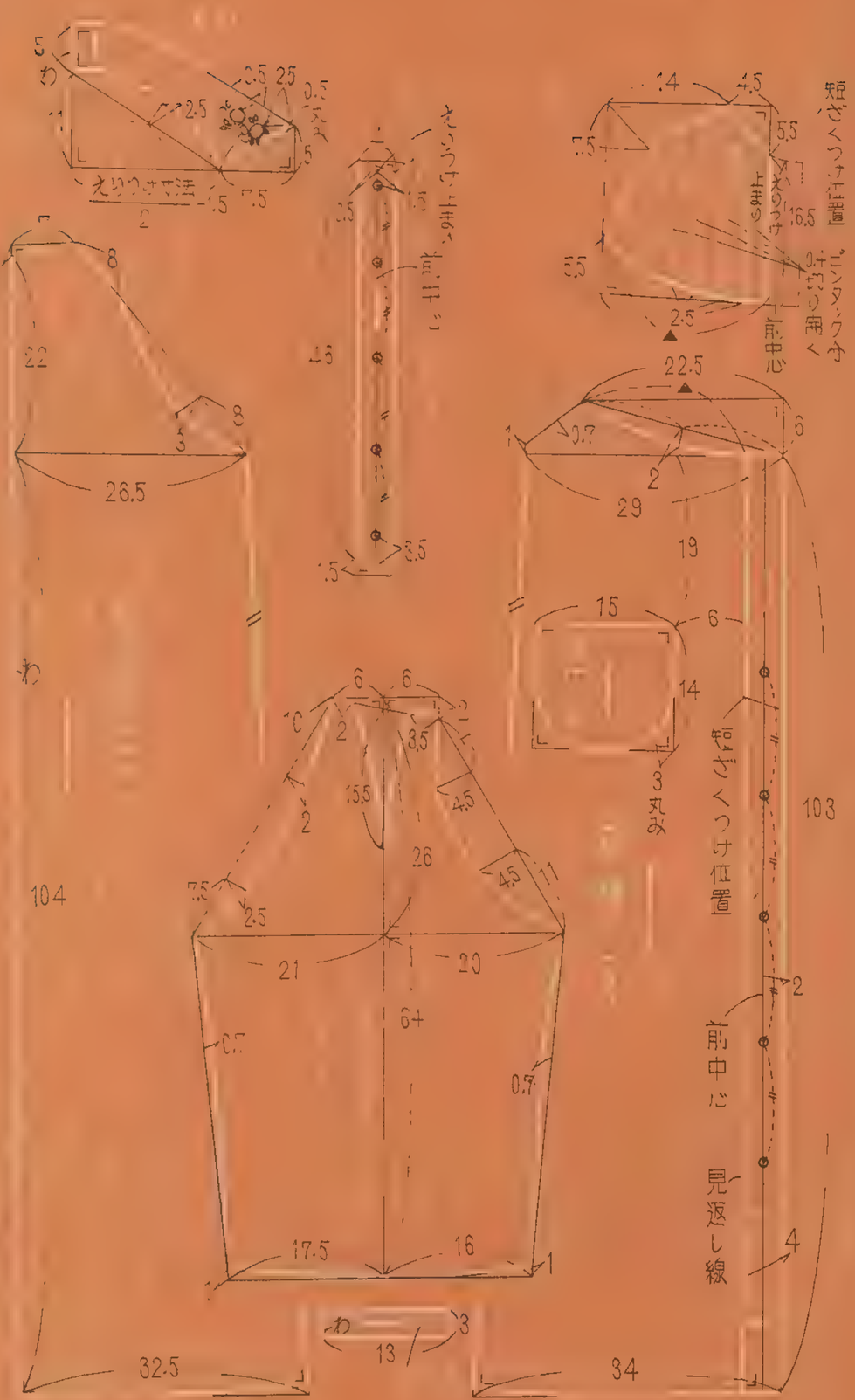
材料　ピンクのサテン織りコットンを90センチ幅3メートル60センチ。25番のししゅう糸を白、若草色、黄各少々。直径1センチの白のボタン9個。

裁ち方注意　ヨークのピンタック分4ミリずつ切り開いてから裁ちます。

縫い方要点　えりのししゅうは、えりを作る前に刺します。

　えり、そで、短ざく、ポケットの小物を先に形作っておくと手順よく早くできます。

　ヨークは、ピンタックを地縫いしてから前身ごろとはぎ合わせ、短ざくをのせ、回りに端ミシンします。



　モデル　宮川澄江　品田奈津江

フリルの波打ちが、眠る前のひとときを楽しくしてくれそう。〔応用〕波形模様のスカラップタッチで全体をまとめ、おとなっぽくしました。デザイン 渡辺和美　画 足立智恵子

材料　白地にプリント模様のもめんを90センチ幅3メートル50センチ。幅7ミリのゴムテープを40センチ。かぎホック中1組。

裁ち方注意　えりと切り替えのフリルの片方の端は、布のミミを利用します。

縫い方要点　前身ごろのあきを見返し布で始末してから、ダーツを地縫いします。

わき、肩線を縫い合わせてから、えりのフリルを2センチ5ミリのバイアス布ではさみ縫いにします。

切り替えのはぎは、スカートを身ごろの寸法までギャザーを平均に寄せ身ごろとスカートを中表に合わせ、その間にフリルをはさみ地縫いします。縫いしろは、1センチ離れた所にもう1本地縫いをし、裁ち目かがりをしておきます。

そでをつけます。縫いしろは、切り替えのときと同じ要領で始末します。

スラックスの季節になりました

スポーティスタイルには、スラックスがつきものですが、スラックスは既製品で……、というかたが多くなりました。そこで、既製品の選び方、補正の仕方、すてきな組み合わせスタイルをご紹介しましょう。

指導　立石常子

■既製品の選び方

たくさん並んだスラックスの中から、ピッタリしてはきやすく、形のよいものを選ぶのには、まず何よりも自分の正しい寸法を知っていて、サイズの合ったものを見つけることです。そして次に、布地の質と仕立ての良い悪いに注意します。デザインは、あまり変わったものは避けたほうが組み合わせの自由がきいて便利なようです。

(1)寸法を計る（採寸）

まず、季節に応じた下着を整えてから、写真①と②のようにして、ウエスト、ヒップ、たけ、また上の各寸法を計ります。

㋑ウエスト（胴のいちばん細い所）

㋺ヒップ（腰のいちばん太い所を水平に計りますが、メジャーの中に指を二本入れて、ゆるみを加えます）

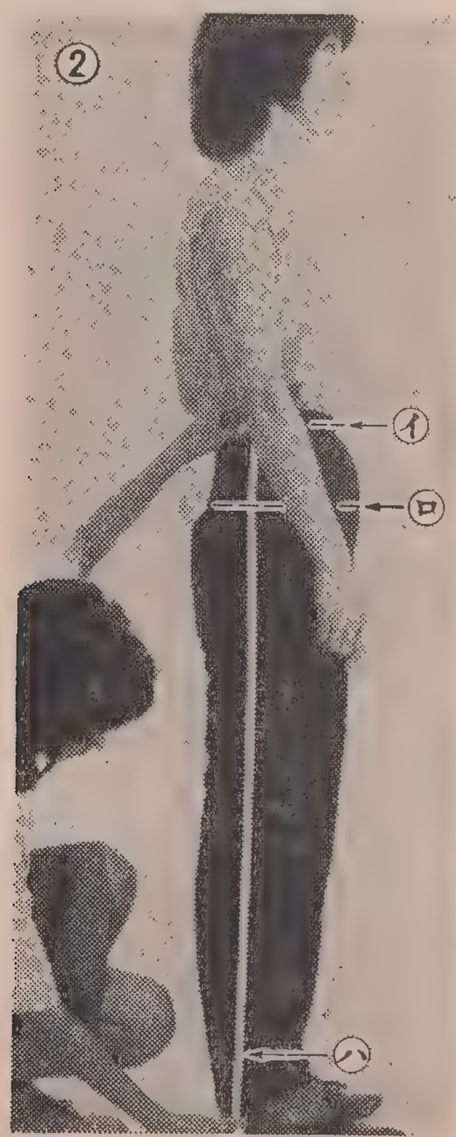
㋩たけ（ベルトの幅の中央から足のくるぶしがかくれる位置まで。写真②参照）

㋥また上（平らないすの左わきを少しあけて正しく腰かけベルトの幅の中央から、いす面までの左わきを腰のふくらみにそって計ります。写真①参照）

(2)布地と仕立て

日のつんだ、薄手でこしのある布が、しわにならず折り目がきちんとつきます。そこで一般には、フラノ、ウーステッド、ギャバジン、カシミヤなどが使われますが、最近では伸縮性のあるエラスチックやジャージーのようなものも軽くて動きやすいので歓迎されています。用途や好みによって選びましょう。

なお、仕立ては十分に注意し、特にまた上はほつれやすいので、二度縫いしてあるもの、布を引っぱってみて糸が切れないものを選んでください。



■補正の仕方

さて、よいと思って買って来ても、きちんと仮り縫いをして仕立てたものとは違い、何となくピッタリしないという人も多いものです。そこで、簡単な直し方（補正）をご紹介しましょう。

まず、写真③のようにスラックスをはいて足をやや開き、楽な姿勢で立ちます。折り山線やわき線が、まっすぐ通っているかどうかを見ます。次に、歩いたり、かがんだり、階段を上がるように足を上げたりして、適当な運動量があるかどうかを調べます。

③

幅をつめる

ウエストを直すときは、ベルト全部ほどいて、前後の両わき縫いで平均に入れますがポケットやあきがあって、めんどうな場合は、二センチくらいまでなら前後中心線とダーツ位置を少しずつかげんしてつめます。

④

また、写真④のように、ヒップ寸法だけをかげんするときは、ヒップライン上にその分量を出しますが（下図参照）二センチくらいまでならわき縫いだけで、それ以上は、その分量を四等分して、四分の三をわきで、四分の一を前後中心の上位置で入れます。

また、すそ口の幅は、着る人の体型に合わせて、全体のバランスを見て決めることがたいせつです。ヒップの大きい人が、すそ口を狭くしすぎますとヒップとの差が大きいため、いっそうヒップが大きく見えますから注意しましょう。はいて横を向き、ひざとすそ口が同寸に見えるか、いく分すそ口が開いた感じになるのが流行です。ジャージーのような伸びやすい布のときは、すそを少し細めにしたほうがスマートに見えます。

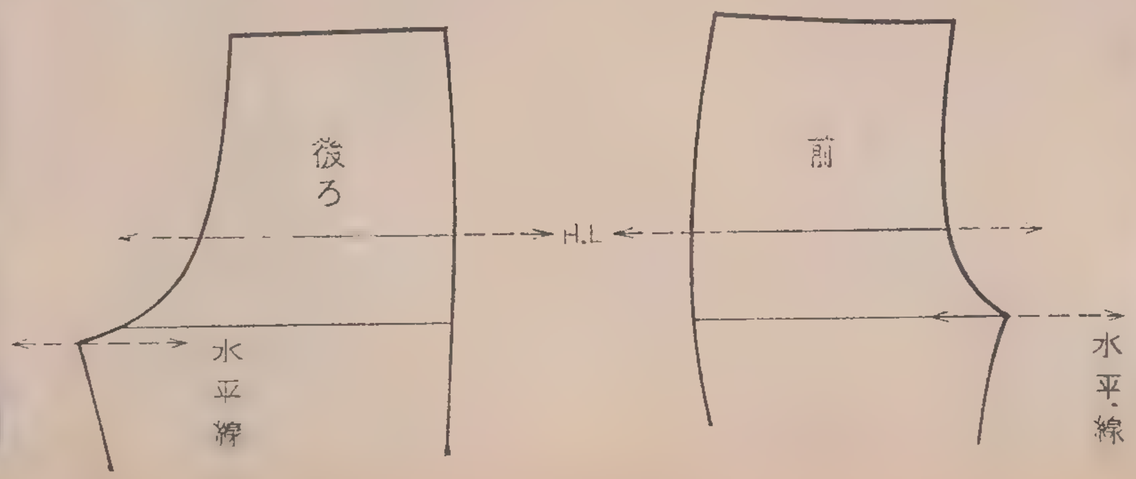
たけをつめる

また上は、はきごこちにいちばん影響する所です。長すぎると腰の形がだらしなく、短すぎると窮屈です。写真⑤のように、長すぎる分をつまんでその分量を、また上最先端でけずるようにします。

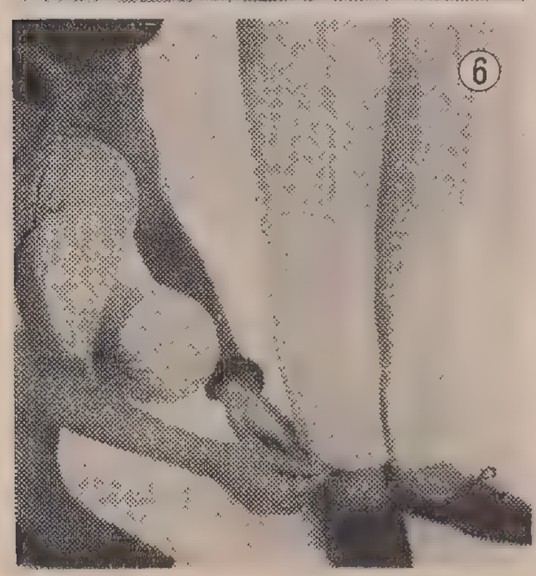
スラックスたけは、足のくるぶしがかくれる程度が標準ですが、（写真⑥）ヒップボーンスタイルのときは、少し短めでくるぶしが見えるくらいのほうがカッコいいものです。

このように、ウエストだけを直すよりも、ヒップだけを直すほうが簡単ですし、縫いしろなどのことを考えると、幅やたけは、出すよりつめるほうがいいようです。

でも、でき上がったものを直すのはバランスがくずれがちですから、なるべく合ったものを選びましょう。



⑤



⑥

■ すてきな組み合わせ

ヒップボーンスラックスは、ぐっとボーイッシュな着こなしを。

モデル　本林晶子

やさしい感じのかたには、こんなプリント柄のスラックスも。

背の低いかたは、短いジャケットを組み合わせて。

ブレザーと組み合わせ、ぐっとスポーティに。

パイアスチェックのスラックスに、赤いデニムのジャンパーブラウスを。

モデル　伊藤文子

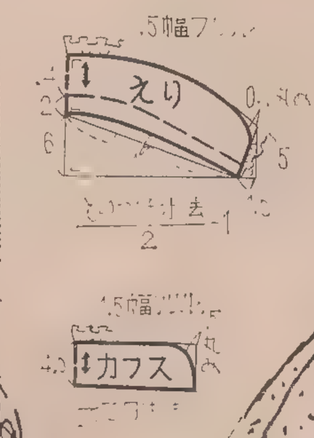
画　足立智恵子

あなたの洋服をもう一枚に着る 替えカラーと替えカフス

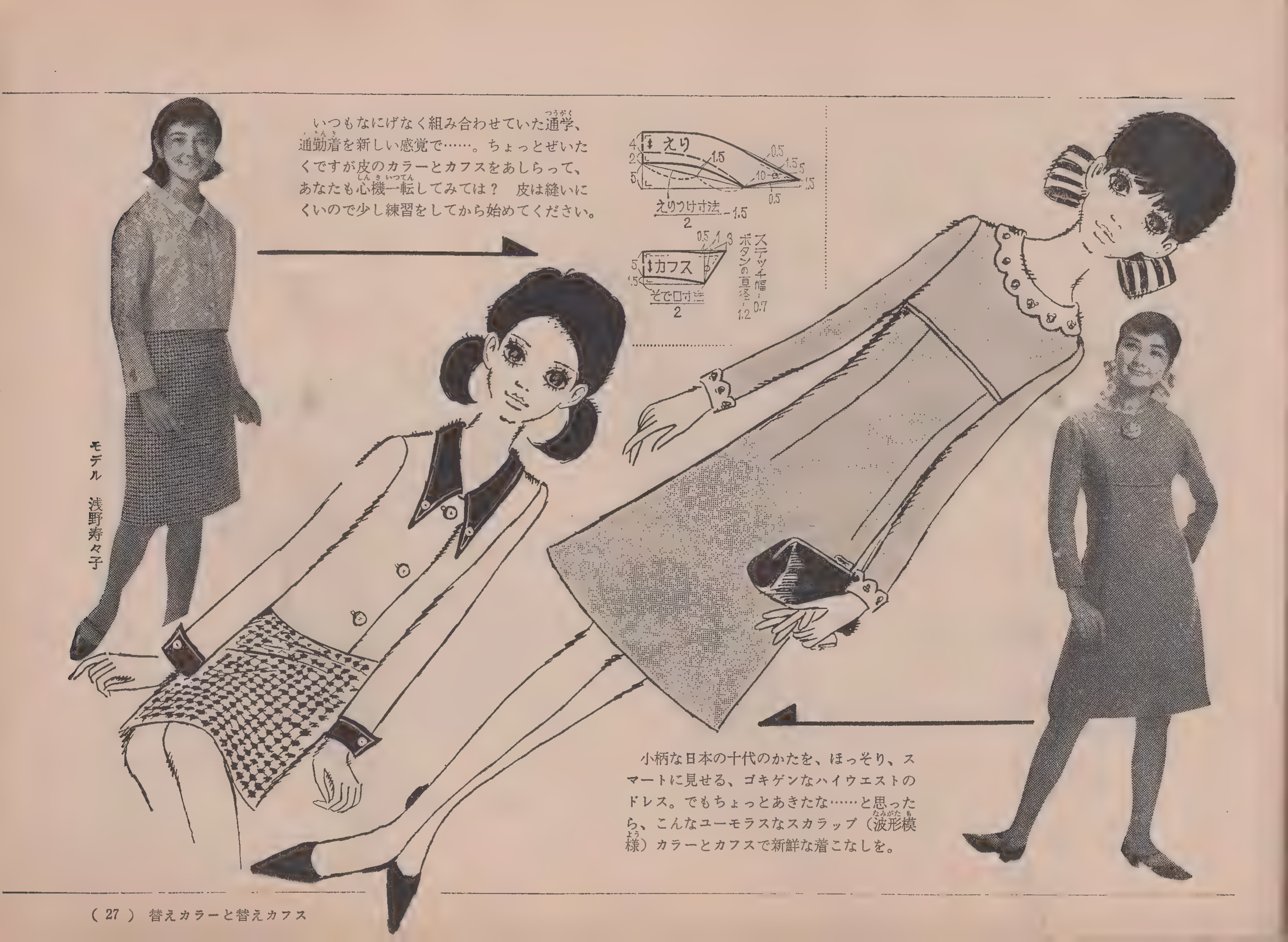
一枚の洋服をいろいろに変化させたり、おねえさまのお古や少し着あきた洋服を新しい感覚で着るためのアイティア。

指導　伊藤幸雄
画　佐藤昌彦

おしゃれなあなたの大好きな、プリンセス型のシックなワンピースです。いろいろな着こなしが楽しめるドレスですが、やはり毛糸編みのカラーとカフスが、十代の最高のおしゃれ！帽子もおそろいならなおすてきです。



ざくざくと織られたツイードのワンピースは、おねえさまのお古です。でも、黒ビロードのフリルがついたショールカラーとカフスを飾ればこんなにりかわいらしいクラシック調に。えりもとにグログランリボンを結んで。



モデル　浅野寿々子

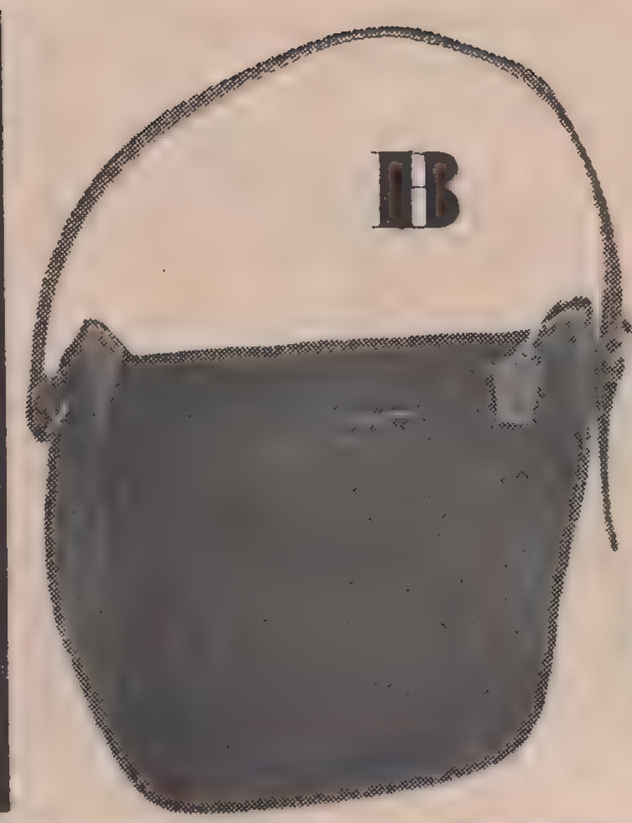
いつもなにげなく組み合わせていた通学、通勤着を新しい感覚で……。ちょっとぜいたくですが皮のカラーとカフスをあしらって、あなたも心機一転してみては？　皮は縫いにくいので少し練習をしてから始めてください。

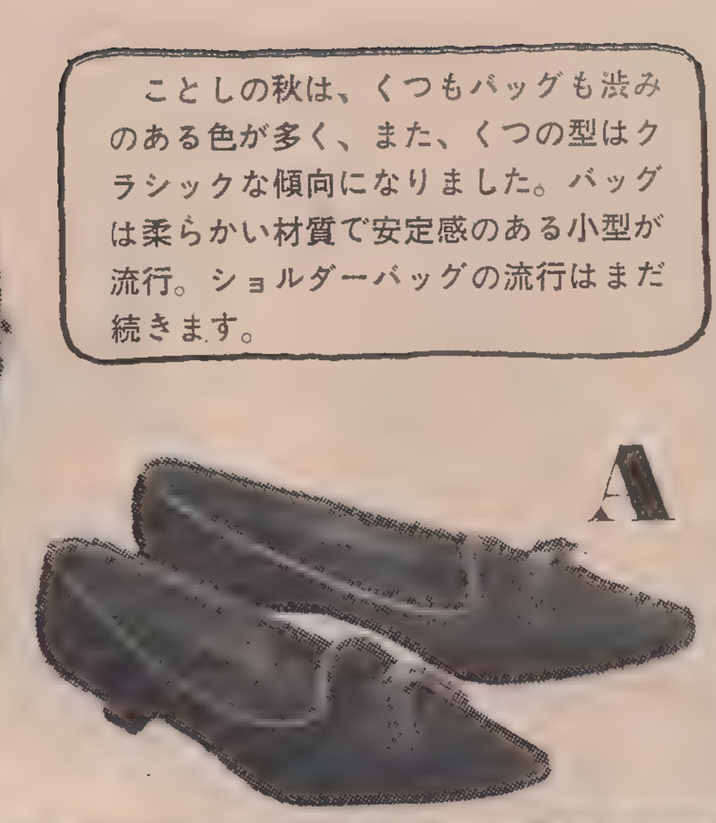
小柄な日本の十代のかたを、ほっそり、スマートに見せる、ゴキゲンなハイウエストのドレス。でもちょっとあきたな……と思ったら、こんなユーモラスなスカラップ（波形模様）カラーとカフスで新鮮な着こなしを。

—秋のお買い物ガイド—

ニュースタイルのくつとハンドバッグ

ことしの秋は、くつもバッグも渋みのある色が多く、また、くつの型はクラシックな傾向になりました。バッグは柔らかい材質で安定感のある小型が流行。ショルダーバッグの流行はまだ続きます。





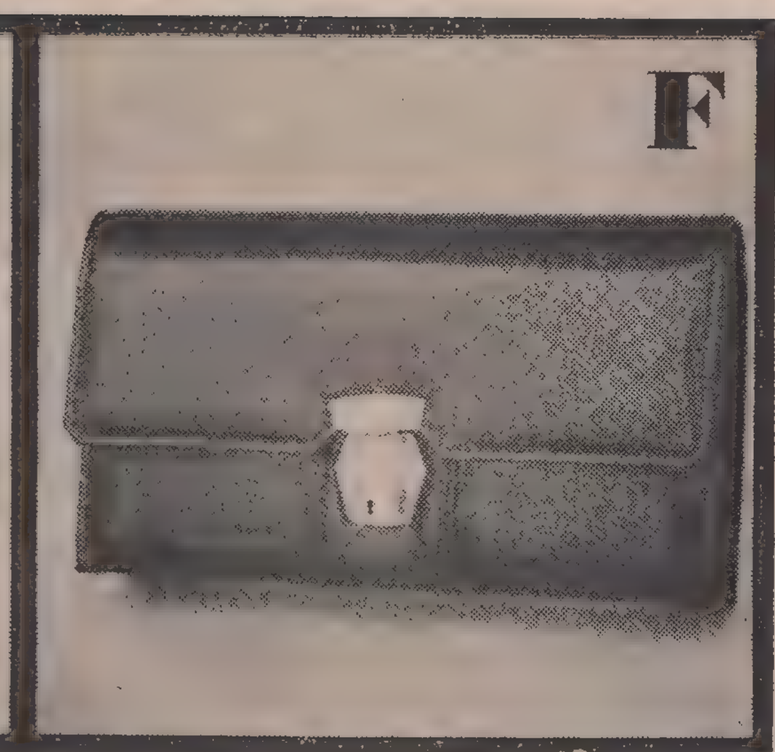
A こげ茶色のバックスキンで、からし色のトリミングとふさ飾りのあるおしゃれなくつです。上品でかわいらしく、どなたにも似合います。　定価：2500円

B Aとおそろいのこげ茶色のバックスキンのバッグです。プレーンで気どりのないのが特徴です　これなら物もたくさんはいりどこにでも持っていけます。定価：3500円

C 型は平凡ですが、丸みのあるカットと、奥ゆきが深く、安定感があるのが特徴です。このデザインなら物がたっぷりはいって便利。
定価：3800円

E お出かけのときなどによい、中ヒールの赤いくつ。しゃれていて、かわいらしい、ことしの秋に流行する新しいデザインです。
定価：3100円

D チャコールグレーのバックスキンでスポーティな感じのくつ。シンプルなデザインで前のカットが深いのがこの秋に流行するくつの特色。　定価：2200円



F ちょっとしたお出かけやおよばれのときにも持っていける、黒のエナメルの小さなハンドバッグ。こんなバッグも一つは持っていると便利です。

定価：2800円

G キルティングした赤い皮のハンドバッグ。持ち手が金の鎖になっていて、全体に柔らかいムードがただよっています。ドレッシイな装いのときに。

定価：4800円

I 赤いショルダーバッグ。止め金のデザインがクラシックな感じ。小さいわりに奥ゆきがあるので、たくさんはいります。スポーティな装いのときに。

定価：3300円

H エナメルのくつは、秋にも続いて流行します。プレーンなデザインで、前のカットが深く、クラシックな感じがことしの特徴。

定価：2500円

協　力／銀座かねまつ

秋ものを出したとき

去年しまっておいた秋ものをとり出したら まず，次のような手入れをしてください。着るとき，使うとき になって，あわてないですむように……。

指導　（日本女子大学教授）　戸野村　操

まず風にあてましょう

箱やタンスの中にしまってあった衣類は、とり出したら、つるして、風にあてることが必要です。

♣**つるすときは**…風のある晴れた日に、風通しのよいへやのすみなどを利用して、陰干しします。

♣**風にあてることによって**…衣類のしめりけや防虫剤のにおいをとりのそく効果があります。そのためには朝の十時ごろから、午後の四時ごろまで、だいたい一日いっぱい干す必要があります。外に干した場合は少し早めに（二時ごろ）とり入れましょう。

それでもまだ防虫剤のにおいの残っているときは、せんぷう機の強い風にあてるか、アイロンをかければ、におわなくなります。

♣**干しているあいだに**…型くずれがしている洋服はないか、害虫による穴はあいていないか、縫い目のほつれている部分はないか、ボタンなど付属品がなくなっていないかなどを、ていねいに調べましょう。

シミやよごれのあるときは…

前の年にしまうときの始末が悪くて、シミやカビがついている場合があります。カビのとり方は簡単ですが、シミは、その種類によってとり方が違います。それぞれの方法でとりのぞきましょう。

♣**理由のわからないシミは**…何のシミだかわからないものは、洗たく屋さんに出すのが無難です。

♣**インクのシミは**…文房具店に売っているインク消しを使って落とします。インク消しを三、四滴ずつ落として、とれるまでかわいた布でふきとります。ただし、この場合は、もめんと化学繊維の白地にかぎります。毛とか絹、あるいは染色したものはさけてください。

♣**食べこぼしのシミは**…中性洗剤を一五倍に溶かした液でよくふきとったあと、きれいな水でぬらした布でふいてかわかします。

♣**えりあかのシミは**…良質のベンジンでふきとります。

♣カビは…しばらく風にあててかわかしておき、裏側からつめではじくようにして落とします。

アイロンのじょうずなかけ方

シミやカビをとりのぞいたら、全体にアイロンをかけましょう。

くしゃくしゃになっているのをそのまま着るのは、もちろんみっともないことですが、たたんだときの折り目がついていても、おしゃれとはいえません。

♣じょうずなアイロンのかけ方…しめりけと、圧力と温度のバランスを保つのが、じょうずにかけるコツです。

水をかけすぎて、しめらせすぎても、温度が高すぎても低すぎても、また力がたりなくても、きれいに仕上がりません。

水は、霧吹きで、強く吹きかけます。

♣アイロンをかけるとき…布地の種類を確かめて、それに適した温度でかけるように注意しましょう。ことに化繊は強すぎる温度でかけて、布地が溶けてボロボロになってしまったなどということもありますから。

布地と、それぞれの適当な温度は、ウールと絹は140度、化繊は120度前後、もめんは140度前後、麻は150度となっています。

最近のアイロンには温度表示がありますから、それに従えばよいのですがそのままでは、熱すぎる場合があります。一つ下の目もりの温度でかけるとちょうどよいでしょう。

また、温度表示がついてない場合は、暖まったアイロンに水滴を落として温度を確かめます。水滴を落としたときジューと音がしたら130度、ジュッというのは140度前後、ピシュッという音は150度以上です。

水滴をたらして温度をしらべます。

♣衣類をいためないために…衣類の上に清潔な布をしきますそれでも落ちない場合は、ビロードの布でこすれば、たいてい落ちます。

着る前に注意したいこと

着るときや使うときになってあわてないように、ボタンのとれそうなものや、ほつれ、害虫の穴など調べて直しておきましょう。共布のベルトや、その服に合わせるベルトなども確かめておくことです。

かばん、ハンドバッグ、くつ、アクセサリーなども、出したときすぐに手入れをしておくと、使うときあわてないですみます。

♣全部のボタンをひっぱってみて…ゆるくなっていたら、一度とってしまって、しっかりとつけ直します。ボタンがとれて、なくなっていたら、全部つけかえるか、かくれる場所なら、似たボタンをつけておくとよいでしょう。

ブラウスのいちばん上のボタンやスナップ、そで口のボタン、スカートのかぎホックなど、しまうとき案外とれているのを忘れてしまっているものです。よく確かめましょう。

♣洋服のなかでほつれやすい部分は…そでつけ、わき、スラックスのまた上、折り返し、ポケットの内側、スカートのすそなどの部分です。ていねいに調べて直しましょう。ほつれは、くけるより、細かくまつるのが効果的です。

♣害虫による穴は…しろうとがやったのではなかなかきれいにできません。洋裁の専門店に頼みましょう。三百円ぐらいで直してくれます。

♣かばんやハンドバッグは…皮ものは皮用のつや出しクリームでふき、ビニールのものはぬれた布でふくか、からぶきします。

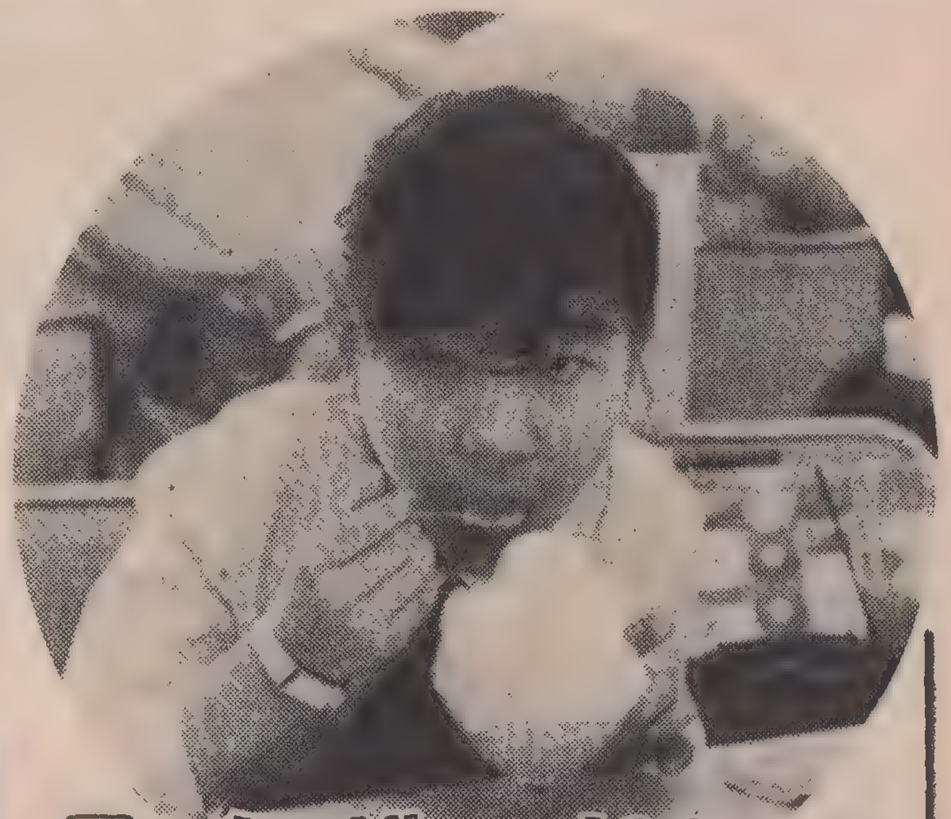
カバンは、止め金も調べましょう。

明かるい食べ方に賛成！
公園のベンチでサンドイッチを食べるおふたり。とても楽しそうです。だから、ほんとにおいしそうですし、オテンバな感じもしません。コソコソしていないところがけっこう

背中を伸ばしてスマートに
カキ氷にアイスクリームをのせて……。なかなか食べにくいおやつですが、もう少しいすをテーブルに近づけて、前かがみにならないようにすれば、ずっとスマートです。

かばんはひざの上か、横のいすに
学校帰りに食べるこの味！　ほんとにやめられませんね。でも、せめてかばんは、ひざの上か、横のいすの上に。そのほうがスマートですし、ほかの人の迷惑にもなりませんから。

遊び着ならば、もっとすてき！
デパートの屋上で、コーヒー牛乳の歩き飲み……活発な十代らしい感じです。でも、制服でなく、デニムのジーンパンツにTシャツなどのお遊びスタイルなら、もっとすてき！



町かどのおやつタイム……拝見

スマートな食べ方も、おしゃれのポイントのひとつです。今月はテーマを変えて、町でみかけたティーンのおやつタイムを、とりあげました。

指導　大内　順子

♣このページに登場ご希望のかたは、手札以上の写真（裏に、住所・氏名・年令・体重・ウエスト寸法・肌色を明記のこと）をお送りください。送り先―東京都田園調布局私書箱13号　学研・美しい十代「おしゃれコンサルタント」係

⇐ ほおえましいタチグイです

アイスクリーム・スタンドに群がっているこの6人。日曜日の計画でもたてているのでしょうか。場所とふんい気が調和しているので、制服姿も気になりません。

こんだお店では遠慮して

アンミツ食べながら、クイズの解答でも考え合っているのでしょうか。楽しそうです。でも大声のおしゃべりや、あまり長居をして、ほかの人の迷惑にならないように。

↓ 制服を着替えてからどうぞ……

かばんをそばに置いたまま、ポップコーンのタチグイですね。とても楽しそうですが、こんなポーズは、くだけた遊び着姿に似合うもの。学校の制服姿ではちょっとどうも……

↑ ちょっとだらしのない感じ

ひとりで楽しむおやつタイム……気どらずに、わざとくずしたポーズもちょっとすてき……でも、両ひじをついて食べるのは、だらしのない感じになるので、ご注意を。

↑ 気軽で楽しいポーズです

「コーラを1本！」と、買ったところをパチリ。きっとここで立ち飲みするのでしょう。でも気軽な装いの彼女なら、けっしておかしくはありません。

初歩のかぎ針編み講座　第1回

基礎知識とマフラー

指導　鈴木陽子

今月から3回にわたって、どなたにも簡単に編める、かぎ針編みの基礎をお贈りします。第1回めは、まずマフラーを編んでみましょう。

かぎ針編みについて

かぎ針編みの特長は、まず場所をとらず気軽に編めることです。針一本、糸一本でどんな作品でも作れます。

つまり、棒針編みでは、長い棒針が二本、わ編みでは、四本もの棒針が必要ですが、かぎ針編みでは、たった一本の針だけで、マフラーのように小さなかわいいものから、セーターやカーディガンのように大きなものまで編むことができます。

さて、かぎ針編みに使用する糸ですが、棒針編みでは、いわゆる毛糸類（極細、中細、並太、極太など）が主で化繊糸などは、針先にかぎがないので糸が針からすべって落ちやすく編みにくいのです。ところが、かぎ針編みでは、すべり落ちる心配がありませんから、毛糸はもちろんのこと、化繊糸、扁平レーヨン糸、テープなどまで糸状のものならどんなものでも編めるので、たいへん便利です。

1　糸と針について

かぎ針編みを美しく編むためには、糸と針のつり合いを考えなければなりません。かぎ針には金属製のものと、つの製、竹製とがあります。毛糸などをふっくらと編み上げるには、つの針や竹針がよいでしょう。また、もめんの糸には金属針、変わり糸や化繊の糸などには、アフガン針を使用します。

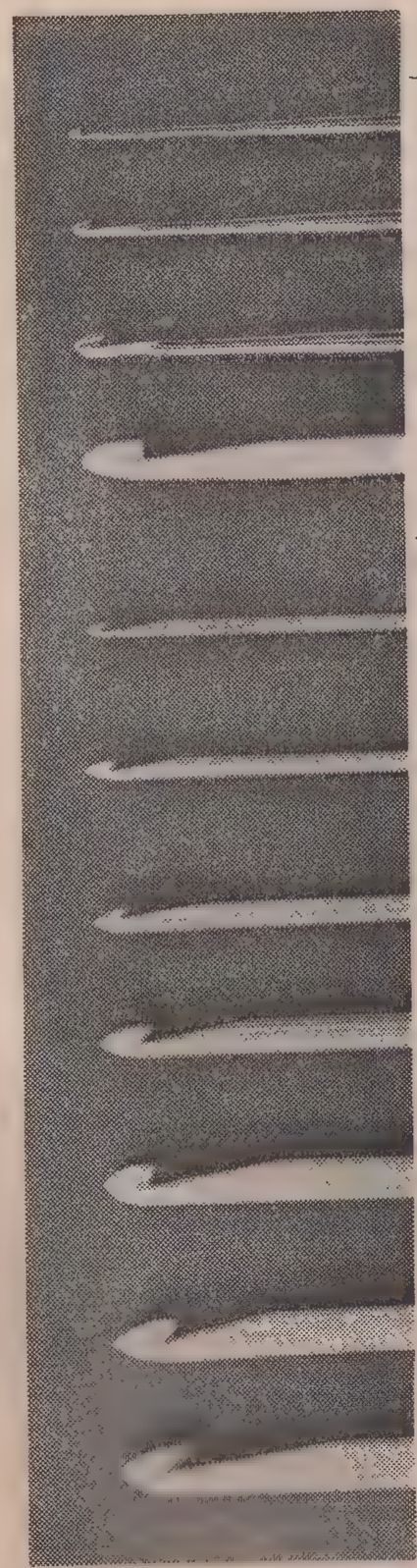
次にどの糸ではどの針を使えばよいか、標準となる針と糸の太さの関係を書いてみましょう。これは、編む人の手のくせや、ゆるく編むとき、堅く編むときなどによって違いますが、一般的な編み目の場合の基準にしてください。

■かぎ針（写真参照）

極細用……極細毛糸

中細用……中細毛糸

並太用……並太毛糸



かぎ針	アフガン針
極細用	1号
細用	3号
中細用	5号
並太用	7号
太用	9号
極太用	15号
	20号

極太用……極太毛糸

■アフガン針（前ページの写真参照）

1～3号……極細毛糸

5号……ブークレー

6～7号……中細毛糸

8～9号……並太毛糸

10号……極太毛糸

12号……極太毛糸・バルキーヤーン

14号……極々太毛糸　極太毛糸と極細毛糸または、中細毛糸を合わせたもの

15号以上……特殊な糸や編み方の場合に用います。

2 針と糸の持ち方

■針の持ち方

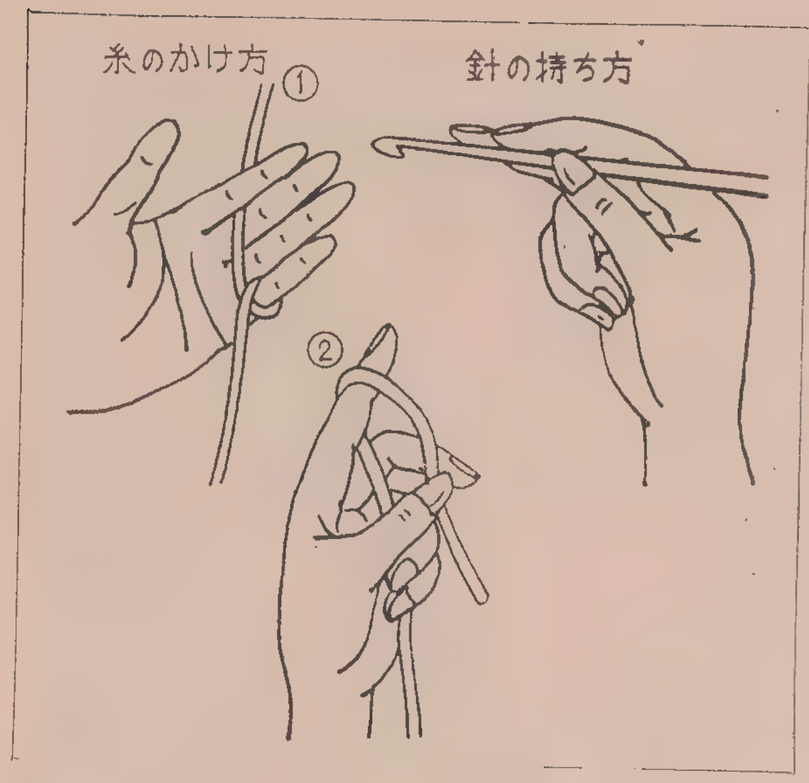
図のようにかぎ針の先から五センチぐらい上がったところを、右手の親指と人さし指で軽く押え、中指をかぎの近くにそえて持ちます。あとの二本、薬指と小指は軽く内側に曲げます。

かぎ針編みをするときは、人さし指と親指の屈伸によって、針を動かすようにします。

編むときには、肩を上げないようにし、両ひじをなるべくからだに引きつけて、両わきにつけるようにします。そして、肩の力を抜くようにしながら編んでいきます。

■糸のかけ方

左小指に一回糸を巻いて、手のひら側を通り、中指と人さし指の間に糸を通します（図①）。次に人さし指を立てて糸をかけ、小指を曲げて糸の張りを調節し、親指と中指で糸を押えるようにして編みます（図②）。



3 作り目について

■目の大きさ

かぎ針編みの模様編みは、鎖編みで作り目し、その上に模様編みを編むのが普通です。この作り目した鎖編みの目と、次の模様編みの目と同じ大きさにしないと、せっかくの柄をこわしたりします。

鎖編みの目の大きさは、編み地の目の大きさに合わせましょう。

■ゲージ

編み地は一五センチ角ぐらい編みゲージをとります。模様編みを計るとき何模様が何センチというように計ります

たとえば、三模様が八センチだとします。横幅四五センチは何模様かというとき、

$$8:3=45:x \qquad x=\frac{3\times45}{8}=17$$

の式で、横幅は一七模様となります。

鎖目は寸法よりやや多めに（五～一〇センチ）編み、まず模様編みの数だけその上に編み、残った鎖目は五目ぐらい残して切り、あとから鎖五目をほどきます。

ショール、マフラーなどは、鎖目が堅すぎると、はじめが狭くなり、上になって広がりやすいので、特に注意しましょう。

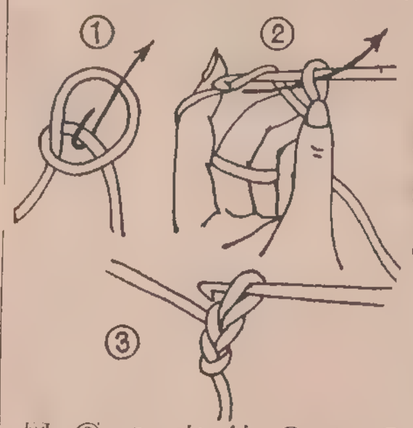
段数は、寸法になるまで編めばよいのです。

4 編み方とその記号

編み目記号はＪＩＳ（日本工業規格によってきめられています）記号とその編み方をマスターすれば、かぎ針編みの、どんな作品でも編むことができます。細編みのＪＩＳ記号は×ですが、前段一目に二、三目入れるときにわかりやすいよう、＋を作って説明しているときもあります。

ここでは、ごく初歩の記号を七つとり上げました。初めはこれだけの編み方をいろいろ変化させるだけで十分です

0 鎖編み



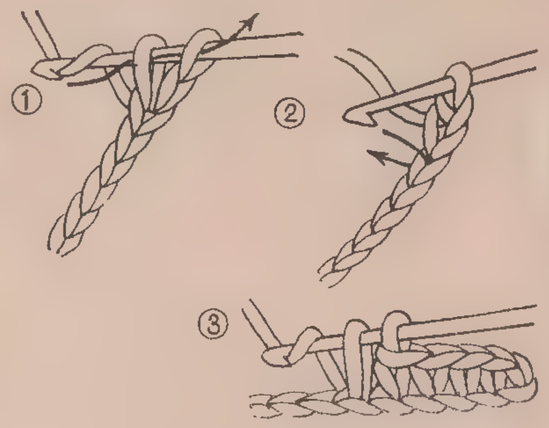
①編み糸のはじめにわを作ります。

②中指と親指で押え、針に糸をかけて矢印の方向に引き抜きます。これを繰り返します。

③鎖一目のでき上がり図。

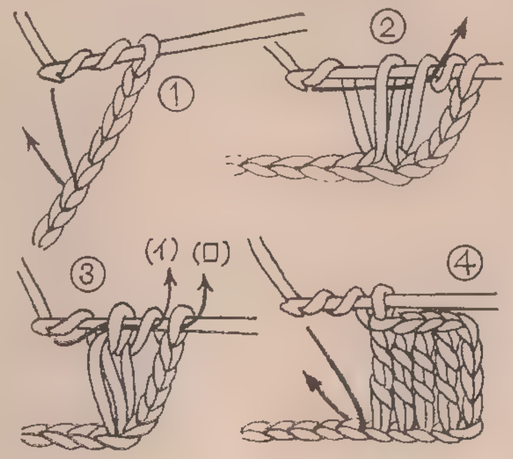
細編み

①鎖の作り目の上に鎖一で立ち上がり、二目もどった鎖に針を入れ、糸をかけます。
②針にかかった二目を一度に引き抜きます。
③これを繰り返します。



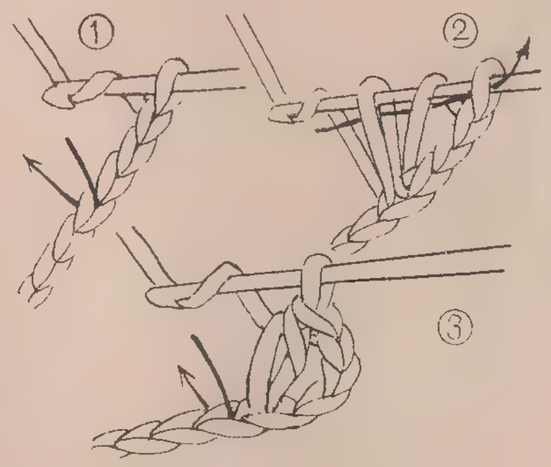
長々編み

①鎖の作り目の上に鎖四で立ち上がり、針に二回糸をかけ、六目もどった鎖に針を入れ引き抜きます
②針に糸をかけ二目引き抜きます
③同様にして(イ)、(ロ)と二回引き抜き、以上を繰り返します。



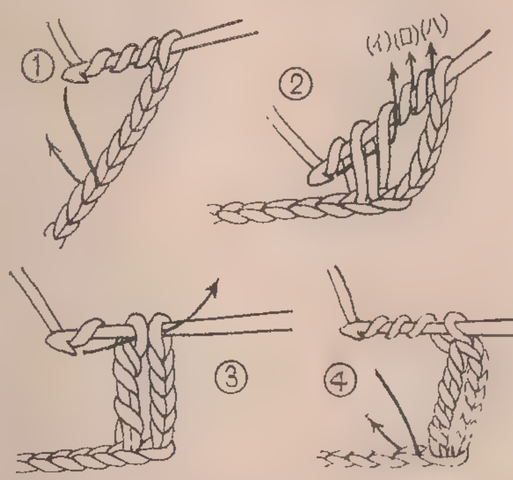
中長編み

①鎖の作り目の上に鎖二で立ち上がり、針に一巻き糸をかけ、四目もどった鎖に針を入れます。
②針に糸をかけ、針の三目を一度に引き抜きます。
③これを繰り返します。



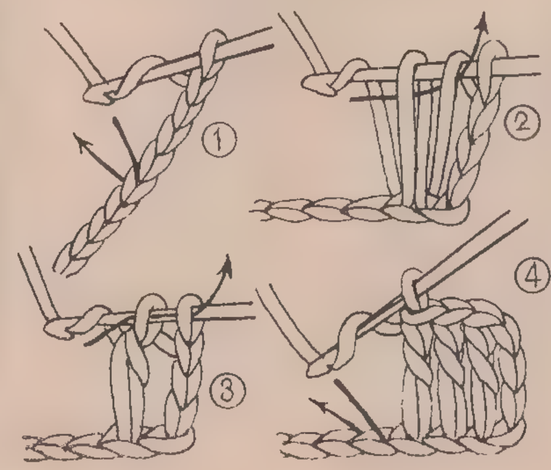
三つ巻き長編み

①鎖の作り目の上に鎖五で立ち上がり、針に三回糸をかけ、七目もどった鎖に針を入れます。
②針に糸をかけ針にかかった五目を(イ)、(ロ)、(ハ)と二目ずつ引き抜きます、最後の二目を引き抜きます。



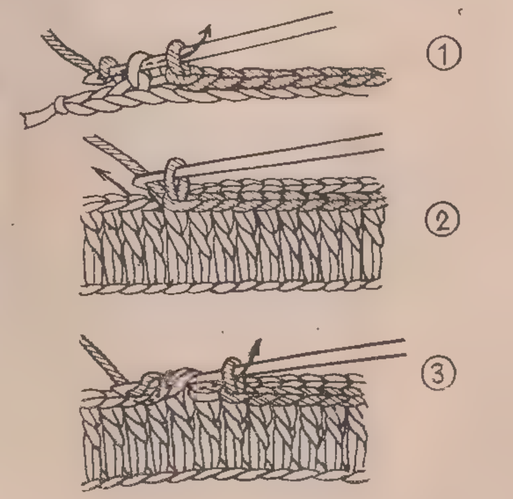
長編み

①鎖の作り目の上に鎖三で立ち上がり、針に一巻き糸をかけ、五目もどった鎖に針を入れます。
②針に糸をかけ二目を引き抜く、
③また針に糸をかけ、残りの二目を引き抜き、以上を繰り返します



引き抜き編み

①鎖と同様に、下の目に針を入れて糸を引き出し、同時に針にかかっている一目も、いっしょに引き抜きます。
②と③は、①を長編みの上に繰り返した状態です。

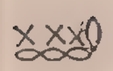


編み目の高さと立ち上がり

細編み、中長編み、長編み、長々編み、三つ巻き長編みと、どれをとっても鎖一の高さより高いので、作り目の上にすぐにこれらの編み目を編むことができません。

鎖目を基準とし、たとえば、細編みの高さは鎖何目の高さに相当するか考えていきます。これを立ち上がりの目といいます。そのため鎖はのほか編み目の大きさに合わせて編まなければなりません。

細編みの高さは鎖編み一目分、中長編みは半、段の移り変わりの立ち上がりは鎖一で表わします。



ポンポンのついたマフラー

以上の基礎を応用して、モヘア毛糸でマフラーを作ってみました。このマフラーは、鎖編みと長編みだけで、変化をつけただけ。あなたも簡単に編めますから、さっそく作ってみてください。

■材料と用具

極細モヘアのグレー六〇グラム、赤六〇グラム、黒少々。アフガン針三号。

■でき上がり寸法

幅一八センチ長さ一メートル一六センチ。ポンポンの直径六センチ。

①鎖六四で作り目し、鎖三で立ち上がり、五目もどった鎖に長編み一、一目とばして長編み一して一度に引き抜くクラスター、鎖二編みます。次から「長編み一、鎖一」の「」内を一三回繰り返します。中央で同じ目に「長編み一、鎖一」の「」内を五回編み入れ反対側に進みます。鎖一して「長編み一、鎖一」の「」内を一三回繰り返し、最後は、一目おきに長編み三編み、一度に引き抜くクラスターをします。

②以上を図のように五〇センチになるまで繰り返して編みます。

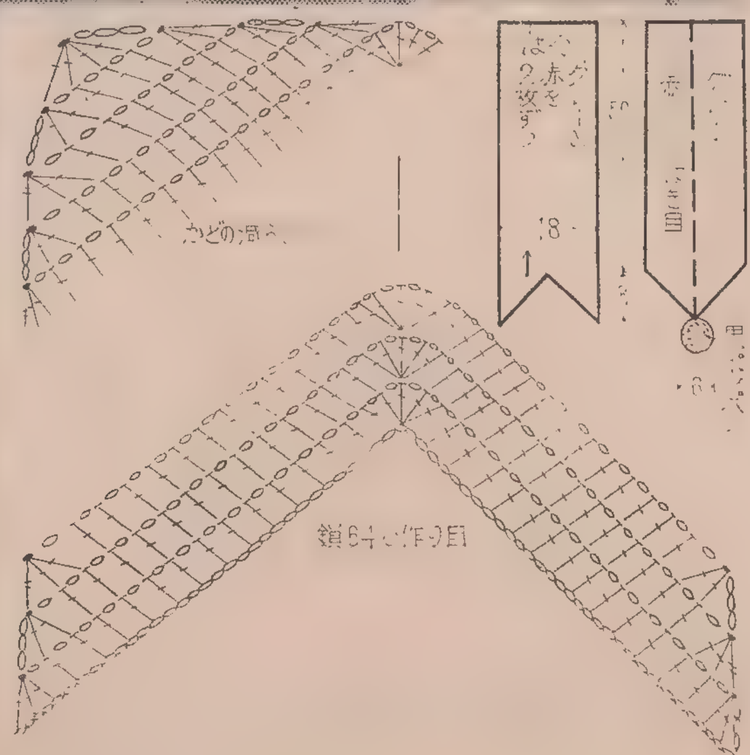
③五〇センチになりましたら、山型の模様編みを平らにするため、図のように両端毎段同様に鎖三で立ち上がり、前段一目おきに長編み二して一度に引き抜くクラスターで減らし目をしながら三段編み、終わりの四段めは、鎖三で立ち上がり前段一目おきに長編み四して一度に引き抜くクラスターをします。

同様のものをグレー二枚、赤二枚作り、四枚をはぎ合わせます。

別に黒毛糸で直径六センチのポンポンを二個作り、マフラーの両端のとがった所にとじつければでき上がりです。

■仕上げ

毛糸の作品の場合は、蒸気アイロンか、またはぬれタオルの上から、糸のふくらみを失わないように、さっとアイロンをかけます。あとは、水分が完全になくなるまで平らに置いて、形をくずさないようにします。



長編み

長編みの高さは鎖三の高さと同じ。立ち上がり目は、鎖三目（約八ミリ）で表わします。

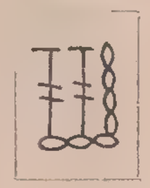
中長編み

中長編みの高さは鎖二の高さと同じ。立ち上がり目は鎖二目（約五ミリ）で表わします。

三つ巻き長編み

三つ巻き長編みの高さは鎖五の高さと同じ。立ち上がり目は鎖五（約一センチ三ミリ）で表わします

長々編み



長々編みの高さは鎖四の高さと同じ。立ち上がり目は鎖四（約一センチ）で表わします。

表紙と口絵の洋服の作り方

表紙と、口絵3～5ページの洋服の作り方です

アンサンブル
表　紙

■材料と用尺

ジャケットとスカート　ローズ色のウールをダブル幅で二㍍。裏布は九〇㌢幅二㍍六〇㌢。シン七〇㌢幅で六〇㌢。長さ二〇㌢のファスナー一本。かぎホック大一組。ベルトシン。ブラウス　ローズ色に黒の水玉模様の化繊を九〇㌢幅一㍍一〇㌢。長さ二〇㌢のファスナー一本。かぎホック小一組。

■裁ち方注意

ジャケットは前後身ごろとも中央線平行に縦地を通し、後ろ中央をわに裁ちます。前身ごろは見返し分を続けて前端をわに裁つと薄くきれいに仕上がります。

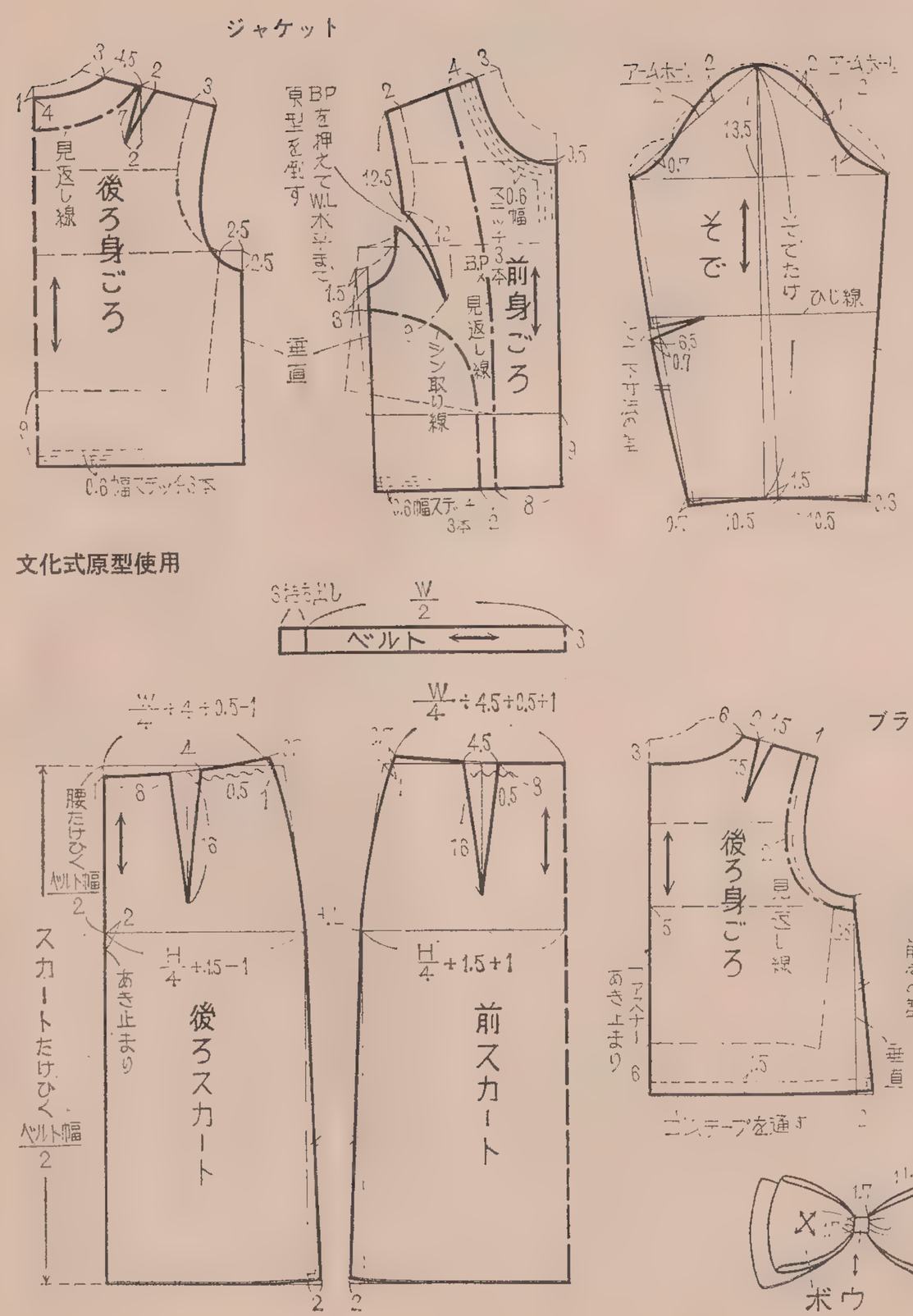
スカートも前後とも中央線平行に縦地を通して裁ちます。

ブラウスのえりぐり見返し布はバイアスで裁ち、身ごろは前後とも中央線平行に縦地を通して裁ちます。

■縫い方要点

ジャケットは表布のダーツを地縫いし、縫いしろを中央側に片返します。（裏布は表布と反対の方向に片返す）スカートは後ろ中央をファスナーあきにします。

ブラウスの前身ごろえりぐりの縫いしろに荒めのミシンをかけ、下糸を引いてギャザーを寄せてから、見返し布で始末します。



1のツーピース
口絵3ページ

■材料と用尺

表が紺、裏が白、赤、紺の千鳥格子のリバーシブルのウールをダブル幅で二メートル一〇センチ（リバーシブルの布がない場合には、チェックの別布を用いてもよい）。裏布九〇センチ幅で二メートル五〇センチ（スカート分をも含む）。シン布を七〇センチ幅で七〇センチ。直径二センチ三ミリの紺ボタン三個と一センチ八ミリのもの四個。スナップ中二組。二センチ五ミリ幅の金のバックル一個。ハトメ四個。長さ二〇センチのファスナー一本。ベルトシン。かぎホック大一組。

■裁ち方注意

表えり、見返し、表胸当て布、ベルトの裏はチェックになるように裁ちます。

後ろ身ごろは、そで下のひだ分九センチを、平行に切り開いてから裁ちます。

えりの縁どり布は、両端一センチずつを縫いしろと見積もって三センチ幅のバイアスに裁ちます。

■縫い方要点

見返し布と表えりに、縁どり布を割りはぎしておきます。

後ろ身ごろのそで下のひだは、表裏いっしょに片ひだで、外側に倒します。

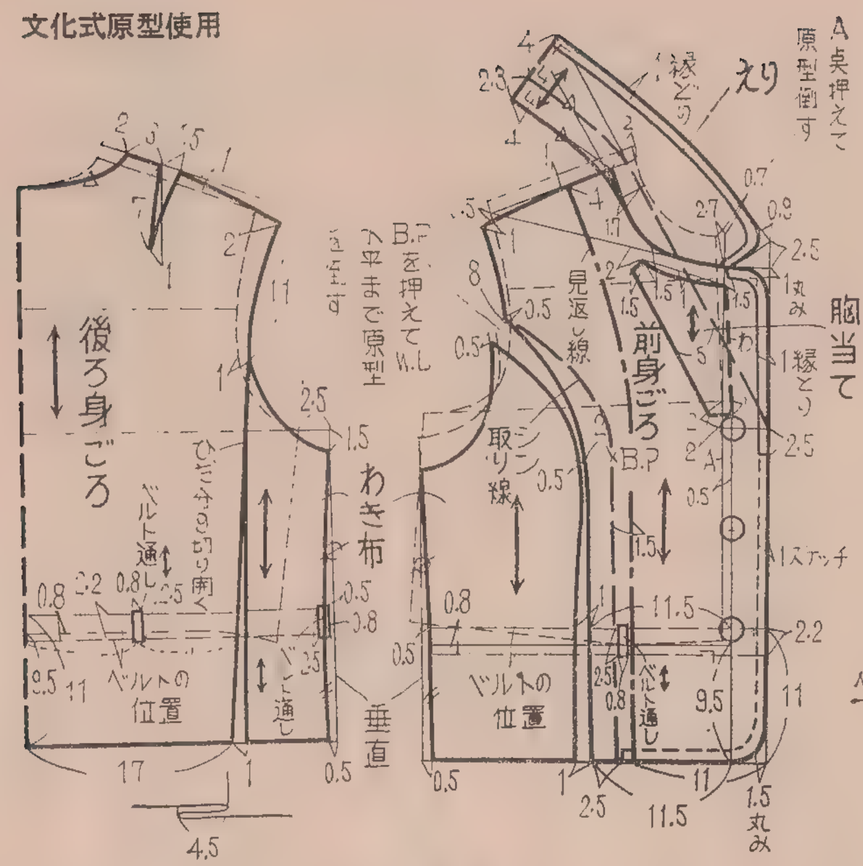
そでのダーツは、内そで側に倒します。

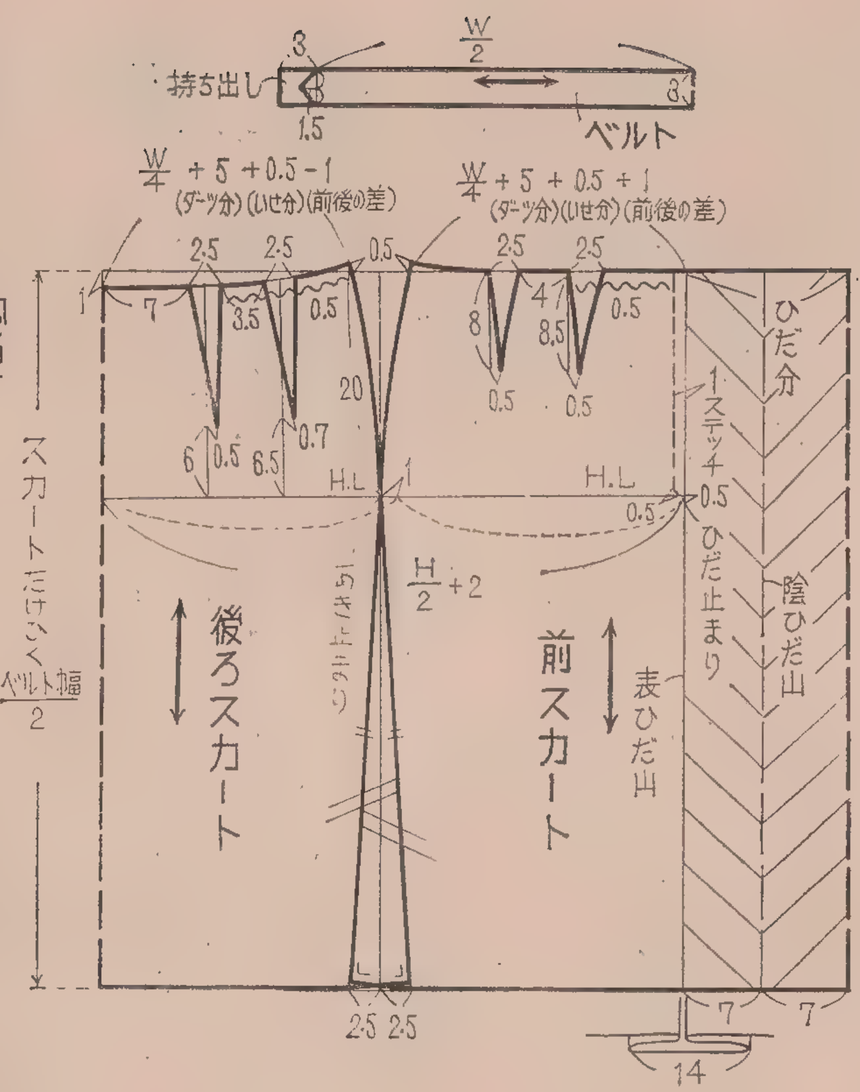
身ごろにボタンホールを作って見返しを合わせ、前端の始末をして、えりをつけます。

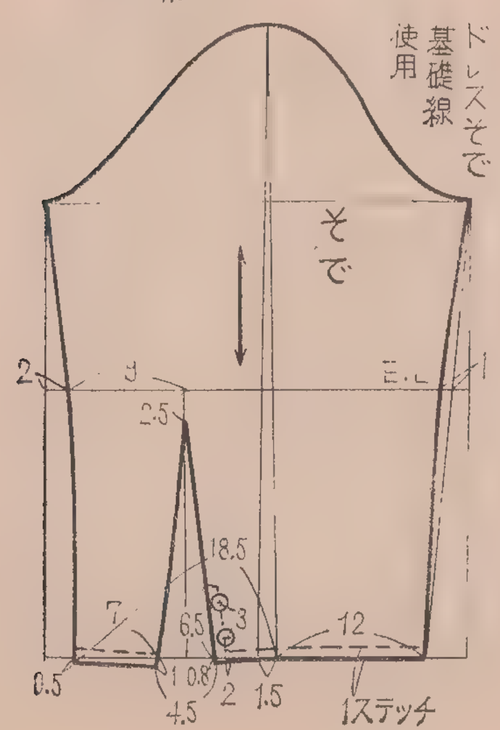
上着の前端とそで口に紺の糸で一センチ幅のステッチをします。

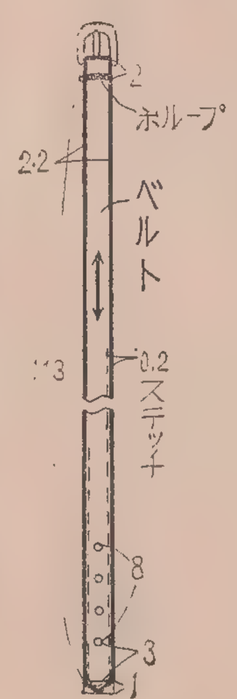
スカートは、ダーツを縫ってひだをボックスにたたみます。左わきをファスナーあき止まりの一センチ手前まで縫って、ファスナーをつけます。

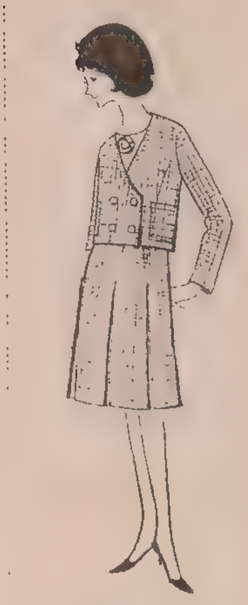
文化式原型使用











2のツーピース
口絵3ページ

■材料と用尺

白地に、紺、黄、茶、ローズなどカラフルな細かい千鳥格子のウールをダブル幅で二メートル八〇センチ。裏布九〇センチ幅で一メートル八〇センチ。直径二センチ五ミリの白ボタン四個。シン七〇センチ幅で五〇センチ。長さ二〇センチのファスナー一本。ベルトシン。かぎホック大一組。

■裁ち方注意

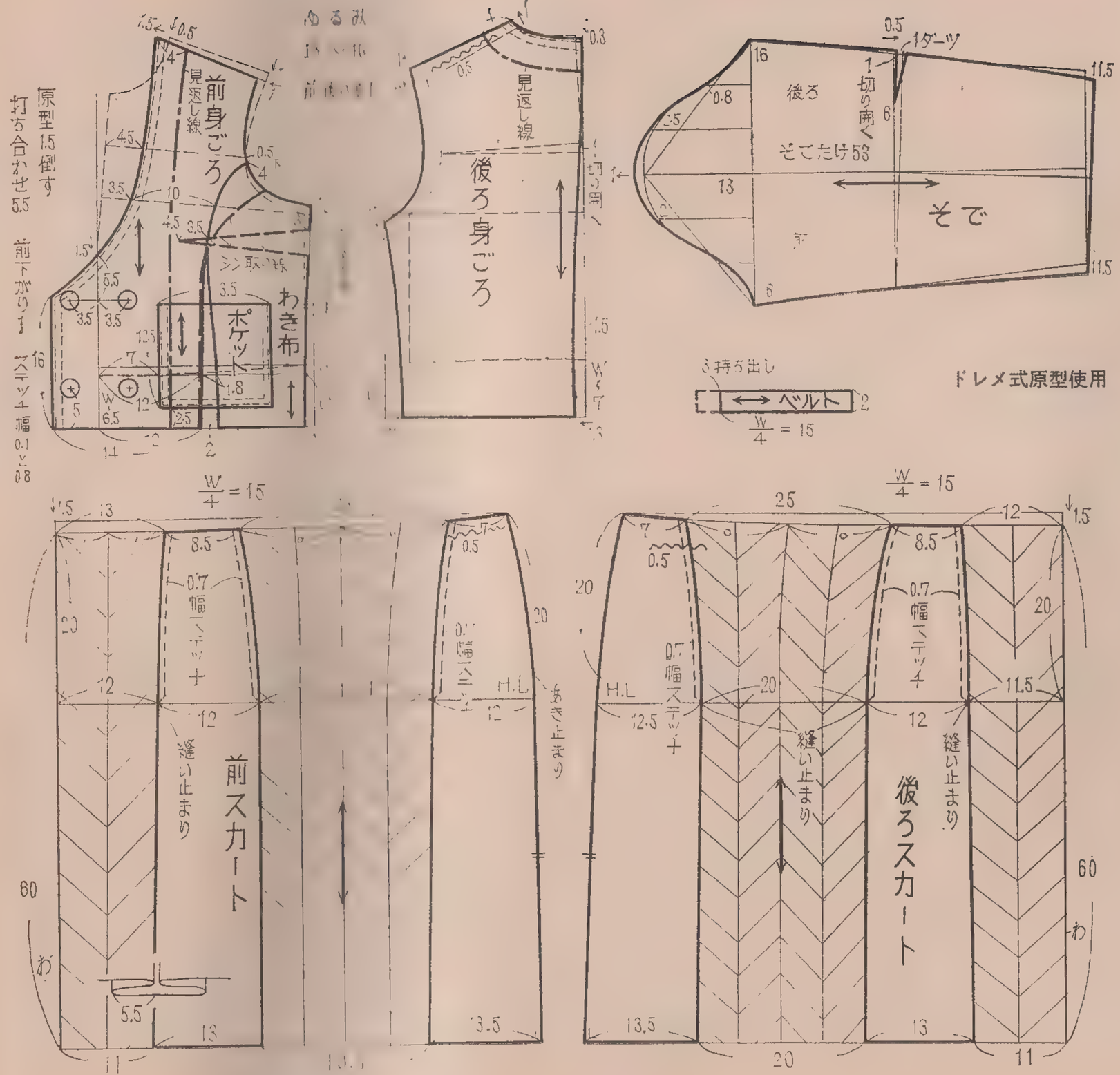
前身ごろのわき布は、ダーツをたたんでから裁ちます。スカートは前後とも中央をわに裁ちますが、布がたりない場合は陰ひだの部分ではぎます。

■縫い方要点

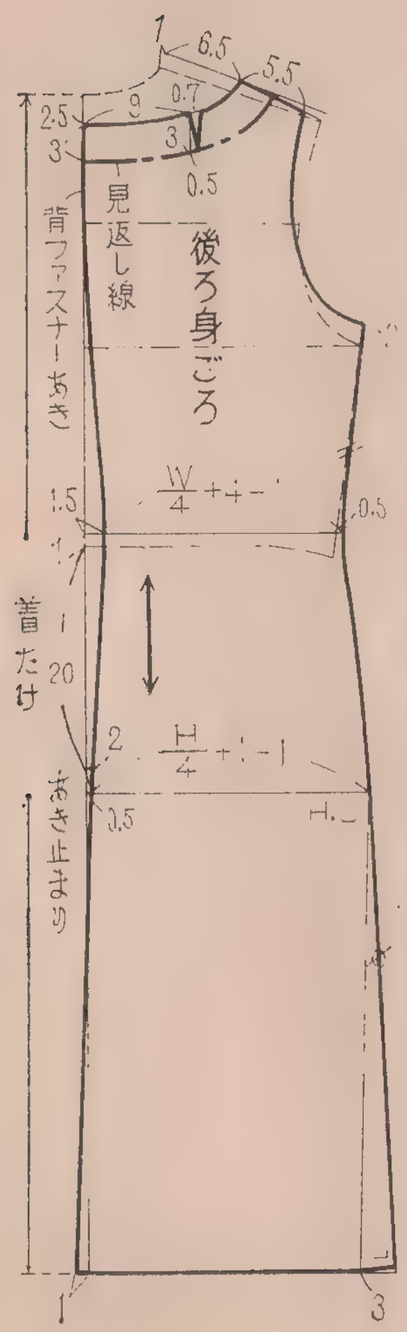
前身ごろの切り替え線を割り縫いし、シンをすえて上前に玉縁ボタンホールを作ります。背、肩、わきも割り縫いし、えりぐりから前端を見返しで整えて裏をつけます。

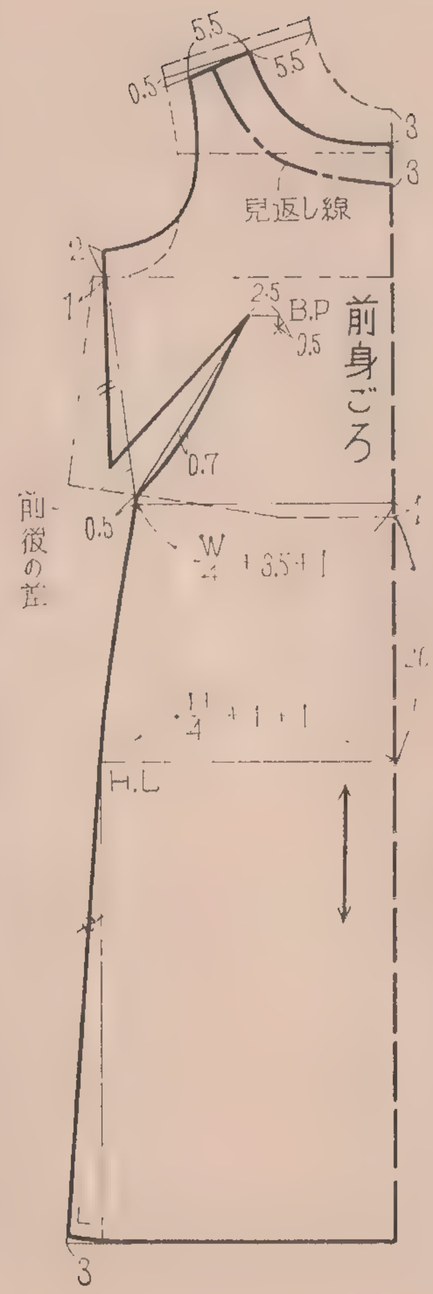
ポケットは裏をつけて、左右底の三方をでき上がりどおりにしつけを打ち、上からステッチで止めつけます。

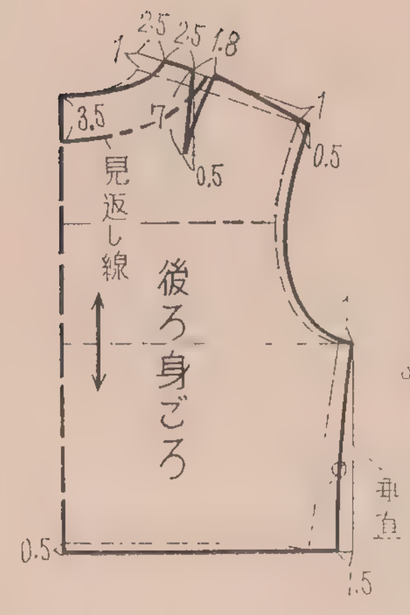
スカートはひだ山の縫い止まりまでを裏から縫い、ひだを整えて表からステッチで押えます。

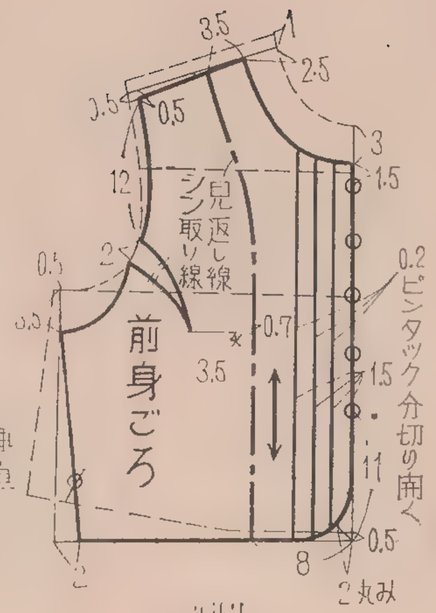


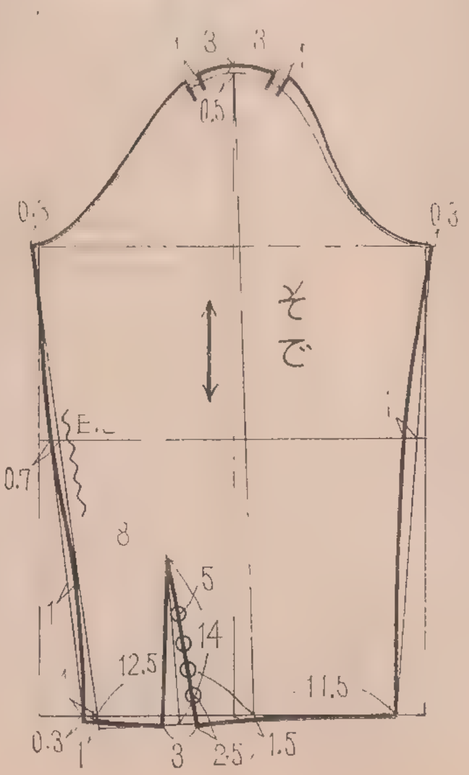
文化式原型使用

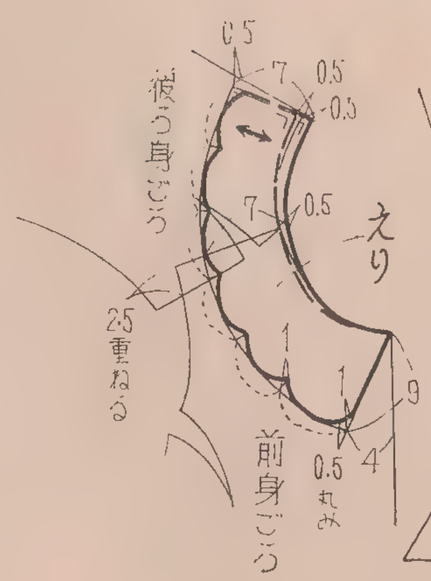










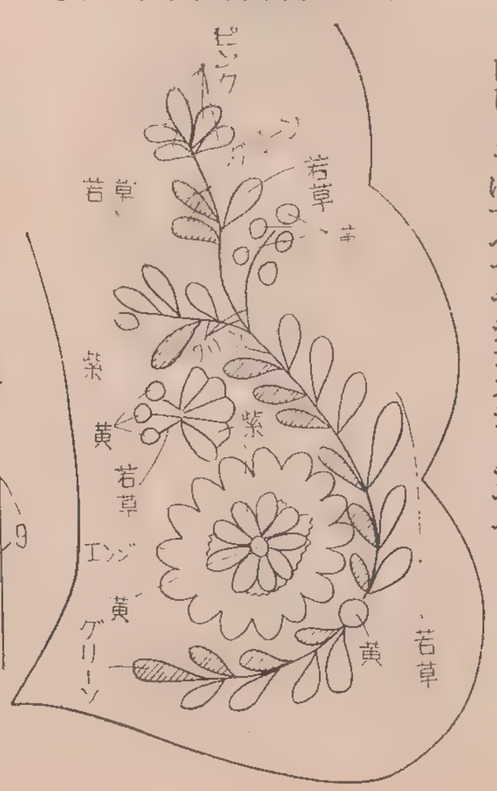


3のアンサンブル
口絵4ページ

■材料と用尺

ベージュのウールをダブル幅で二尺五〇センチ。裏布九〇センチ幅で一尺六〇センチ。シン七〇センチ幅で六〇センチ。直径一センチ五ミリのベージュの丸いボタン五個と一センチ二ミリを八個。かぎホック中二組。長さ五二センチのファスナー一本。エンジ、紫、グリーン、若草、ピンク、黄の二五番ししゅう糸各少々。ししゅうはすべてサテンステッチです。

えりのししゅう図案実物の1/2



4のツーピース
口絵4ページ

■材料と用尺

上着　プリントの薄手キルティング地九〇センチ幅で一メートル七〇センチ。直径一センチ八ミリの黒ちょう貝ボタン五個。裏布九〇センチ幅で一メートル六〇センチ。シン七〇センチ幅で六〇センチ。

スカート　アイボリーのバーバリー九〇センチ幅で一メートル六〇センチ（上着のえり、見返し分も含む）。長さ二〇センチのファスナー一本。ベルトシン。かぎホック大一組。

■裁ち方注意

上着の表えり、見返し、裏フラップはバーバリーで裁ちます。ベルトは前後続け、表はプリント、裏はバーバリーで裁ちます。

スカートの切り替え線の縫いしろは、三センチつけて裁ちます。

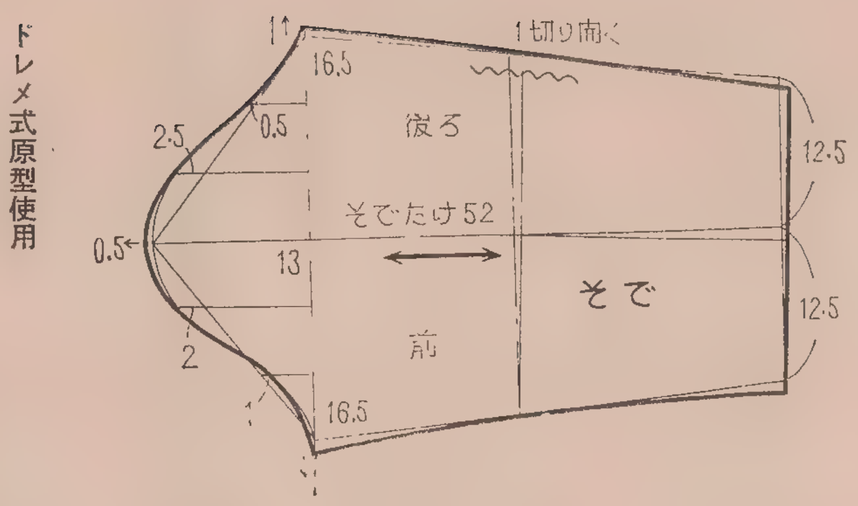
■縫い方要点

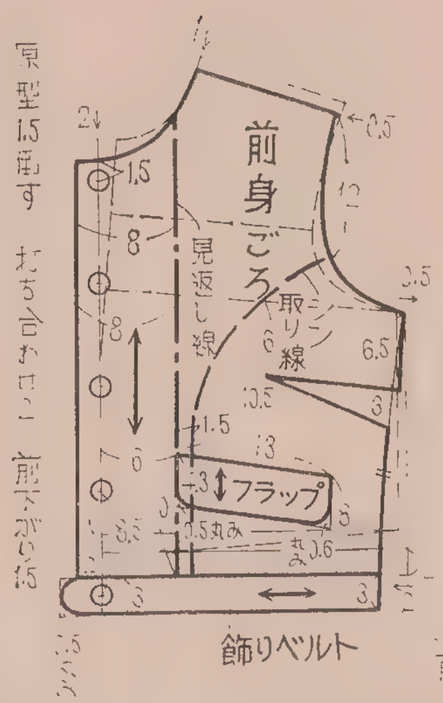
表布のダーツを縫い、フラップポケットをつけて、肩、わき線を割り縫いしておきます。

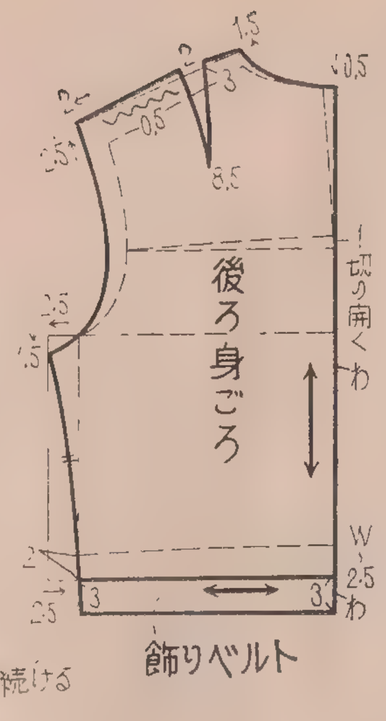
裏布も表布同様にダーツ、肩、わき線を縫い合わせておきます。

えりを形作って外回りに端ミシンをかけ表身ごろと裏身ごろの間にはさんでえりをつけます。このとき、前端から続けてぐるりと縫います。

表に返して前端を端ミシンで押え、表と裏をたるまないように合わせてすそをしつけで止め、飾りベルトは裏ベルトを地縫いして、表ベルトを端ミシンで押えます。

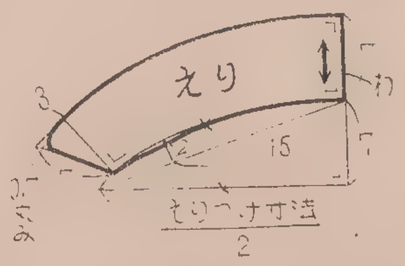


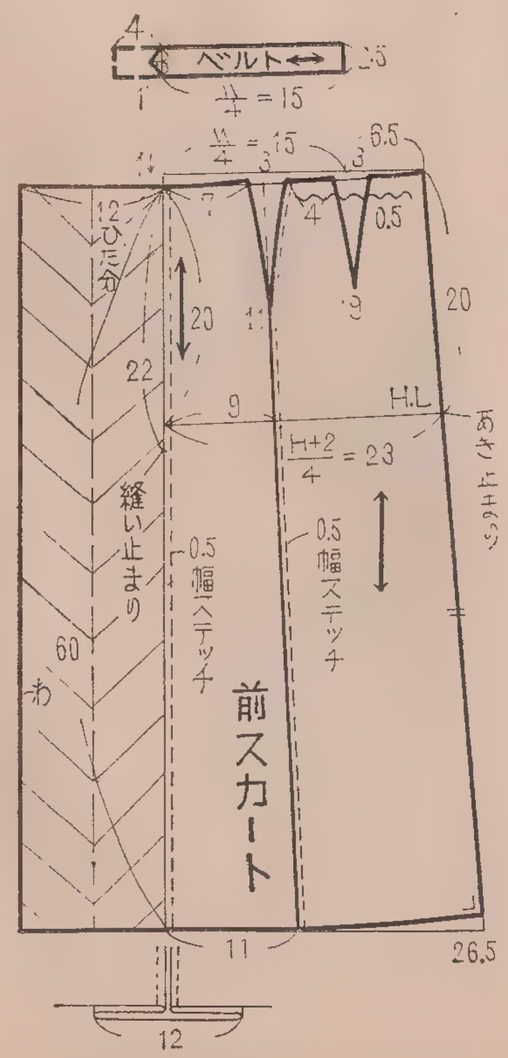


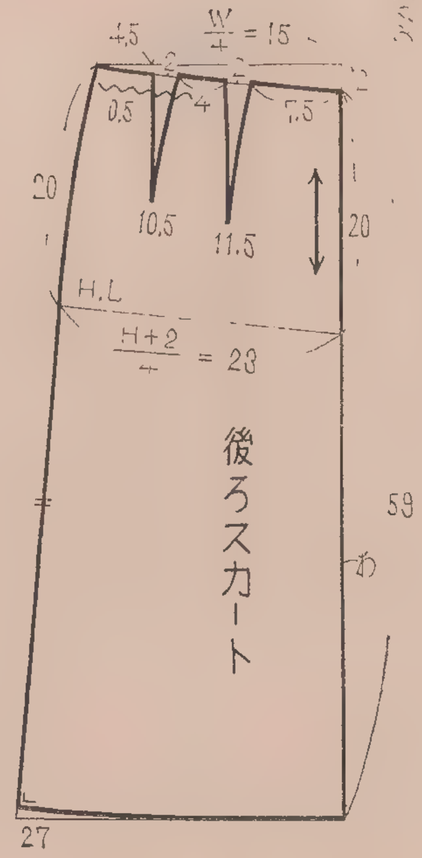


前後続ける

ゆるみ
B ～ 14
前後の差1







■材料と用尺

紺地にグリーン、黒、白などの渋いチェックをダブル幅で二尺二〇センチ。裏布九〇センチ幅で二尺六〇センチ（スカート分も含む）。シン七〇センチ幅で七〇センチ。直径一・二センチの金ボタン五個。長さ一・〇センチのファスナー一本。ベルトシン。かぎホック大一組。

■縫い方要点

後ろ身ごろのダーツを縫って中央側に倒します。

前身ごろの切り替え線を割り縫いします。

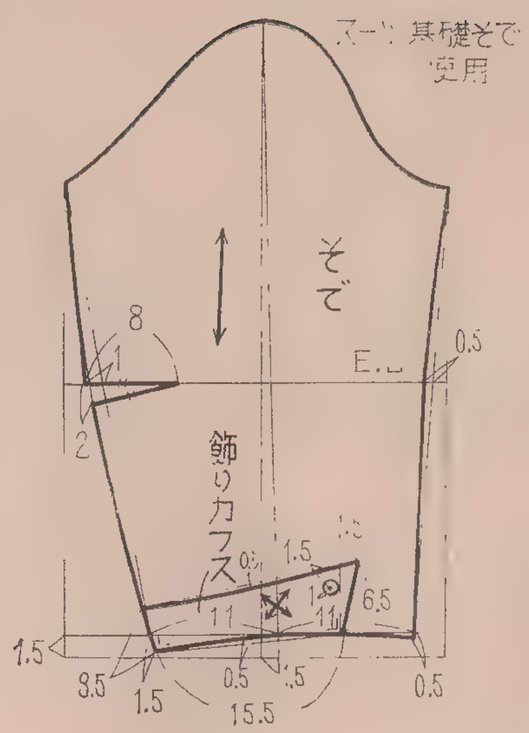
前身ごろにシンをすえてフラップポケットおよび、ボタンホールを作ります。

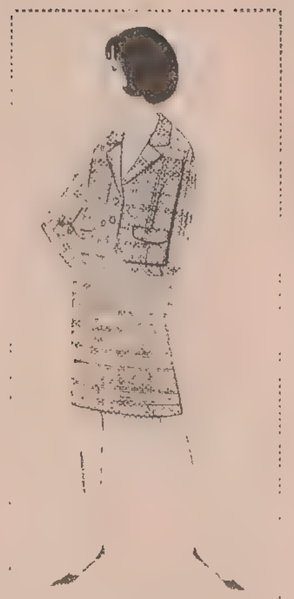
見返しを折り先より上は身ごろが、折り先より下は見返しが控えられるようにつけます。

裏を縫い合わせて表と合わせ、わきを中とじして、見返し奥をまつります。

えりは裏えりにシンをすえて軽くハ刺しし、表えりにゆとりを持たせて外回りを地縫いします。

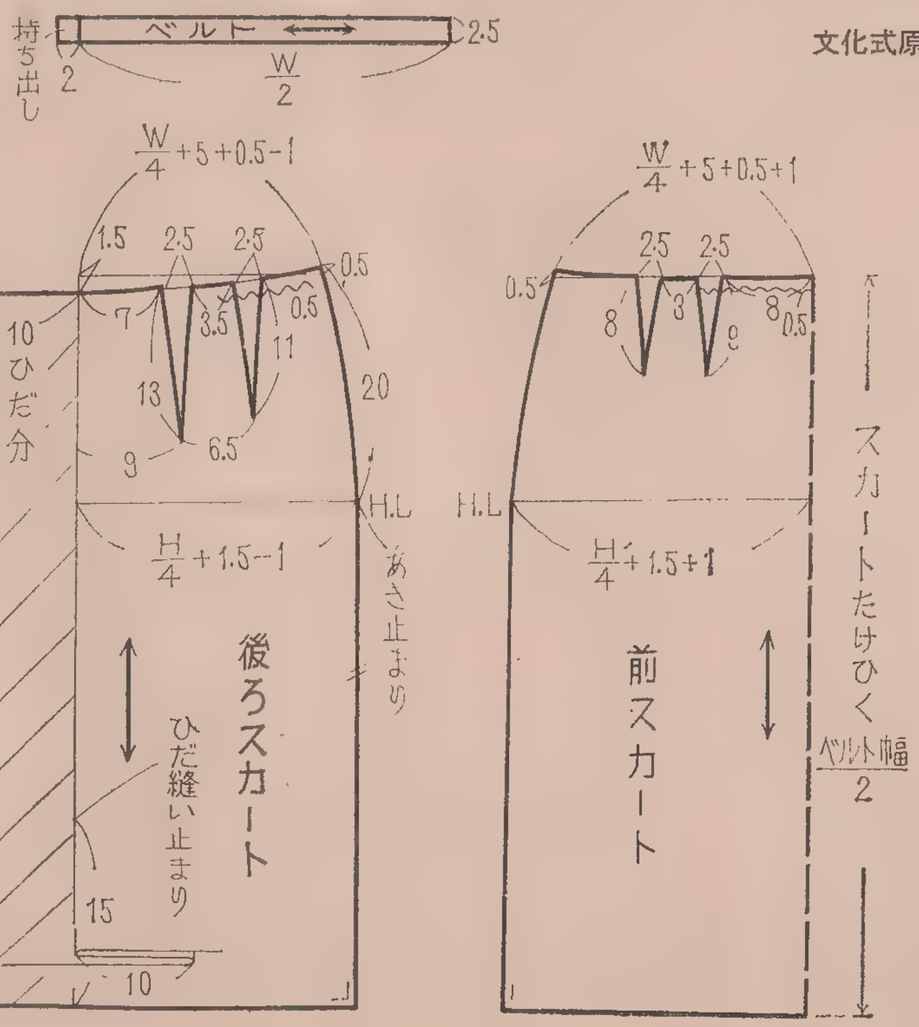
シンの縫いしろを切り落とし、表に返します。

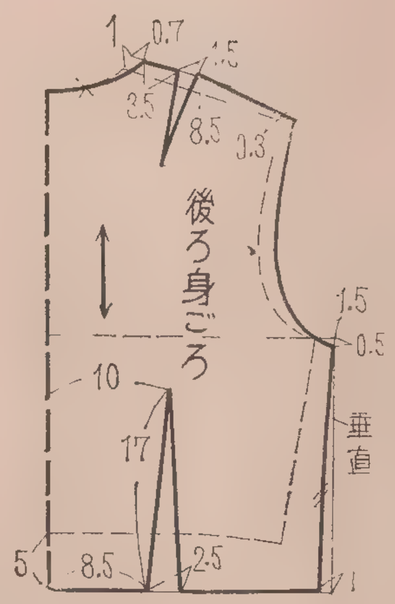


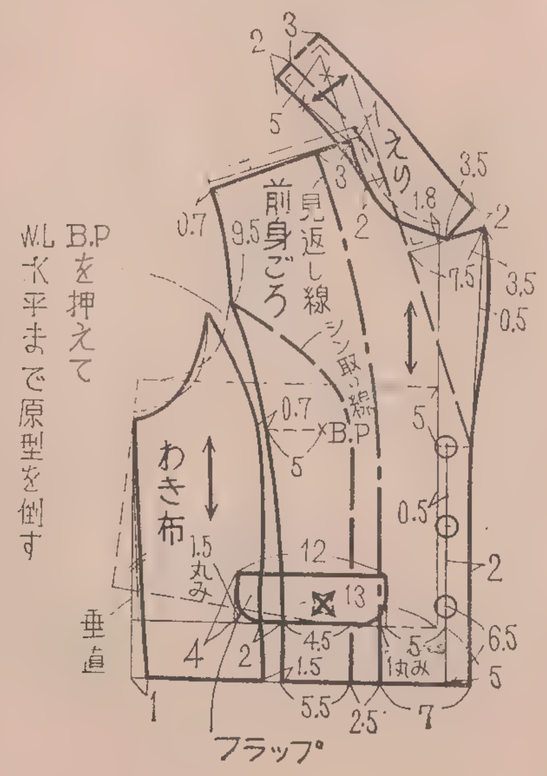


5のブレザースーツ
口絵4ページ

文化式原型使用







裏えりのつけ側の縫いしろを折り、身ごろにまつりつけ表えりは折り山より少し奥までラペルと突き合わせにしてはしごまつり、その先は縦まつりにします。

6のワンピース
口絵5ページ

■材料と用尺

紺のジャージーをダブル幅で一メートル二〇センチ。白と紺の千鳥格子のウールをダブル幅で一メートル八〇センチ。直径一センチ五ミリのくるみボタン五個。三センチ幅の紺のバックル一個。長さ三二センチのファスナー一本。

■裁ち方注意

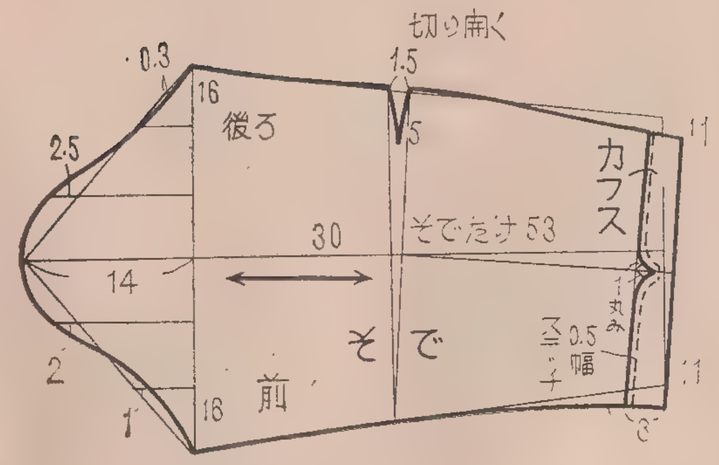
スカートは前後ともバイアスで中央をわに裁ちます。

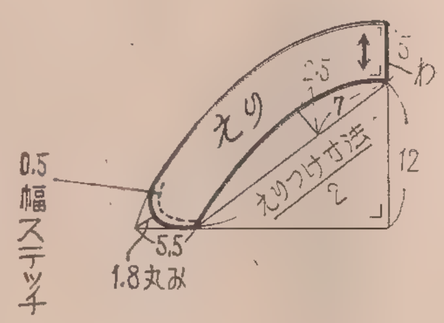
■縫い方要点

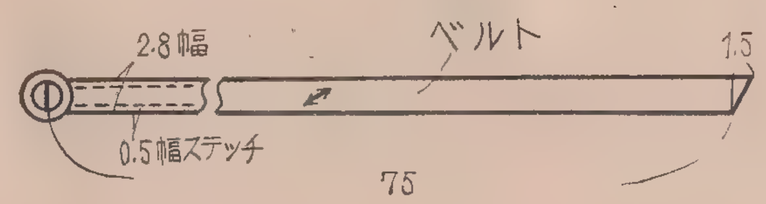
わきダーツは上に、その他のダーツはすべて中央に片返します。えりつけは、裏えりと身ごろを地縫いし、衣えりをまつります。

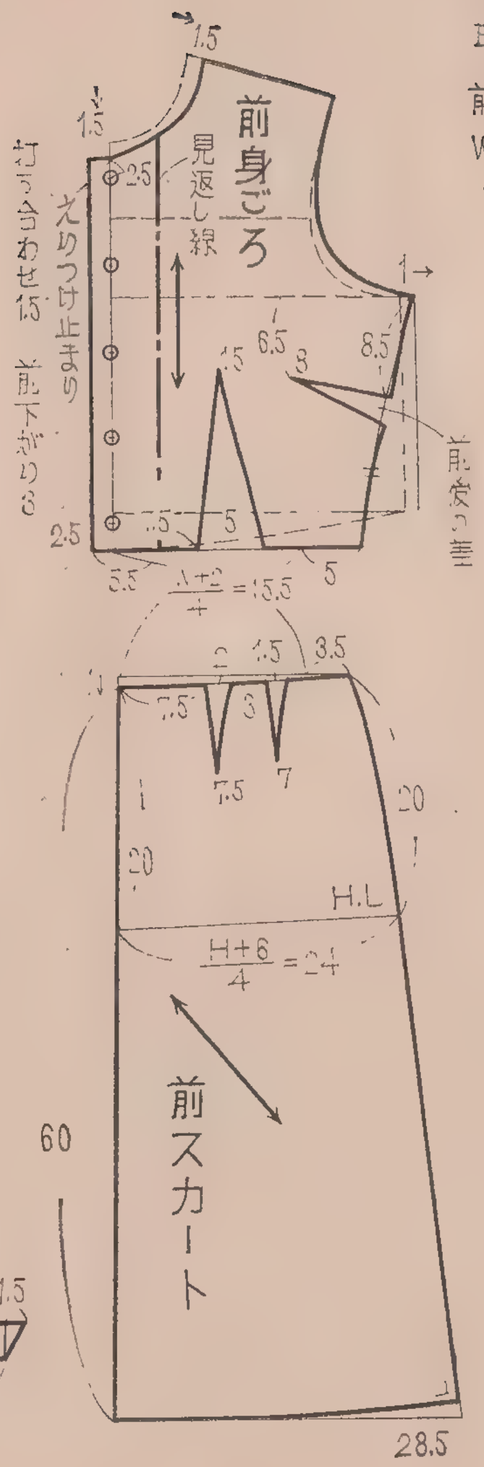
打ち合わせを正しく重ね、ウエストをはぎ、縫いしろを上に倒して、わきあきにファスナーをつけます。

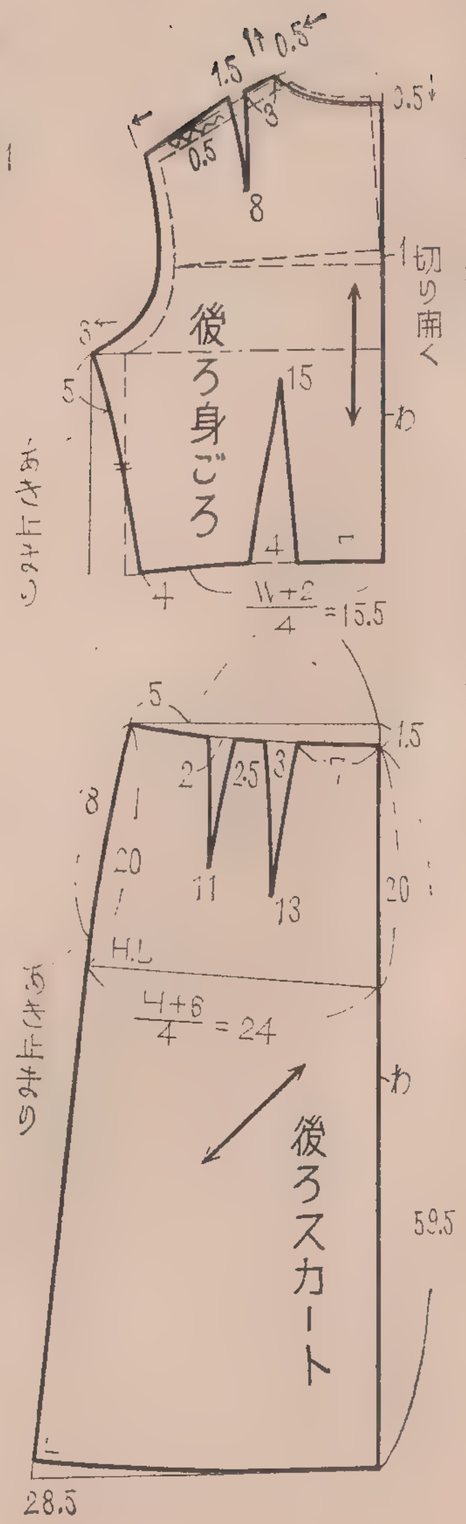
ドレメ式原型使用











7のワンピース
口絵5ページ

■材料と用尺

ブルーグレーのツイードをダブル幅で一㍍八〇㌢。裏布九〇㌢幅で三㍍。直径二㌢のいぶし銀ボタン六個と一㌢六㍉のボタン四個。グレーの中細毛糸少々。

■裁ち方注意

前中央ははぎにし、下前あきの位置には二㌢の持ち出しをつけて裁ちます。

■縫い方要点

ダーツを縫ってそれぞれ中央に倒し、前後中央線、肩線を割り縫いします。

前あきとえりぐりを見返しで始末しますが、そのとき上前はボタンループをはさみ込み、下前は持ち出しの先から見返しをつけます。

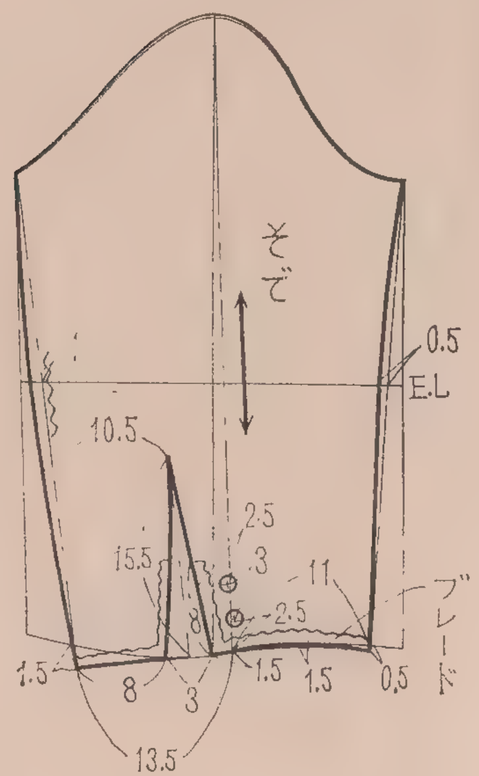
えりは毛糸で鎖一〇の作り目し、一段め長編み、二段め長々編み、三、四段めはつけ側の五目を長編み、外側五目を長々編みにしてえりのカーブをつけて図のように編みます。

フラップ、そで口のブレードも図を参照して編みます。

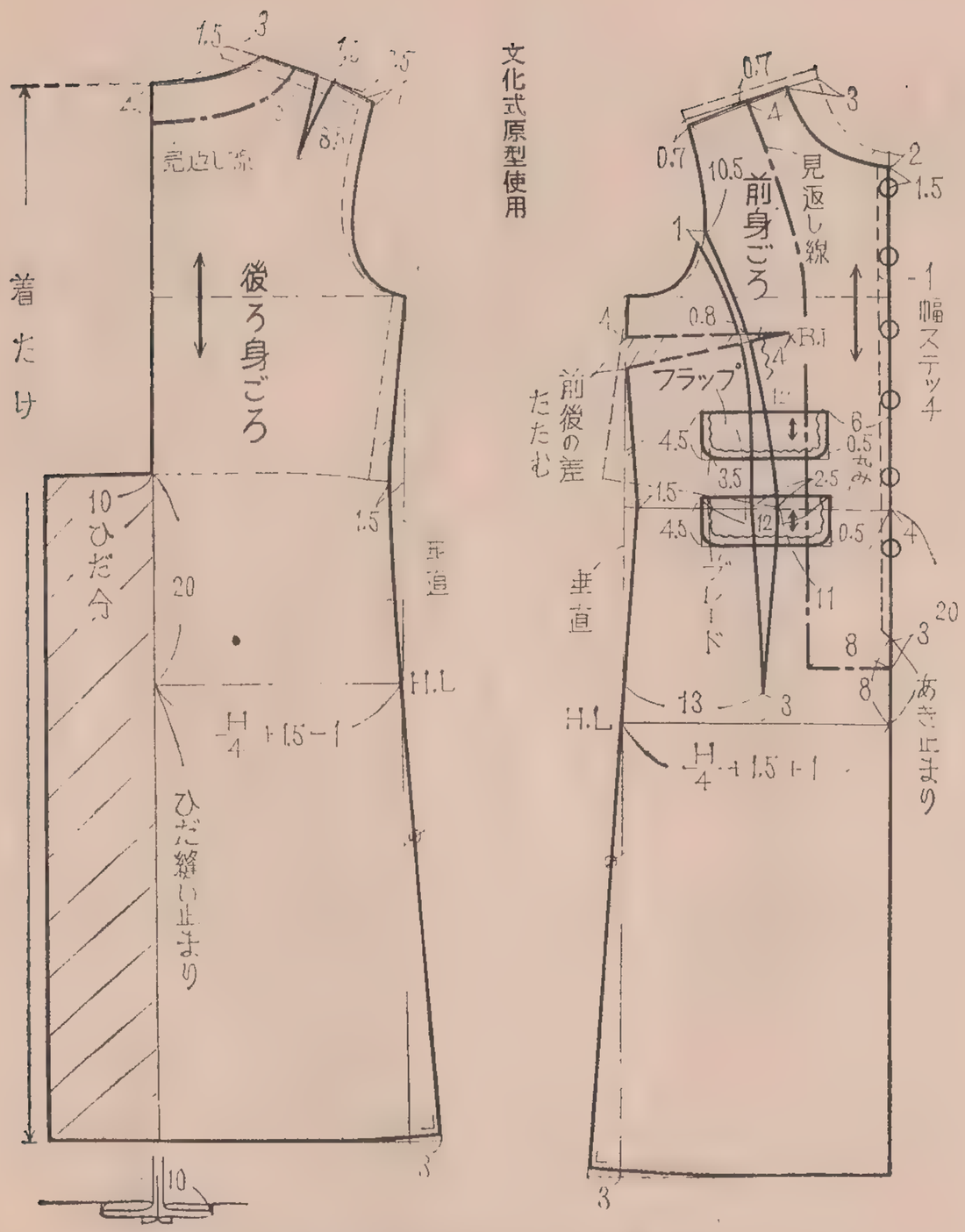
編み上がったブレードはつけ位置にのせて両端を軽く縫まつりで止めていきます。

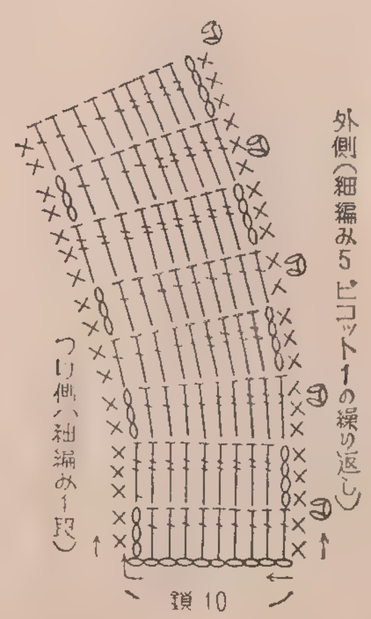
身ごろにえりをとじつけ、下前端にボタンをつけます。

ドレスそで基礎線使用



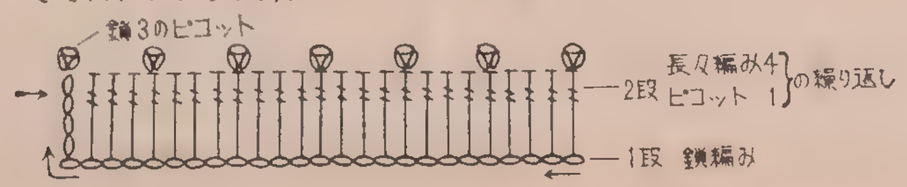
文化式原型使用





えりの編み方

そで口、フラップ外回りのブレードの編み方



B のワンピース
口絵5ページ

■材料と用尺

赤と白の小柄千鳥格子のウールをダブル幅で二メートル一〇センチ、直径一センチ五ミリの貝ボタン五個。三センチ五ミリ幅の白のだ円形バックル・個。スナップ中一組。

■裁ち方注意

カフス、前立て、飾りポケットはバイアスで裁ちます。前立ては端をわにして裏分まで続けて裁ちます。

■縫い方要点

前身ごろ中央にあき止まりより一センチ下まで切り込みを入れ、上前に前立て布を中表に合わせて地縫いし（そのとき下の丸みの部分は縫わずに残しておく）、下前に前立て幅と同じ幅の持ち出しをつけます。

前立て、持ち出しの形を整えてそれぞれ裏側でまつり、前立て端（つけ側と反対側）に端ミシンをかけて打ち合わせを正しく重ねます。

あき止まりの位置を裏から返し針で横にしっかりと止め、先にかけておいた端ミシンに続けて前立ての外回りにぐるりと端ミシンをかけます。

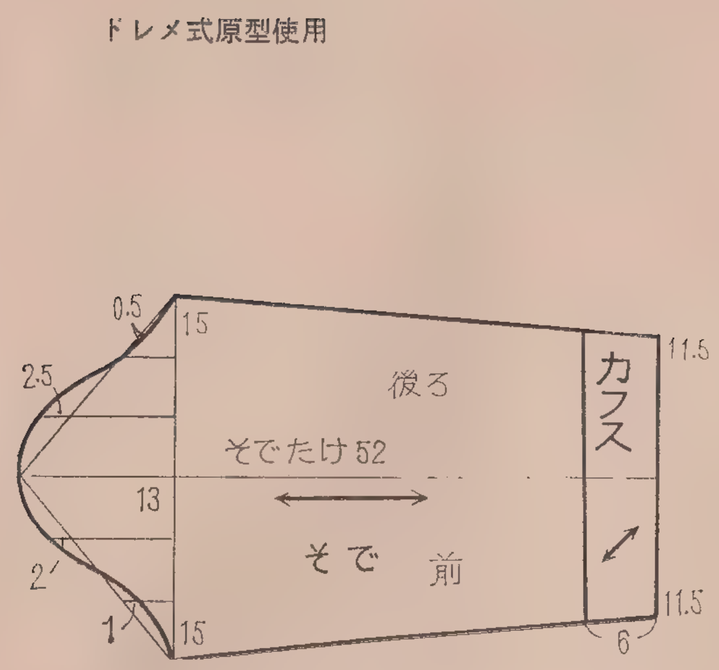
肩、わき線を割り縫いします。

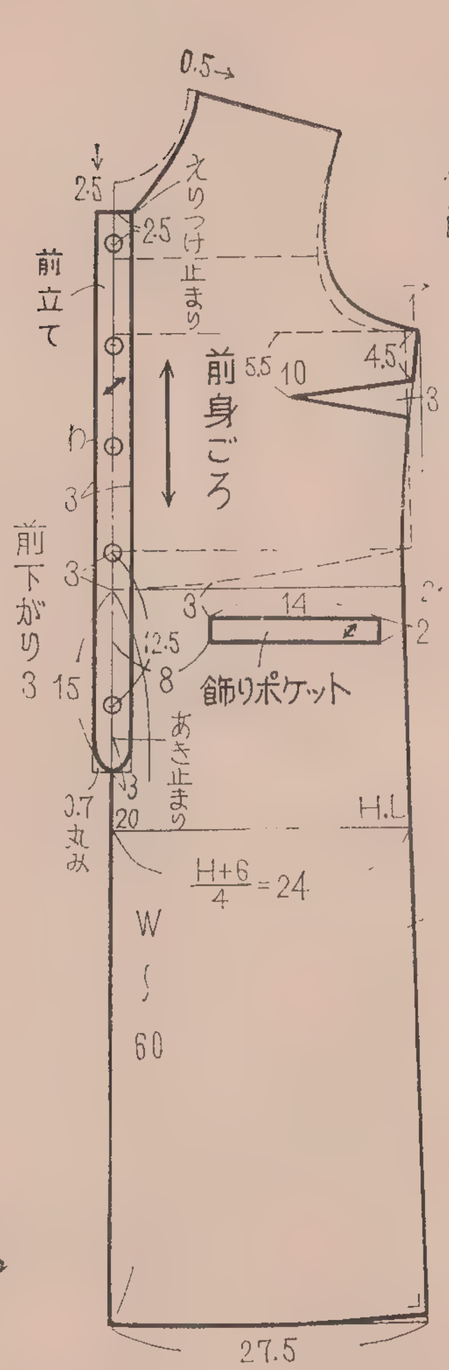
えりを作りえりつけは薄地のバイアス布で八ミリ幅に始末します。

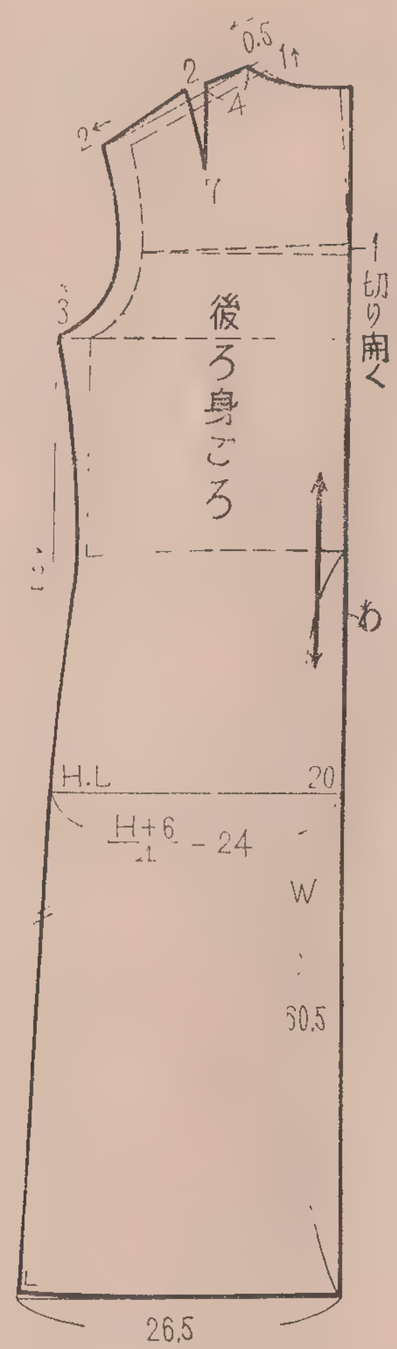
ポケットをまつりつけ、前立てに縦のボタンホールをかがります

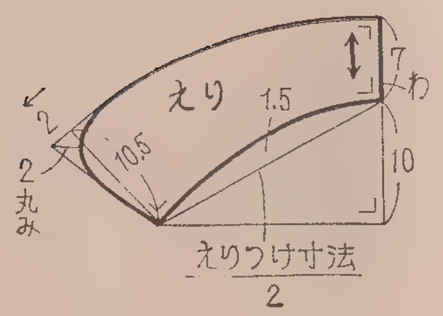
そで下を縫い、カフスをつけてそでつけをします。

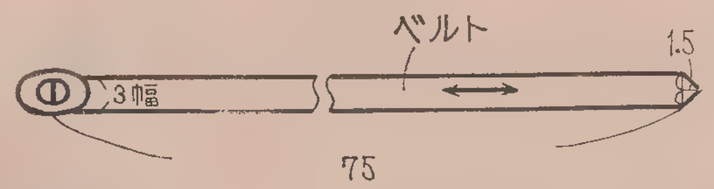
ベルトは裏中央に縫い目がくるように整えて端ミシンをかけます











『ジャンパースカートとベスト』の作り方

6〜7ページの洋服の作り方です。

Ⓐのジャンパースカート

口絵6ページ

■材料と用尺

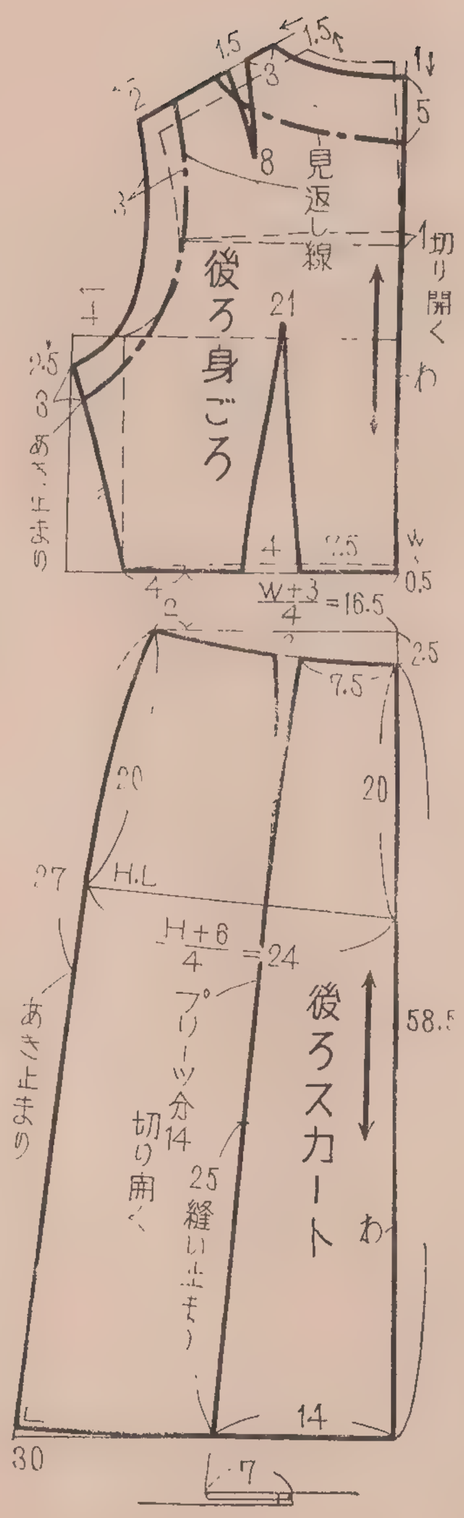
赤の平織りウールをダブル幅で二メートル。裏布九〇センチ幅で八〇センチ。直径二センチ五ミリの赤ボタン一個。三センチ五ミリ幅の金属製バックル一個。長さ四〇センチのファスナー一本。スナップ中三組。ステッチ用赤穴糸少々。

■裁ち方注意

スカートは、型紙でプリーツ分一四センチを前後ともに切り開いて裁ちます。

■縫い方要点

まず身ごろに裏をつけて仕立てます。次にスカートのひだ奥、わきを縫い、身ごろの打ち合わせを正しく重ねてウエストをはぎます。縫いしろは裏布でくるんでおきます。

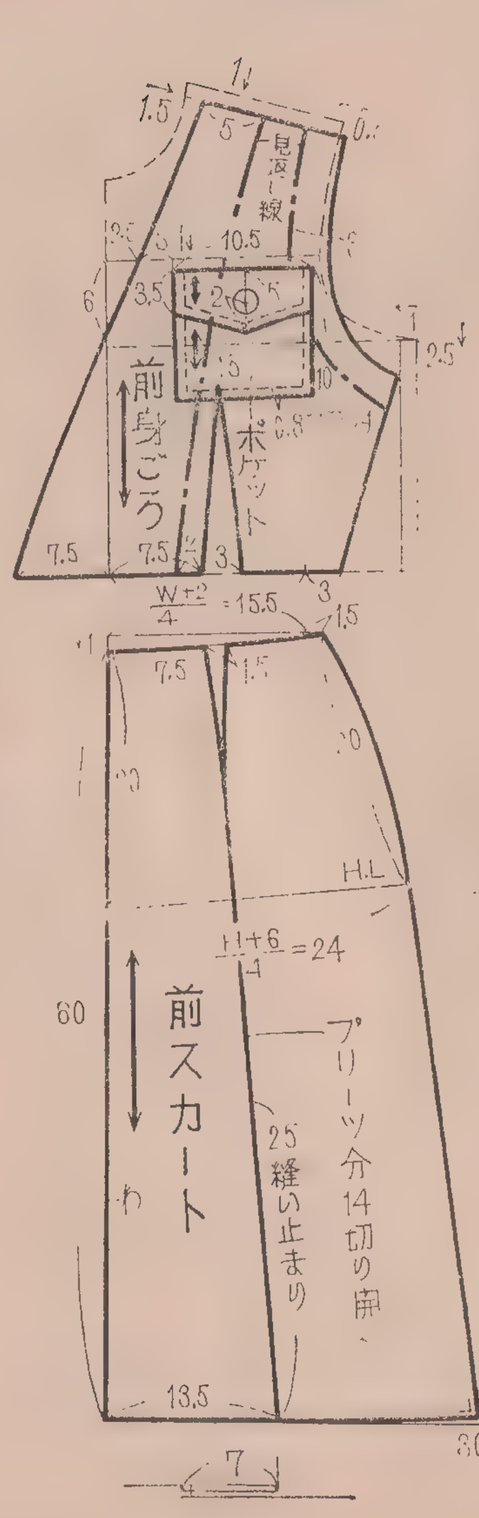


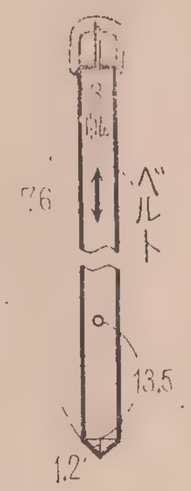
Ⓑのジャンパースカート

口絵6ページ

ドレメ式原型使用

ゆるみ
B〜14
前後の差2
(後ろひろく)
W〜4
H〜8





■材料と用尺

グリーンの薄手ウールをダブル幅で一メートル九〇センチ。つり布としてナイロンゴーズを九〇センチ幅で四〇センチ。直径一センチ八ミリの金属製ボタン二個。ファスナー長さ三六センチと三二センチを各一本、かぎホック中一組。

■裁ち方注意

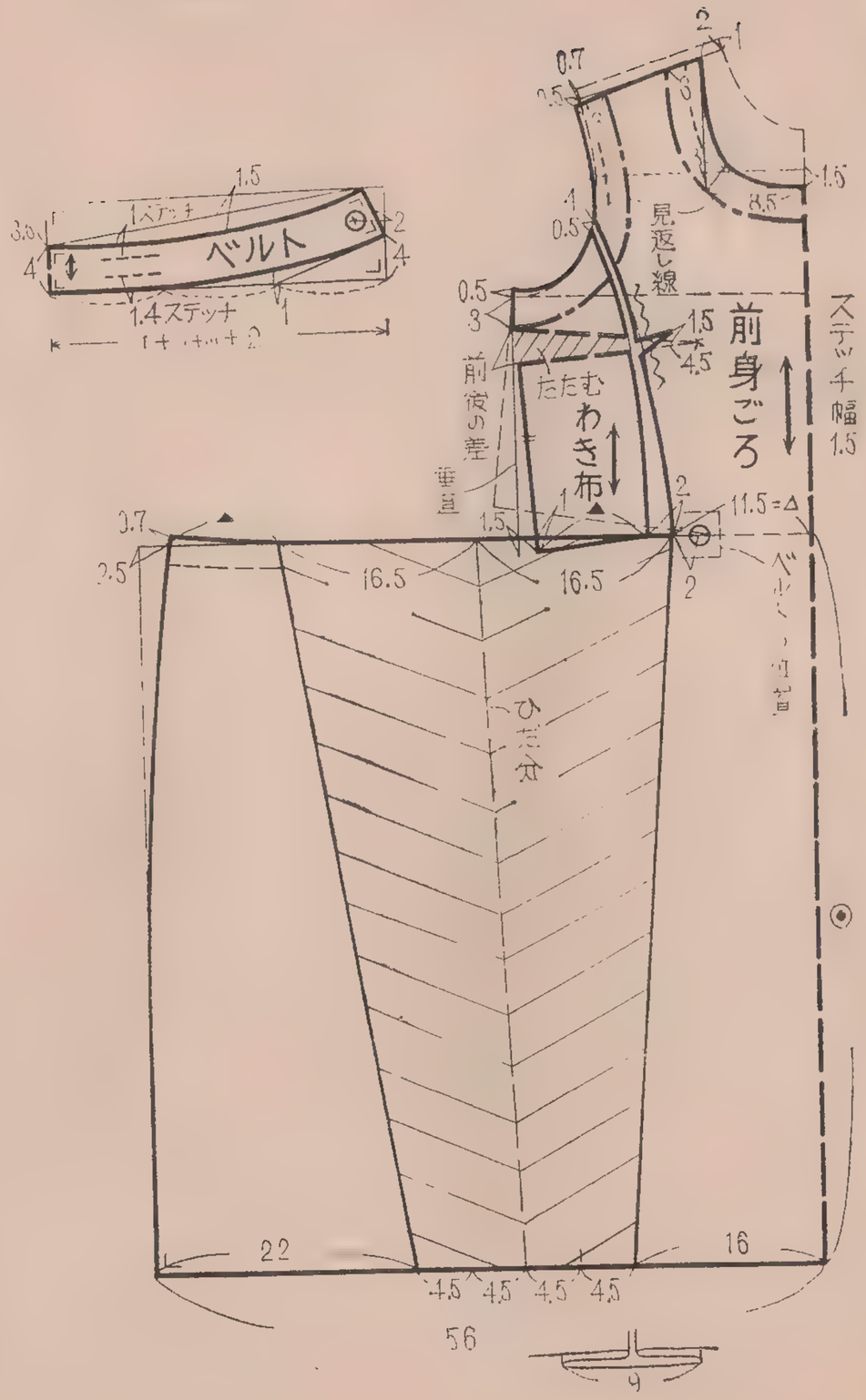
後ろ身ごろは表布のほかに、ナイロンゴーズで図の斜線の部分のようなつり布を裁ちます。

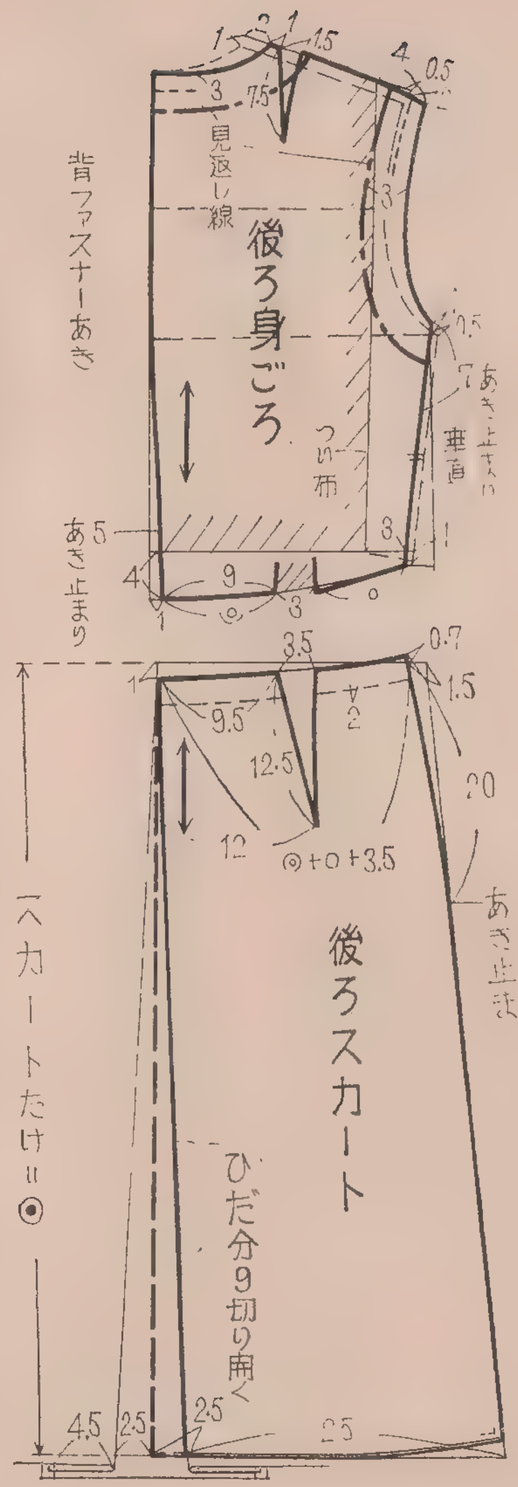
■縫い方要点

後ろスカートは、型紙でひだ分九チを切り開き、中央をわに裁ちます。

つり布は肩ダーツを縫って表布と合わせ、二枚いっしょに肩線、えりぐりの始末をし、ウエスト線を表布とそろえてスカートと三枚いっしょに縫います。

文化式原型使用





Ⓒのジャンパースカート

口絵6ページ

■材料と用尺

白と黒の千鳥格子ウールをダブル幅で一メ八三〇チセン。直径一チセン八ミリの金色のボタン九個。三チセン五ミリ幅の金色のバックル一個。ハトメ四個。ステッチ用黒穴糸少々。一チセン五ミリ幅のゴムテープ五〇チセン。

■裁ち方注意

ヨークの切り替え線は縫いしろをステッチ幅より広くつけて裁ちます。

■縫い方要点

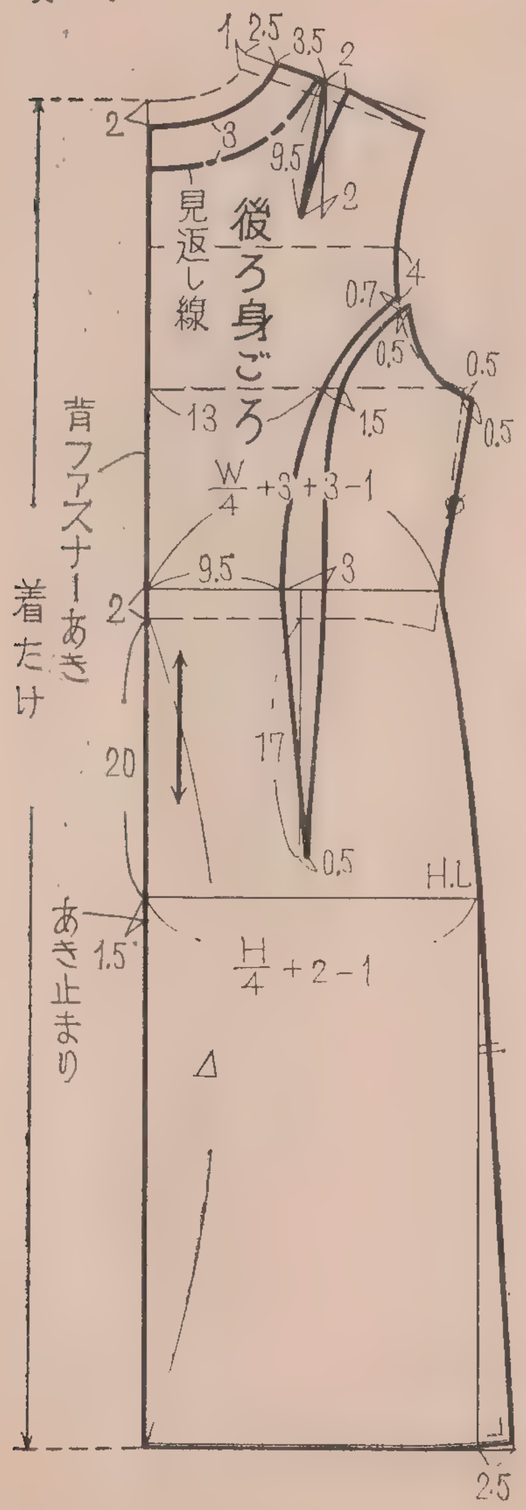
まず、身ごろの縦の切り替え線を割り縫いします。

ヨークの切り替え線をでき上がりどおりに折り、身ごろにのせてステッチ(穴糸のミシンコーチング)で押えます。

肩、わき線を割り縫いし、打ち合わせ、そでぐりを整えてえりつけをします。

前身ごろは
次ページ

文化式原型使用



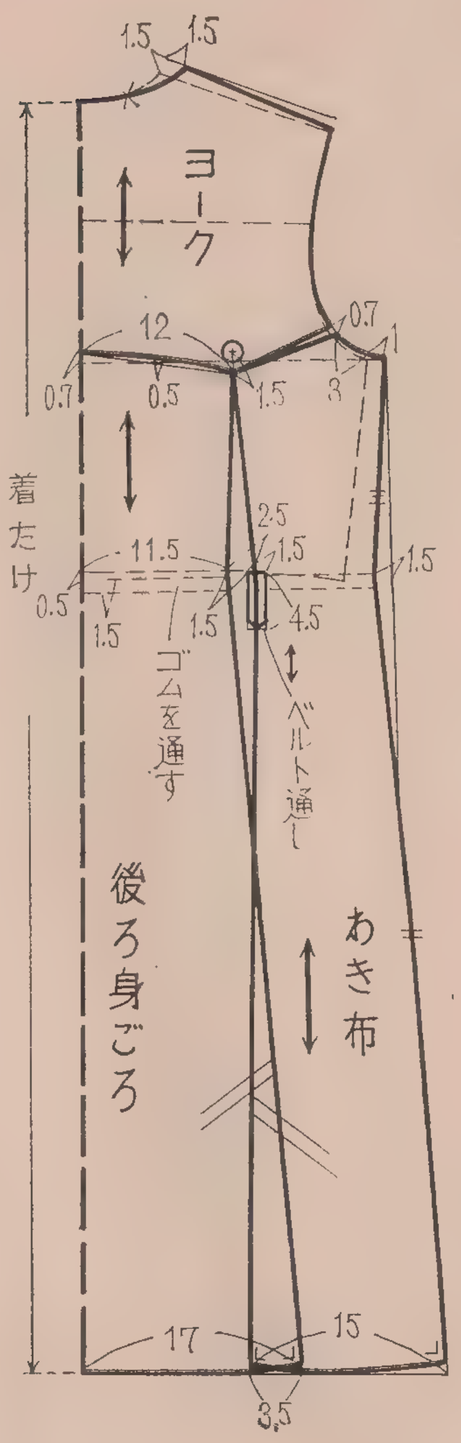
■材料と用尺
白とグリーンの千鳥格子ウール（ちどりごうし）をダブル幅で一メートル四〇センチ

直径二センチ五ミリのグリーンのボタン四個。長さ五五センチのファスナー一本。かぎホック小一組。

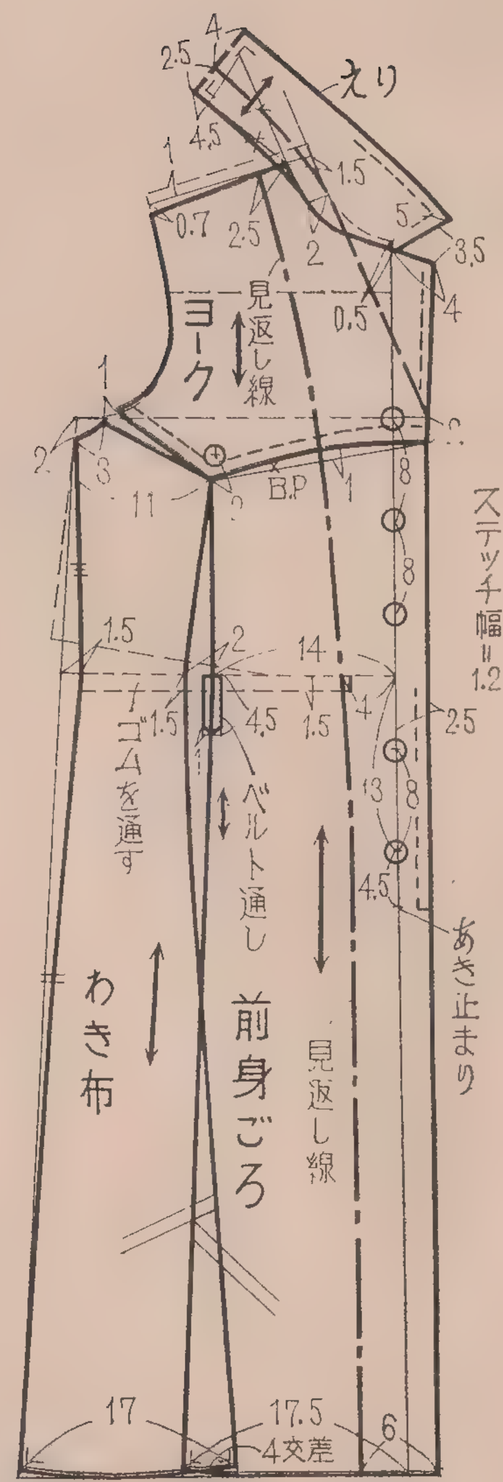
■裁ち方注意
ポケットはバイアス地でふたを続けて裁ちます。

■縫い方要点
ダーツ、背、肩、わき線はすべて割り縫いにし、ファスナーをつけて、えりぐり、そでぐりの始末（しまつ）をします。
ポケットは裏をつけて形作り、端ミシンでつけます。

文化式原型使用



ウエストは、内側にゴムテープを縫いつけて四八センチくらいに縮めます。



Ⓕのジャンパースカート

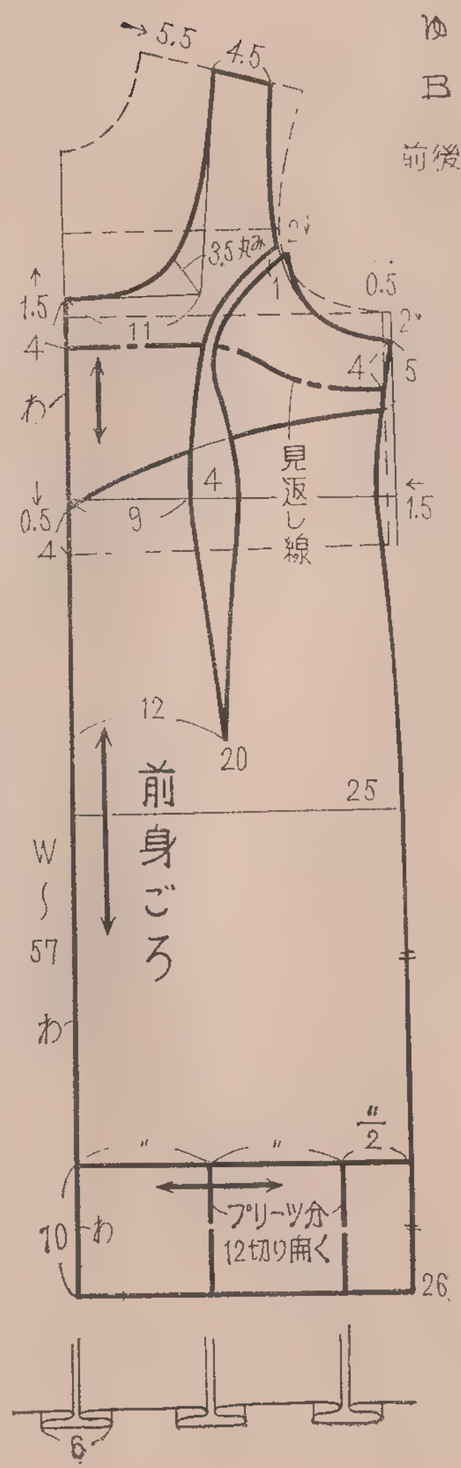
グラビア7ページ

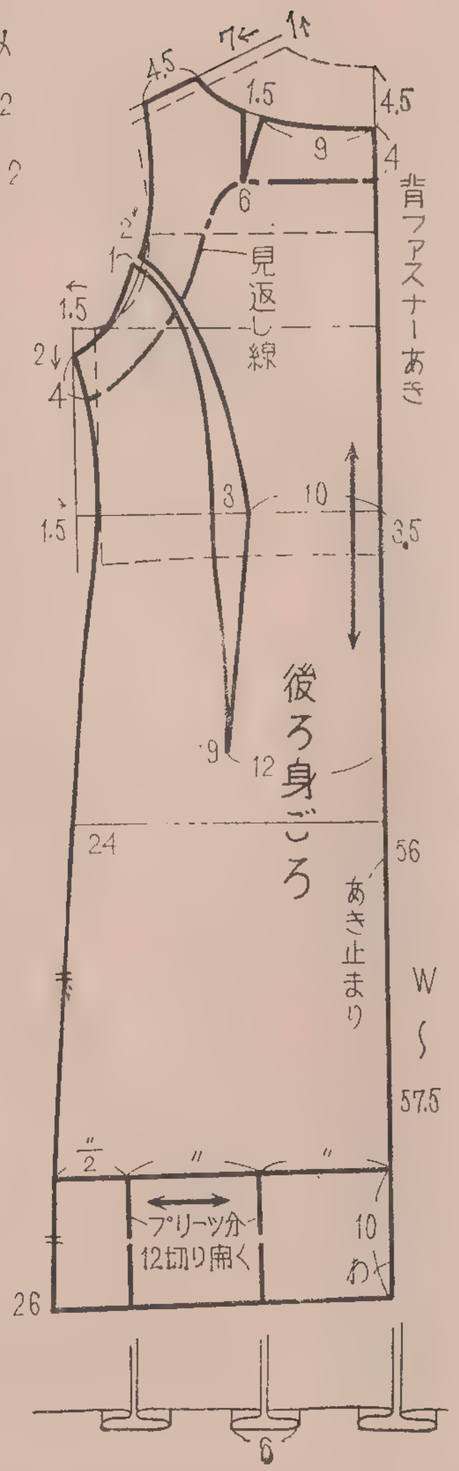
ドレメ式原型使用

ゆるみ

B～12

前後の差2



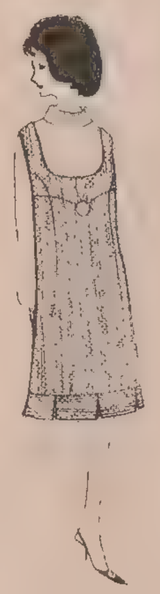


■材料と用尺

こげ茶のジャージーをダブル幅で一メートル二〇センチ。裏布九〇センチ幅で一メートル八〇センチ。直径二センチ八ミリのくるみボタン二個。長さ五二センチのファスナー一本。かぎホック小一組。

■縫い方要点

えり、そでぐりは見返しを中表に合わせて縫い返し、始



Ⓔのジャンパースカート

グラビア7ページ

■材料と用尺

紺、黒、グレー、エンジなどの渋いしまのウールをダブル幅で一メートル二〇センチ。裏布九〇センチ幅で一メートル八〇センチ。長さ五六センチのファスナー一本。かぎホック小一組。

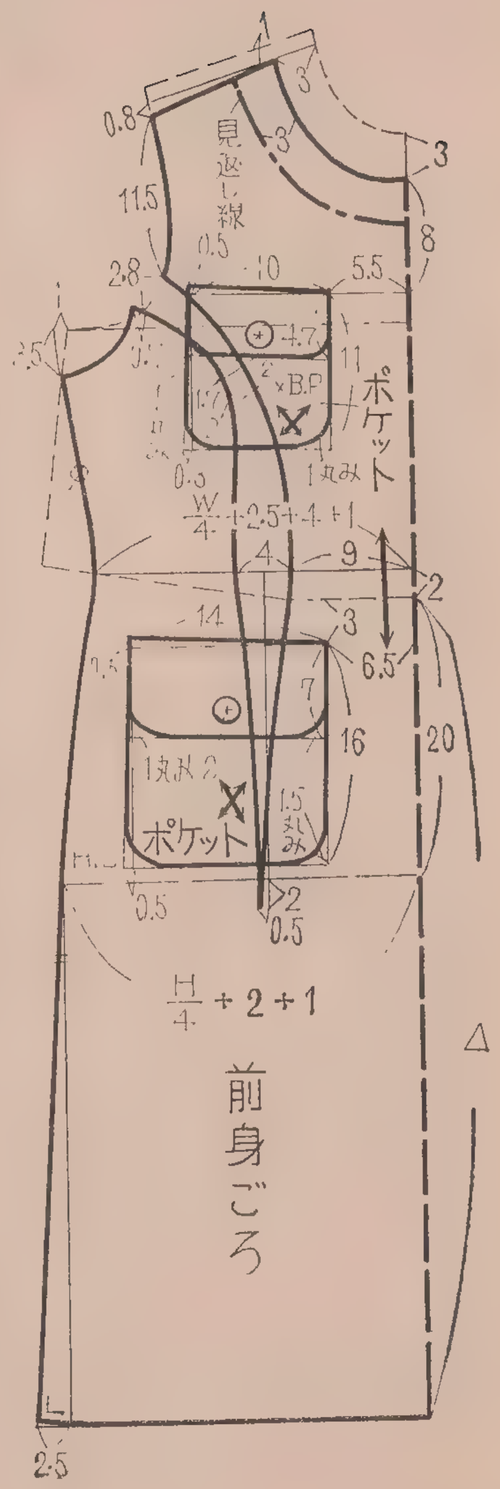
■裁ち方注意

前身ごろは、切り替え線の位置で、しまがずれないように裁ちます。

すそのひだ布は一二センチずつプリーツ分を型紙で切り開いて横地で裁ちます。

■縫い方要点

前身ごろの切り替え線は、ダーツをそれぞれ割り縫いしてから、上下を地縫いします。縫いしろは上側に倒します



ドレメ式原型使用

ゆるみ
B～8
前後の差1

前身ごろ
前下がり3
見返し線
下前
1ポケット
ヨーク
見返し線
ステッチ幅1
後ろ身ごろ

ベルト
W/4＝15

前スカート
後ろスカート
H.L
あき止まり

■材料と用尺

オレンジ色の薄手ウールをダブル幅で一㍍六〇㌢。裏布九〇㌢幅で二㍍（スカート分を含む）。直径一㌢五㍉のオレンジ色山高ボタン八個。同色のステッチ用穴糸少々。スナップ中一組。長さ二〇㌢のファスナー一本。かぎホック大一組。ベルトシン。

■縫い方要点

各切り替え線を縫い合わせ、ミシンステッチをかけます

グラビア8ページ

Ⓖのベストとスカート

ドレメ式原型使用

ゆるみ
B～12
前後の差なし

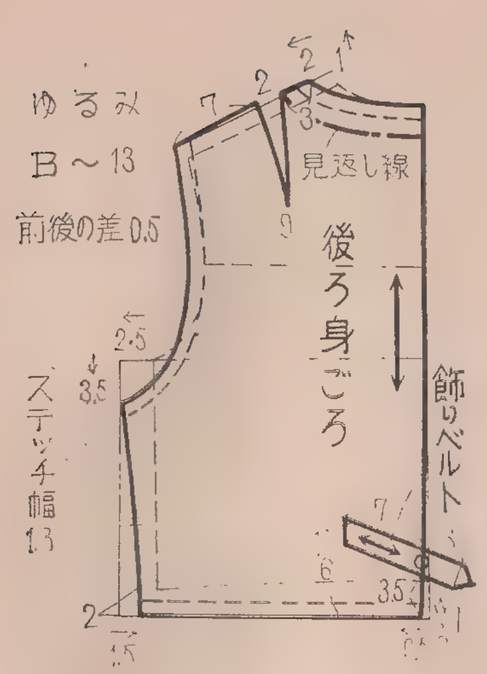
前身ごろ
見返し線
ポケット口
フラップ
ポケット
1.5幅ステッチ
1幅ステッチ
0.3出

背スアスナーあき
後ろ身ごろ
あき止まり

ポケットは右側だけに、ミシンステッチで止めつけます。

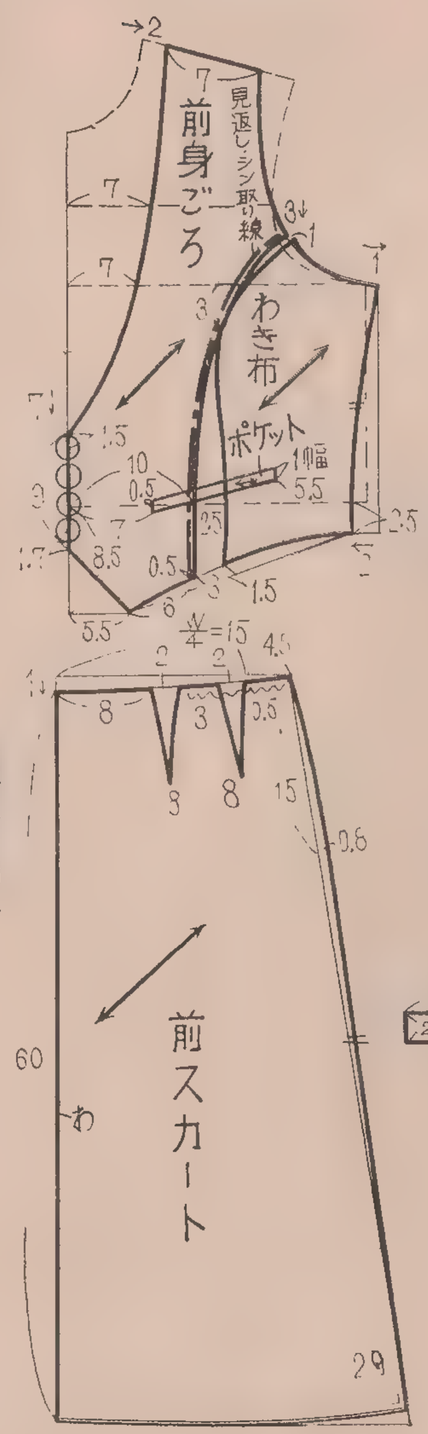
末します。

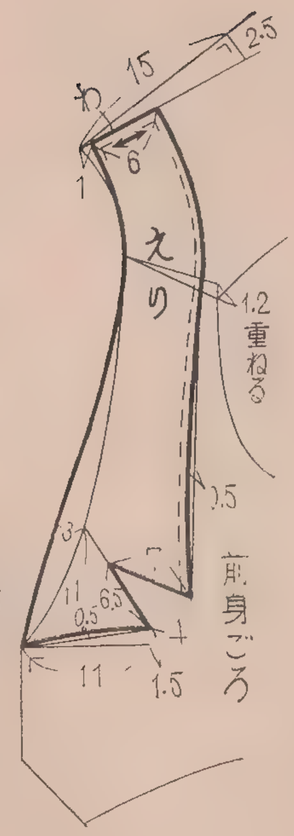
ドレメ式原型使用



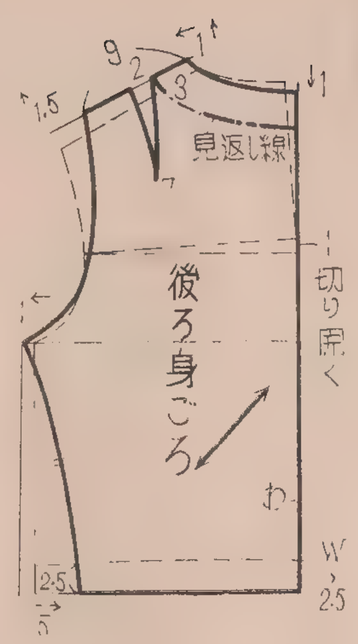
①のベストとスカート

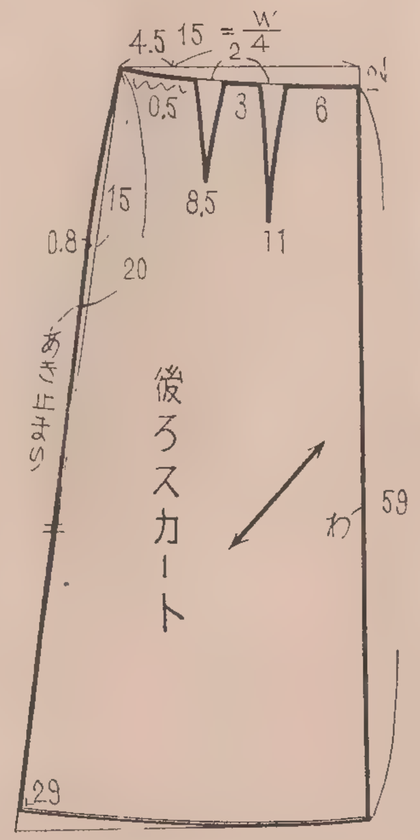
グラビア8ページ



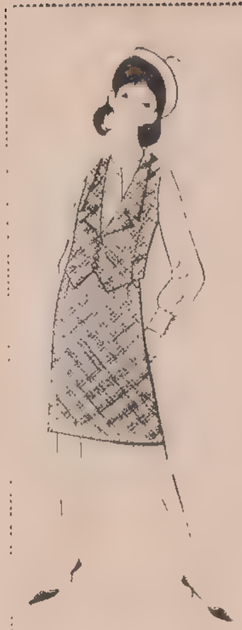


ゆるみ
B～10
前後の差3





■材料と用尺



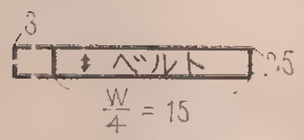
Ⓗのベストとスカート

グラビア8ページ

くすんだ赤にベージュの格子のウールをダブル幅で二メートル五〇センチ。裏えりと見返し用こげ茶のウール少々。裏布九〇センチ幅で一メートル八〇センチ。シン七〇センチ幅で九〇センチ。直径二センチの白ボタン四個。長さ二〇センチのファスナー一本。ベルトシン。かぎホック大一組。

■縫い方要点

上前端には、共布のバイアスループをはさみ込みます。



■材料と用尺

ベスト　濃いグリーンのニットふうのウールをダブル幅で五〇センチ。裏布九〇センチ幅で九〇センチ。シン七〇センチで幅五〇センチ。直径二センチのいぶし銀ボタン六個。ステッチ用グリーンの穴糸少々。かぎホック小三組。スカート　赤、紺、グリーンのチェックのウールをダブル幅で一メートル二〇センチ。裏布九〇センチ幅で一メートル四〇センチ。長さ二〇センチのファスナー一本。ベルトシン。かぎホック大一組。

■裁ち方注意

スカートはわきで柄が合うように裁ちます。

■縫い方要点

ベスト

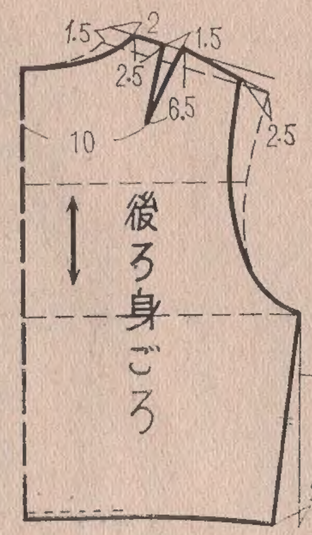
ダーツを割り縫いし、前身ごろ全体にシンをはります。

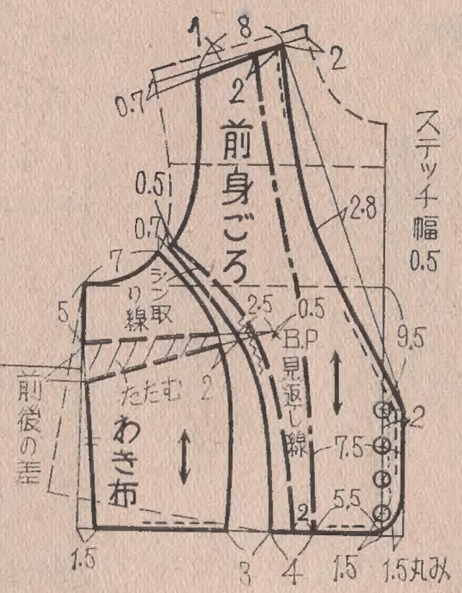
ポケットをステッチで縫いつけ、飾りボタンをつけます。

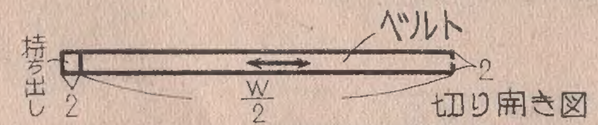
Ⓚのベストとスカート

グラビア9ページ

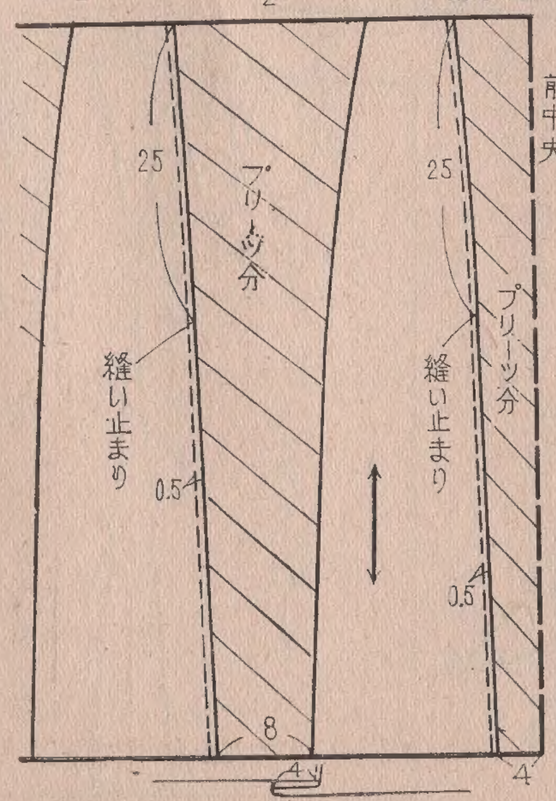
文化式原型使用

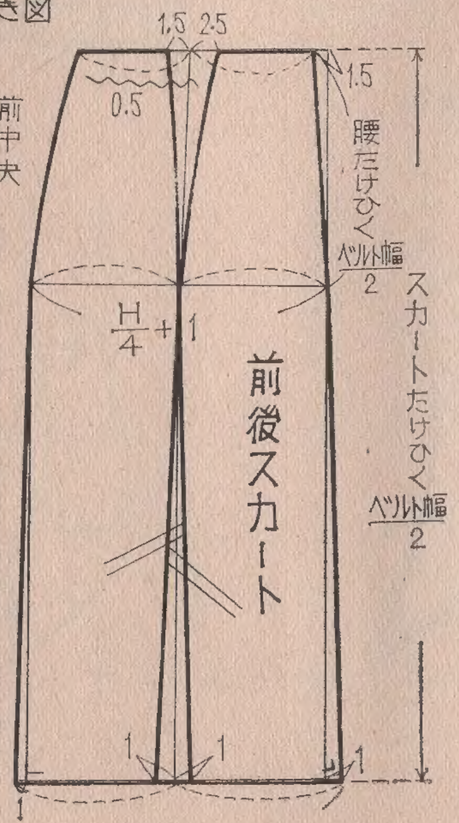






切り開き図





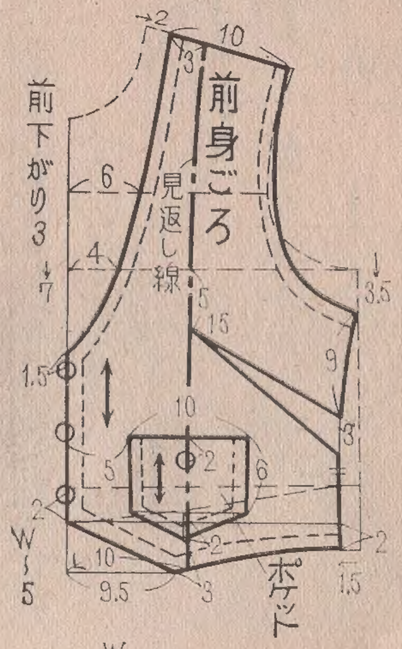
■材料と用尺

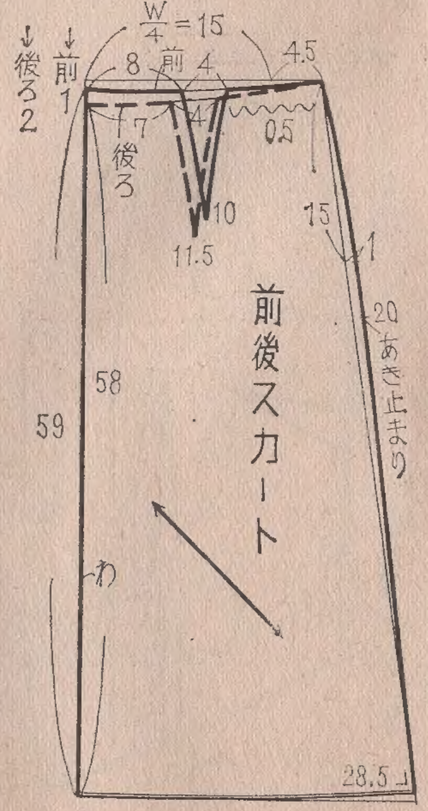
ベスト　チェックのウールをダブル幅で九〇センチ。裏布九〇センチ幅で九〇センチ。シン七〇センチ幅で七〇センチ。直径二センチの黒ボタン八個。スカート　黒白のツイードをダブル幅で一メートル（ベストの肩布も含む）。長さ二〇センチのファスナー一本。ベルトシン。かぎホック大一組。

Ⓙのベストとスカート

グラビア9ページ

ドレメ式原型使用





前打ち合わせは、突き合わせなので飾りボタンをつけ、かぎホックで止め合わせます。

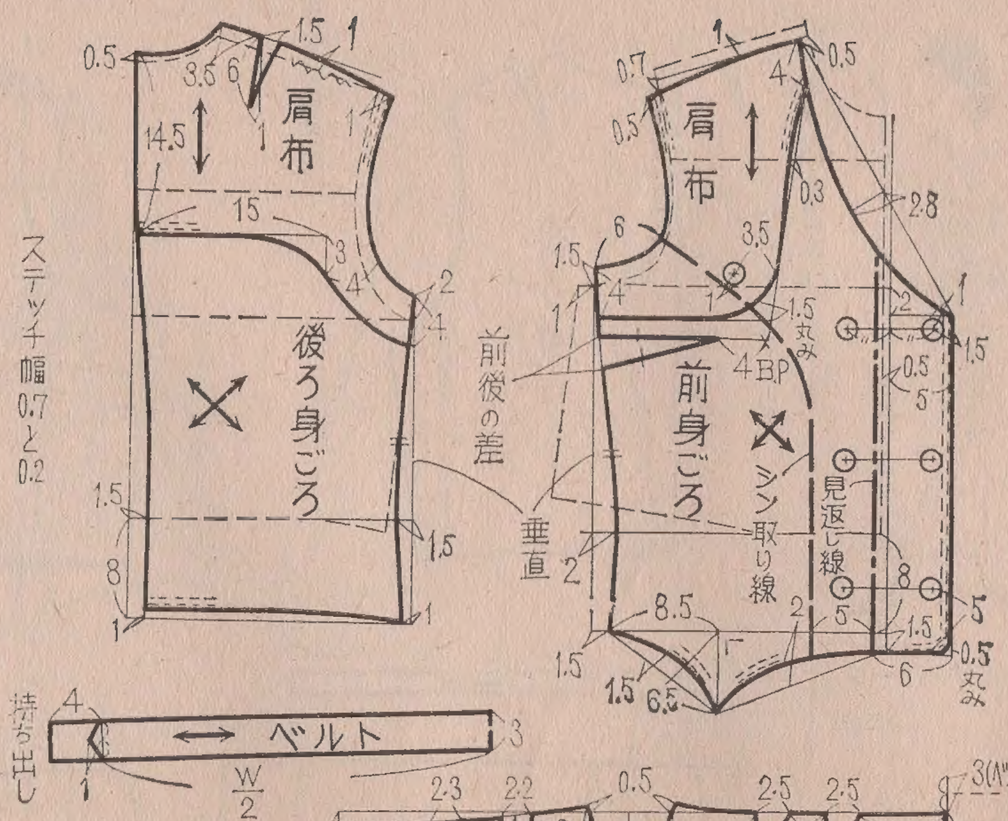
ピンクのケンピツイードをダブル幅で一メートル二〇センチ。裏布九〇センチ幅で九〇センチ。シン七〇センチ幅で五〇センチ。直径一センチ八ミリの白ボタン四個。ベルトシン。長さ二〇センチのファスナー一本。かぎホック大一組。スナップ中四組。

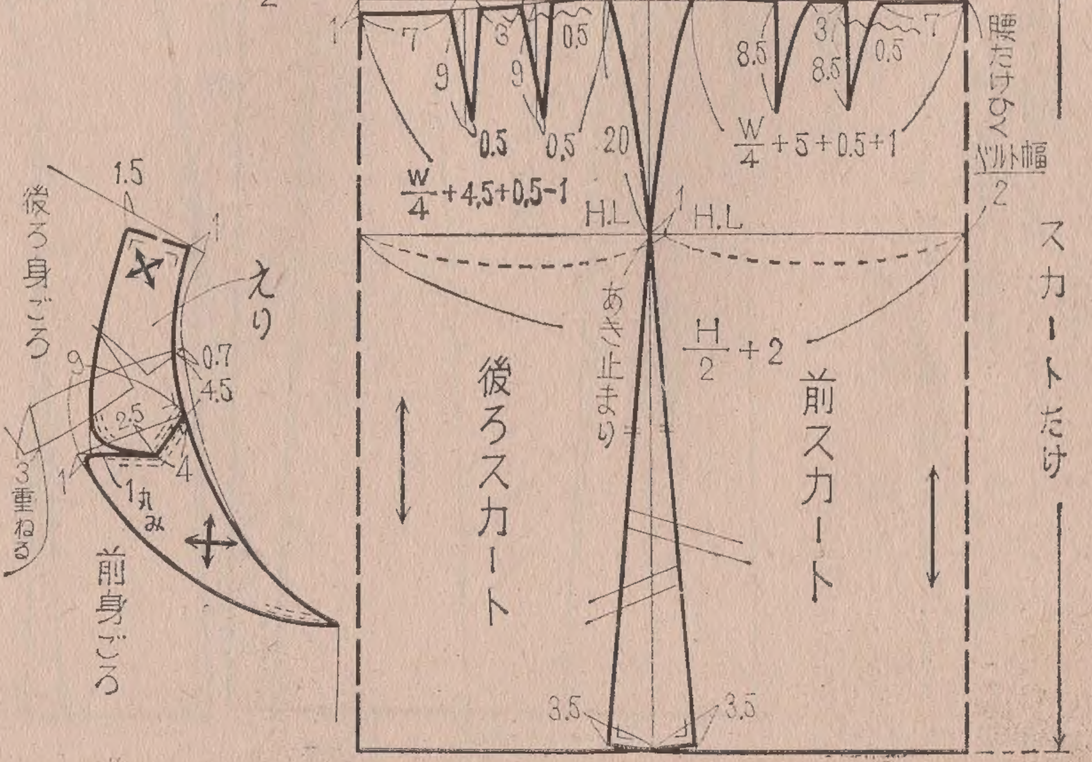
■縫い方要点

スカートのひだ山のステッチは、縫い止まりより下を先にかけておきます。

■縫い方要点　肩布は下側を身ごろから浮かせて縫いつけボタンで身ごろに止めます。

文化式原型使用





Ⓛのベストとスカート

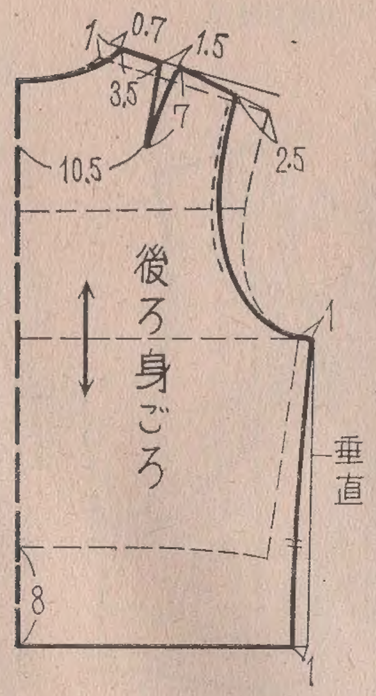
グラビア9ページ

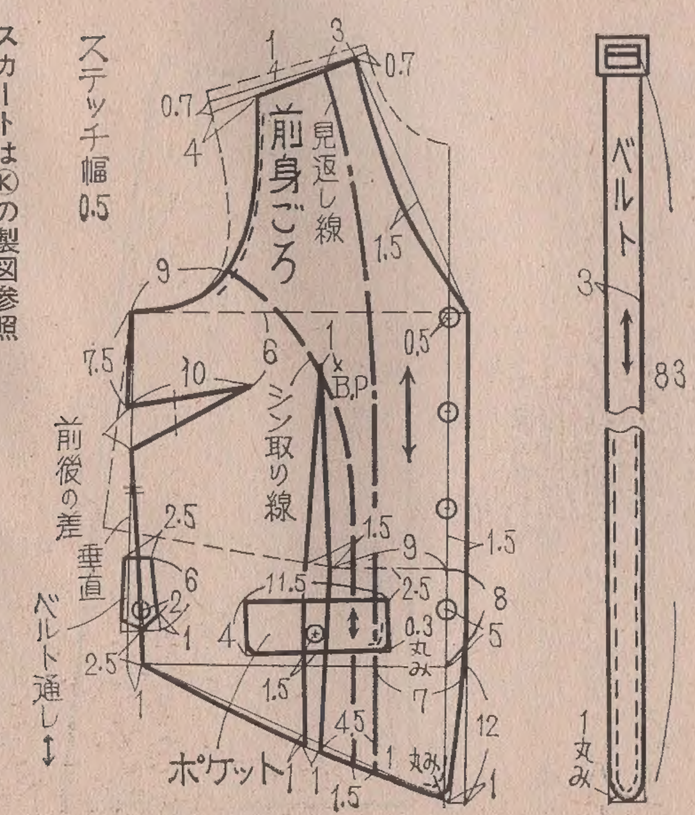
■材料と用尺

渋いチェックのウールをダブル幅で一メートル八〇センチ。裏布九〇センチ幅で二メートル（スカート分も含む）。シン七〇センチ幅で八〇センチ直径一センチ八ミリの茶のボタン八個。三センチ五ミリ幅のくるみバックル一個。長さ二〇センチのファスナー一本。ベルトシン。かぎホック大一組。

■縫い方要点

えりは、表裏ともきざみの位置のはぎ線を割り縫いして外回りを整え、身ごろと見返しではさみづけにします。





スカートは㋓の製図参照

今月のお人形

「運動会」の作り方

■**材料**（お人形1個分）胴用白の人絹14チセン×22チセン。茶色のジョーゼットまたはウーリーナイロンのくつ下11チセン×7チセン。洋服用白のもめん14チセン×6チセン。ブルマー用黒のもめん12チセン×5チセン。ハチマキ用としてリボンヤーンの赤と白をそれぞれ1本分16チセン。髪の毛として茶のほどき毛糸少少。綿、パッキング、針金、25番ししゅう糸のグリーンと赤を各少々。そのほか麻ひもを65チセン

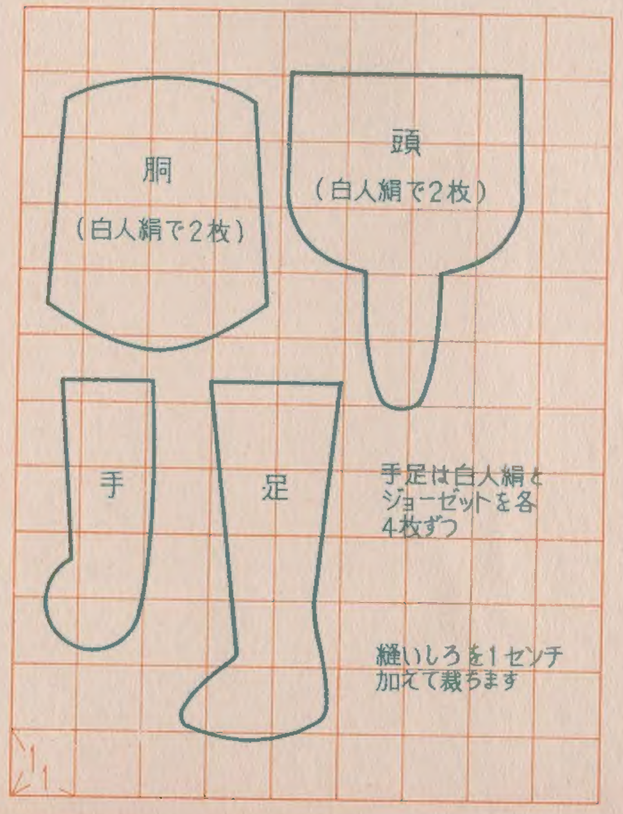
■**作り方**　**頭と胴**　白人絹を2枚合わせて詰め口（上部）以外を縫い、表に返してからパッキングを堅く詰めて口をしっかりとじます。あご（顔の下⅓ぐらい）は綿を堅く巻き、額はやわらかく巻いて糸で止めます。鼻として顔の中央よりやや上に虫ピンを刺します。頭全体に薄く綿をかぶせ、その上にジョーゼットをかぶせて図の方向にひいて形作ります。目はグリーン、口は赤のししゅう糸で縫って、後ろから糸をひきます。頭は胴にさし込んで、しっかり止めつけます。

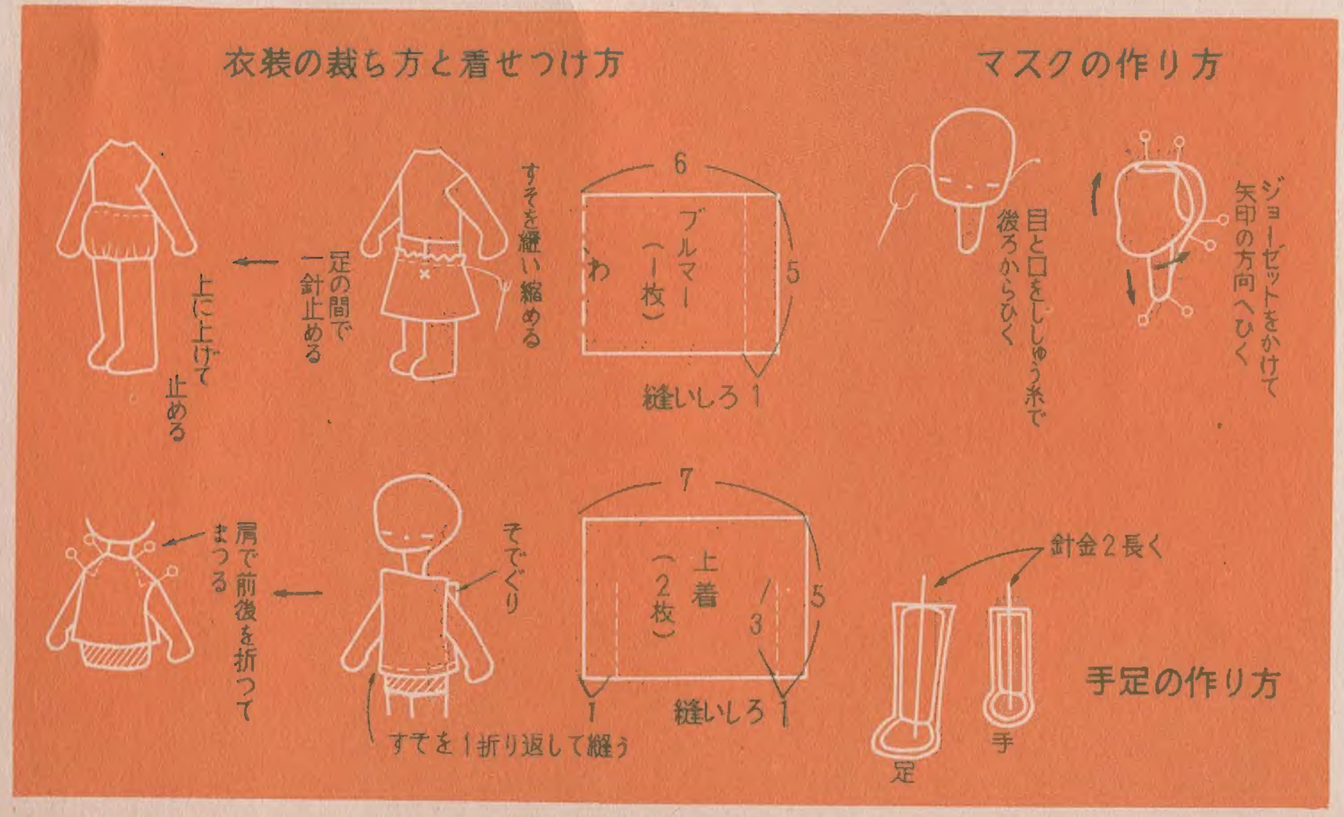
手足　白人絹2枚の間にジョーゼットを2枚はさみ4枚重ねて縫います。表に返して、手足の長さより長めの針金に綿を巻いたものを詰め、とび出した針金を胴にさし込みます。手足の布を胴にしっかりとじつけます。

着せつけ　上着、ブルマーとも、図のように縫って着せつけます。

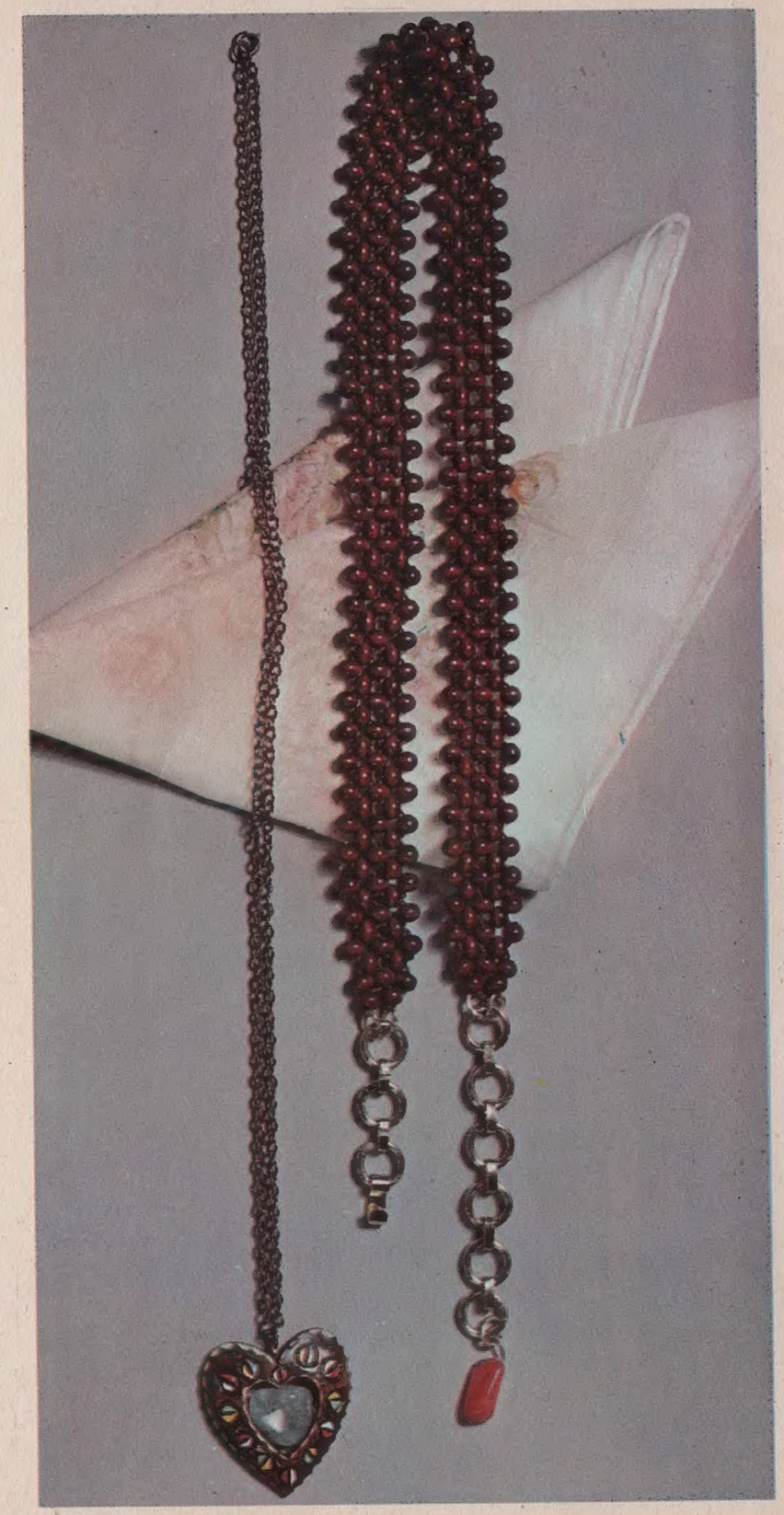
髪　頭全体にのりをつけ、ほどき毛糸を適当にはりつけて、ハチマキを前から後ろに回して結びます。

仕上げ　65チセンの麻ひもに針金を通し、中央に細いリボンを結びます。お人形は10個作り、紅白5個ずつわけてハチマキをしめ、それぞれポーズをつけて麻ひもに糸で止めておきます。





昭和39年10月1日発行（第6巻第13号）
美しい十代10月号第1付録Ⓒ　10月の手芸とスタイル集
編集人　永野　豊　印刷所　東京都板橋区志村　凸版印刷株式会社
発行人　下野　博　発行所　東京都大田区上池上　学習研究社

宝石のムードを持つ美しい石がいま世界的に流行していますが、この秋から日本にもどんどん輸入されます。いろんな種類の色があって、木や金属にも、セメダインなどで簡単につけることができるのが特徴です。お好きな石を選んですてきなアクセサリーを作りましょう。

右写真のペンダントの中の石はグリーンクオアツ（グリーンの石英）と呼ばれるブラジル産。右側のベルトの金具についた赤い石は、アパッチティアツ（アパッチの涙）でアメリカ産。左写真の石は、ローズクオアツ（ローズ色の石英）でアメリカ産。